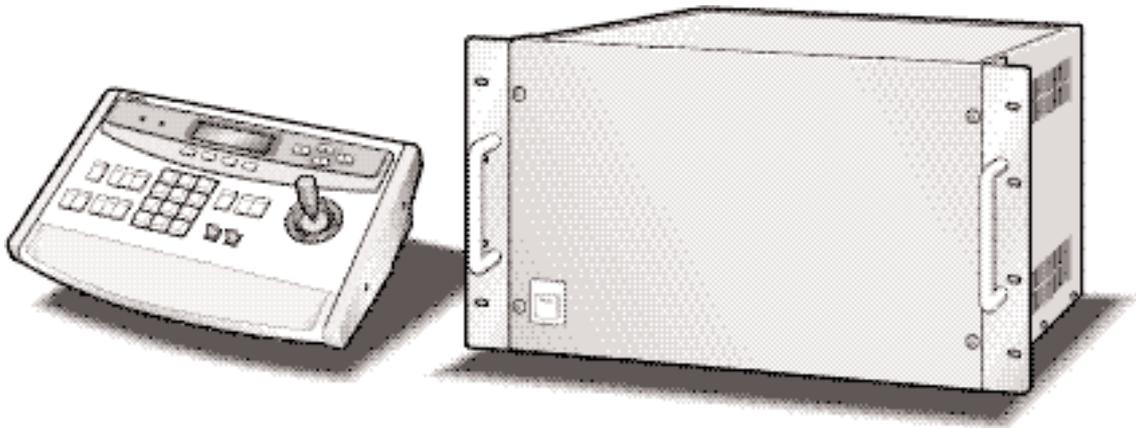


取扱説明書

工事説明付き

マトリクススイッチャー

品番 WJ-SX777D WV-CU550C
WV-PB5508 WV-PB7700



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、マトリクススイッチャーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(xiiページ～xiiiページ)はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本システムは、映像監視を行うためのシステムです。最大64台のカメラと4台のモニターテレビを用いた監視を行えます。本システムには次に示す機能があります。

- システムコントローラーでカメラやレンズ、回転台、周辺機器をリモートコントロールできます。
- 映像を監視しやすいように、1台のモニターに複数台のカメラ映像を順々に表示することができます。
- 4けたの番号（カメラポジション番号）で任意のカメラを任意のプリセット位置に旋回できます。
- カメラの映像をどのモニターに表示するかを定義できます（スポット）。また、複数台のカメラ映像をモニターテレビに表示するとき、その順番（シーケンス）を定義できます。
- 監視システムの運用スケジュールを登録できます。スケジュールとシーケンスを組み合わせた運用ができます。
- センサーなどからアラーム入力があったときの動作（アラームモードAからC）を選択できます。時間によってアラームモードを変更することができます。
- カメラ映像をタイムラプスVTRに録画できます。

付属品をお確かめください

取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1枚

以下の付属品は取付工事に使用します。

コネクター（25ピン／ビデオ出力ボード用）	1個
コネクター（25ピン／コントロール2ボード用）	2個
システムコントローラー用シール	1枚

本書の構成

お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上お使いください。
本書は、システムの操作方法や設定方法を記載した取扱説明書と、システムの設置方法や接続のしかたを記載した工事説明書に分かれています。

取扱説明

システムの操作方法や、各種機能の設定方法を記載しています。システムを操作する人や、システム動作を設定する人はお読みください。操作を始める前に「安全上のご注意」に記載している注意事項を必ずお読みください。

はじめに

システムの概要などを記載しています。必ずお読みください。

第1編 操作

システムの操作方法を記載しています。システムを操作する人（オペレーター）や、システムの設定を行う人は、お読みください。

第2編 設定

システムを使用するためには、セットアップメニューと呼ばれる画面で、あらかじめ動作のしかたをシステムに記憶する必要があります。ここでは、セットアップメニューでの設定方法を記載しています。「第1編 操作」を読んだから、この編をお読みください。

工事説明

システムを設置したり、接続したりする人はお読みください。工事を始める前に「安全上のご注意」に記載されている注意事項を必ずお読みください。

1. ボードの設定

カメラの台数やシステムの構成によって、ビデオ入力ボードやセンサーボードを追加する必要があります。システム構成にあったボード枚数の選択方法や、ボード上のスイッチの設定方法について記載しています。

2. 設置のしかた

システムコントローラーとマトリクススイッチャーのラックマウントのしかたについて記載しています。

3. 接続のしかた

モニターやカメラ、アラームなどの接続のしかたを記載しています。

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、ご所望の映像が表示できないことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど

もくじ

はじめに
お読みください

商品概要.....	i
付属品をお確かめください.....	i
本書の構成.....	ii
免責について.....	iii
安全上のご注意.....	xii
取り扱い上のお願ひ.....	xiv

第1編 操作

Chapter1
各部の名前

マトリクススイッチャー WJ-SX777D.....	4
システムコントローラー WV-CU550C	5
ボード.....	6
CPUボード.....	6
コントロール2ボード	6
ビデオ出力ボード.....	7
ビデオ入力ボード WV-PB5508	7
センサーボード WV-PB7700<オプション>	8

Chapter2
マトリクス
スイッチャー
システムの
機能

システムのしくみ	10
クロスポイントスイッチの開閉	11
映像監視機能の概要.....	12
各種の制御.....	13
基本機能を組み合わせた使用例	14
監視システムの構成例	14
監視内容概要	14
セットアップ概要	14
運用中の操作	16

Chapter3

操作を始める
前に

システムの起動のしかた 18

操作メニューの流れ 19

 操作メニューの構成 19

 操作メニューの遷移 20

操作の基本 21

モニターに表示される情報 22

 日付、カメラタイトル、実行中のシーケンスなどの情報 22

 カメラ側機器の状態 22

 アラーム履歴 22

Chapter4

モニターの
操作

モニターの選択 24

カメラタイトル、日付、時刻の表示 25

Chapter5

映像の操作

スポットによる映像監視のしかた 28

 モニターの選択 28

 カメラの選択 (その1) 28

 カメラの選択 (その2) 29

電動ズームレンズの操作 30

 フォーカス (ピント) を調節する 30

 ズームを操作する 30

 アイリス (明るさ) を調節する 30

回転台の操作 (パン、チルト) 31

 手動で操作する 31

 プリセット番号で操作する 32

 カメラポジション番号を直接指定する 33

 外部スイッチでカメラポジション番号を切り換える 34

自動パンニングによる映像の監視 35

 自動パンニングを行う 36

パトロールランによる映像の監視 37

 コンビネーションカメラに操作内容を記憶させる 37

 記憶した内容を再現する 38

操作中にプリセット位置を設定する 39

カメラ電源とハウジングの操作 40

カメラ機能の操作	41
電子シャッターの使いかた	41
電子感度アップのしかた	42
電子ズームの操作	43
カラー映像の白黒切り換え	45
ショートカットによるカメラ機能の操作	46
システムコントローラーからホームポジションに戻す	47
自動でホームポジションに戻す（セルフリターン）	48
逆光補正（BLC）モードの選択	49
ビデオ出力ボードに入力した映像の表示（拡張映像入力）	50
コンビネーションカメラのクリーニング	51

Chapter6

ツアーシーケ
ンスの使いかた

ツアーシーケンスの概要	54
オートスキップ機能	54
表示時間	54
ツアーシーケンスの使いかた	55
ツアーシーケンスの開始	55
ツアーシーケンスを停止する	56
次のステップから順方向に実行する	56
前のステップから逆方向に実行する	56
次のステップだけ実行する	57
前のステップだけ実行する	57
最初のステップから順方向に実行する	57
スポットに戻る	57

Chapter7

アラーム入力時
の操作

アラーム入力先の変更	60
アラーム入力時のモニターの映像	61
アラームモードAで運用しているとき	61
アラームモードBで運用しているとき	62
アラームモードCで運用しているとき	63
アラーム入力の中断	64
アラームの解除	65

Chapter8
外部機器の
操作

Chapter9
液晶ディスプレイ
の明るさの調節

Chapter10
カメラの
状態表示

Chapter11
システムの終了

外部機器の操作68

液晶ディスプレイの調節.....70

カメラの状態表示72

システムの終了74
電源の切りかた74

第2編 設定

Chapter1
セットアップを
始める前に

セットアップメニューの構成78

画面の構成.....79

設定操作に使用する主なキー79

設定操作の流れ80
設定例.....81

設定作業の流れ82

セットアップの開始.....84
セットアップメニューを表示するモニターの選択84
セットアップメニューの表示84
セットアップメニュー85

<p>Chapter2</p> <p>ツアーシーケ ンスの設定</p>	プログラムメニュー.....88
	ツアーシーケンスの設定.....89
	設定データの初期化（消去）.....91
<p>Chapter3</p> <p>スケジュールの 設定</p>	タイマーメニュー94
	タイマーイベントメニュー95
	タイマーイベントスケジュール96
	特定日の設定98
<p>Chapter4</p> <p>アラーム入力時 の動作設定</p>	アラームメニュー..... 102
	アラームモードの設定..... 103
	アラーム運用スケジュールの設定 106
	アラームタイトルの設定..... 108
	アラームタイトルポジションの設定..... 110
<p>Chapter5</p> <p>カメラタイトルの 設定</p>	カメラタイトルの設定..... 112

Chapter6

システムの
基本設定

システムメニュー..... 116
外部タイミングの設定..... 117
ケーブル補正、VD2、データ設定..... 118
時刻の設定..... 119
カメラポジション番号の設定..... 120
プリセット情報の設定・登録..... 123
プリセット位置の設定 (WV-CS500、WV-CS600以外)..... 124
ホームポジション操作の設定..... 125
カメラポジション操作の設定..... 126

Chapter7

カメラ機能の
設定

カメラ機能の設定..... 128
プリセット位置の設定 (WV-CS500、WV-CS600以外)..... 130
プリセット位置の設定 (WV-CS500専用)..... 134
 プリセットメニューの表示..... 134
 プリセット位置の登録..... 134
 プリセットプログラムメニューの項目の選びかた..... 134
 プリセット情報の設定..... 135
 プリセット情報の消去..... 136
 ホームポジションの設定..... 137
 設定した内容をテストする..... 138
 プリセット位置のリフレッシュ..... 138

Chapter8

アラーム入力
履歴の表示・
印刷

アラーム入力履歴の表示..... 140
アラーム入力履歴の印刷..... 141
データの消去..... 142

Chapter9

プリセット
データの退避・
回復

プリセットデータの退避・回復..... 144
 選択画面の表示方法..... 144
 操作方法..... 145
 実行結果の確認..... 146

Chapter10

コンビネーショ
ンカメラのク
リーニング

オートクリーニングメニュー..... 148

Chapter1

ボードの設定

ボード枚数の選択..... 154
 CPUボードのスイッチ設定..... 155
 コントロール2ボードのスイッチ設定..... 157
 ビデオ入力ボードのスイッチ設定 160
 ビデオ出力ボードのスイッチ設定 161
 センサーボードのスイッチ設定 163

Chapter2

設置のしかた

設置上のお願い 166
 システムコントローラーのラックの組み込み 167
 ボードの組み込み..... 168
 マトリクススイッチャーのラック組み込み..... 169

Chapter3

接続のしかた

システム接続例 172
 カメラの接続 173
 モニターおよびタイムラプスVTRの接続..... 176
 カメラポジション番号操作の外部スイッチ（現地調達）の接続 177
 システムコントローラーの接続 178
 画面分割ユニットの接続（4画面分割）..... 179
 センサーとの接続..... 180
 シールのはり付け位置..... 181
 コネクタの組み立てかた 181

仕様	185
マトリクススイッチャー (WJ-SX777D)	186
外観図	186
仕様	187
付属品	187
システムコントローラー (WV-CU550C)	188
外観図	188
仕様	189
付属品	189
ビデオ入力ボード (WV-PB5508)	190
外観図	190
仕様	190
付属品	190
センサーボード (WV-PB7700)	191
外観図	191
仕様	191
付属品	191
ボードの詳細	194
コントロール2ボード	194
CPUボード.....	196
ビデオ入力ボード.....	198
ビデオ出力ボード.....	199
センサーボード.....	201
起動状態とシステム動作内容	204
操作メニューの流れ	205
操作メニューの遷移.....	205
故障かな!?	206
カメラポジション番号登録表	209
索引	210

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

配線は正しく行う



ショートや誤配線により、火災の原因になります。

雷のときは工事・配線をしない



禁止

火災や感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショーク・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使 い方や、AC100 V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

⚠ 注意

通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

禁止

振動や強い衝撃を与えない



火災や感電、故障の原因になります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電、故障の原因になります。

禁止

リチウム電池は同一型名または同等品と交換する



異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

- 交換は必ず販売店にご依頼ください。

取り扱い上のお願い

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

■使用上のおお願い

使用電源は

AC100 Vです。

消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

使用温度範囲は

-10℃～+50℃です。（常時通電状態でお使いになる場合）

この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。周囲温度が-10℃～0℃で電源を入れると、内部温度が上昇するまでメニュー表示が乱れることがあります。このときは、通電状態のまましばらくお待ちください。約4分ほどで表示が安定します。

電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなることがあります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命をすぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用しない場合は

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。
そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

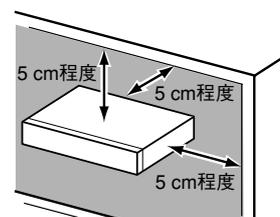
■設置上のお願い

以下の場所には設置しないでください

- ①直射日光の当たる場所
- ②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
- ⑥傾斜のある場所

横置き（水平）に設置してください

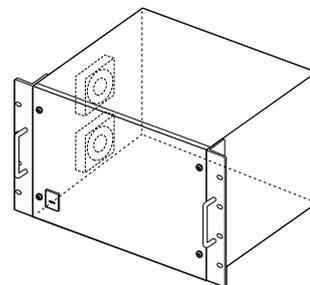
縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。



放熱について

内部に熱がこもると、火災や故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないようにください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください。交換は販売店にご依頼ください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度空けてください。また、側面にある空気吸い込み口から空気を吸い込み、機器内部を冷却していますので、この空気吸い込み口をふさがないようにしてください。



雑音源は避ける

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

強い電界、磁界は避ける

テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、影響を受けて雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合、同軸ケーブルに専用の薄銅電線管をもうけて通線してください。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。

電源について

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

ボードを扱う前に

ボードを扱う前に、マトリクススイッチャーの金属ケース部に手で触れて、人体の静電気を「放電」させてください。静電防止の「リストストラップ」(手首の輪)を装着すればより完全です。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器側面をお読みください。

ラックについて

本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック	: WU-RS71 (収納ユニット数 29U)
ロングラック	: WU-RL76 (収納ユニット数 41U)
EIA規格相当品	: EIA19型奥行き450 mm以上

ラックに取り付けるときは

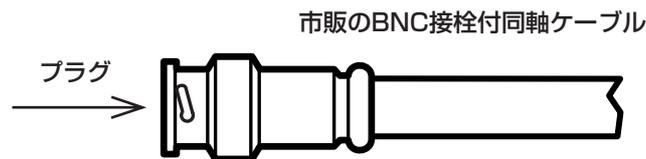
- 車載用など、振動の激しい場所では使用しないでください。
- ラックの内部温度が+45℃以上にならないよう、十分に換気をしてください。

BNC接栓付同軸ケーブル接続時

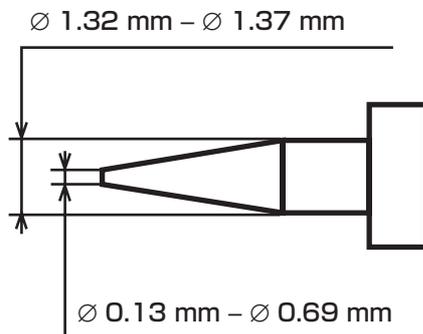
機器の設置時、本機後面のBNC端子に市販のBNC接栓付同軸ケーブルを使って接続する場合、指定の規格合格品を使用してください。

適合プラグ JIS : C5412

※規格番号末尾は改定されている場合があります。



推奨適合プラグのピン形状



重要

指定外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性がありますので、適合プラグを使用してください。最悪の場合、本体側コネクタを破損するおそれがあります。

第1編 操作

マトリクススイッチャーシステム（以下システムと呼びます）は、映像監視を行うために必要な各種機能を提供しています。ここでは、各機能の使いかたを説明します。

1 各部の名前

2 システムの機能

3 操作を始める前に

操作の基本となる事項を説明しています。初めてお使いになるときにお読みください。

4 モニターの操作

5 映像の操作

映像監視の基本となるスポット監視の方法について説明しています。また、カメラの各機能の操作方法を説明しています。

6 ツアーシーケンスの使いかた

ツアーシーケンスによる監視の方法について説明しています。

7 アラーム入力時の操作

8 外部機器の操作

9 液晶ディスプレイの調節

システムコントローラーの液晶ディスプレイの明るさ（コントラスト）の調節方法を説明しています。

10 カメラの状態表示

現在使用しているカメラの動作状態をモニターに表示して確認できます。

11 システムの終了

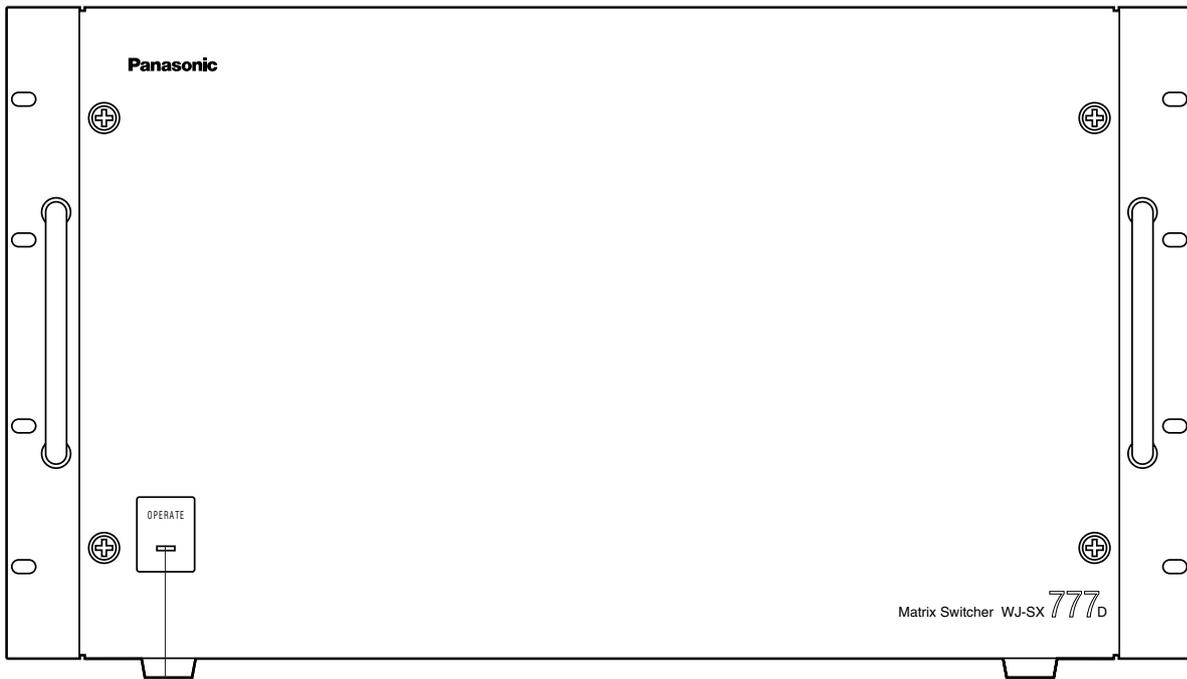
システムの終了方法について説明しています。

Chapter 1

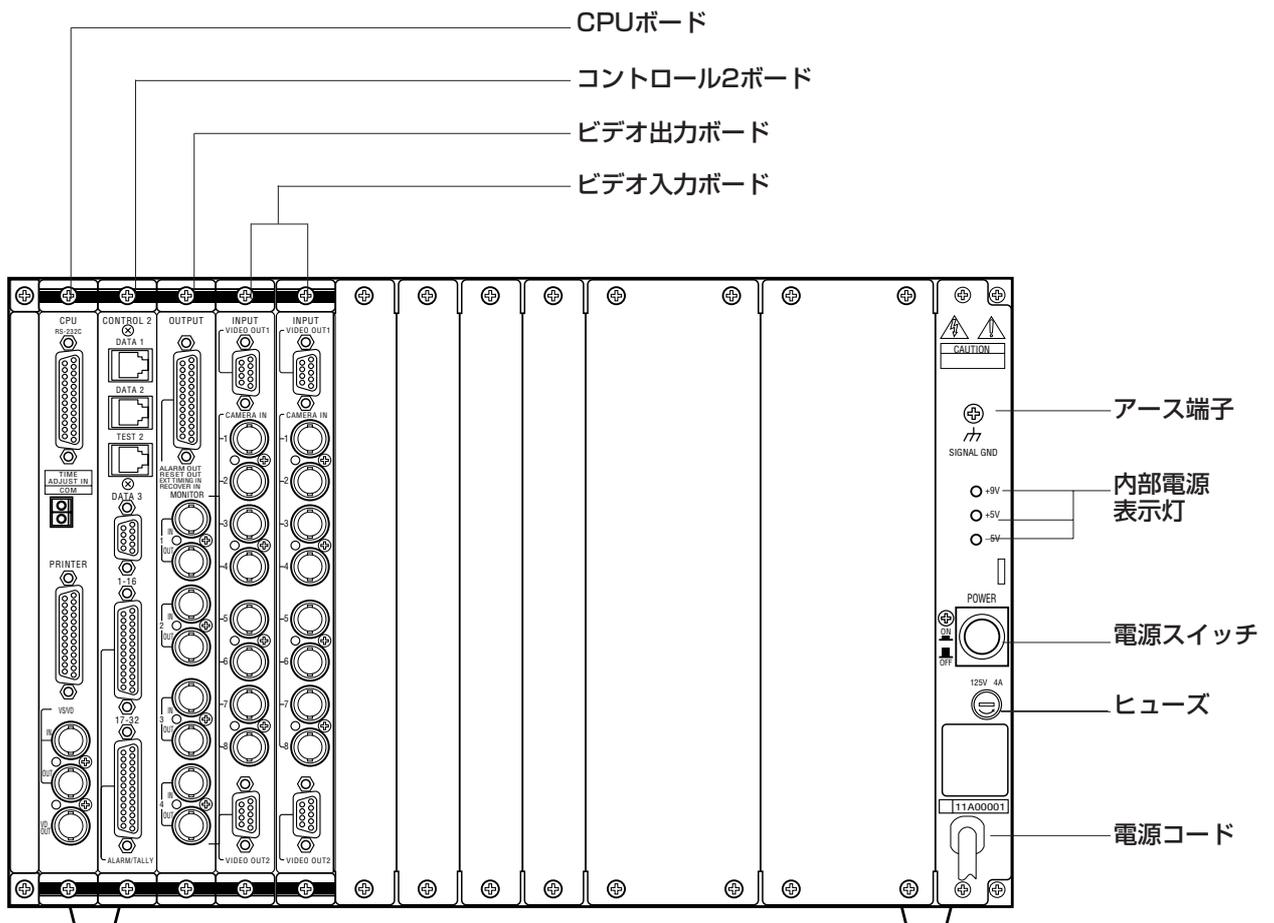
各部の名前



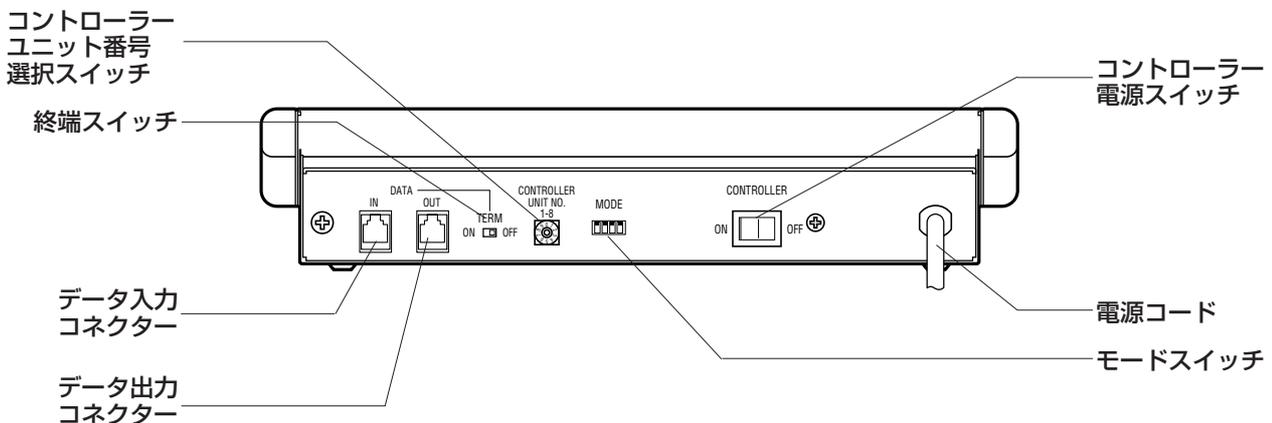
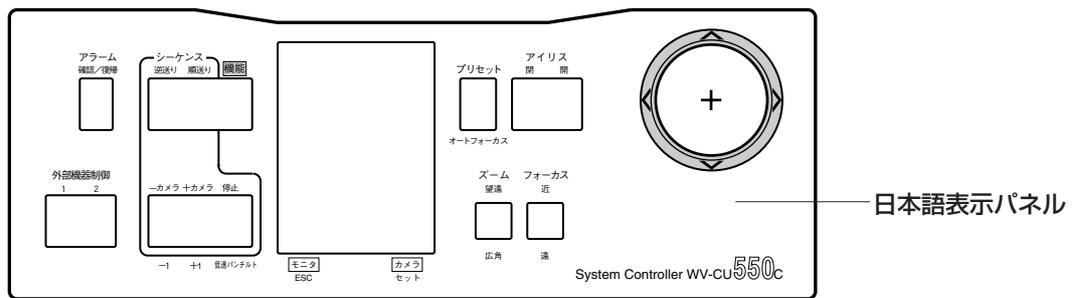
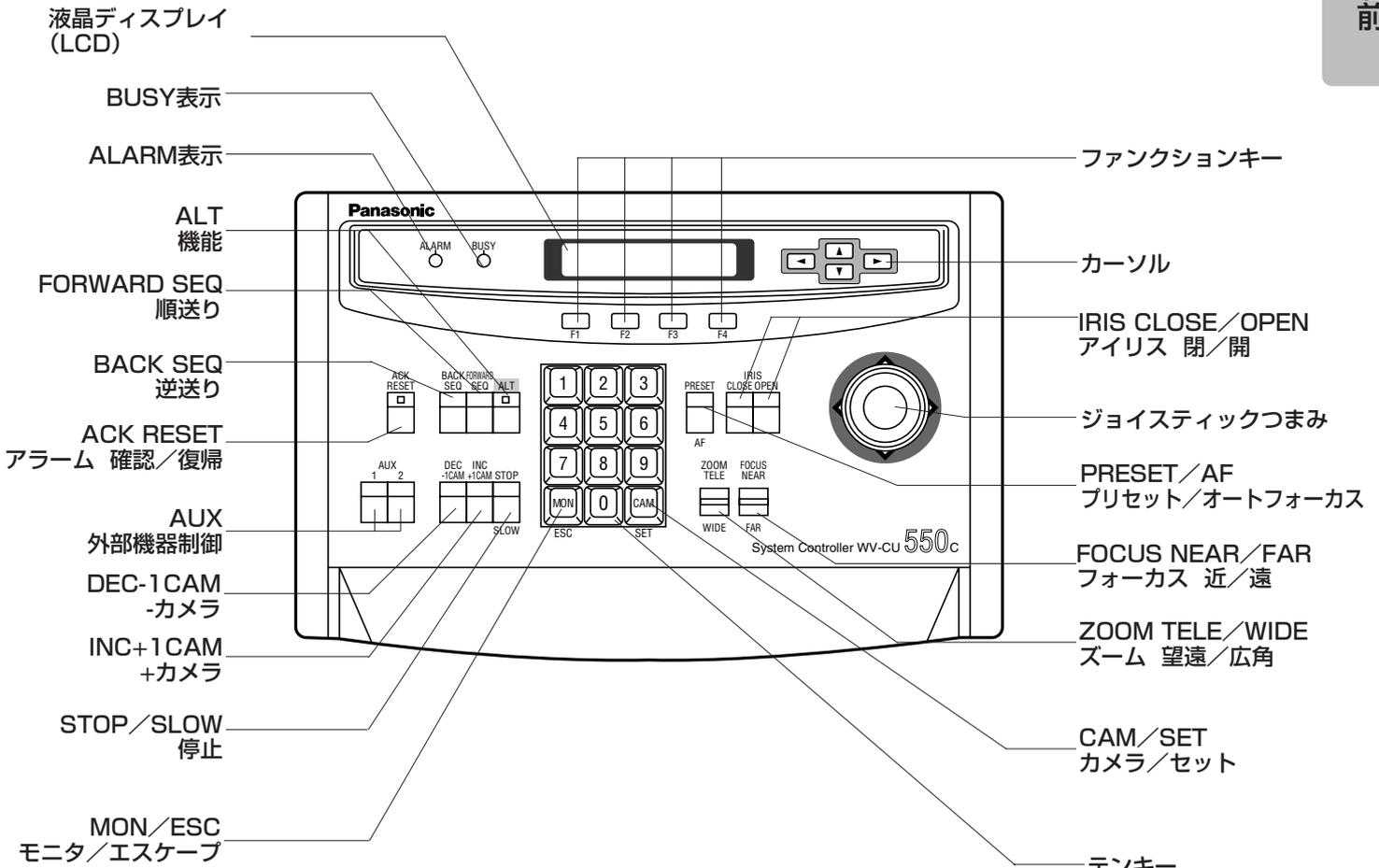
マトリクススイッチャー WJ-SX777D



電源表示灯



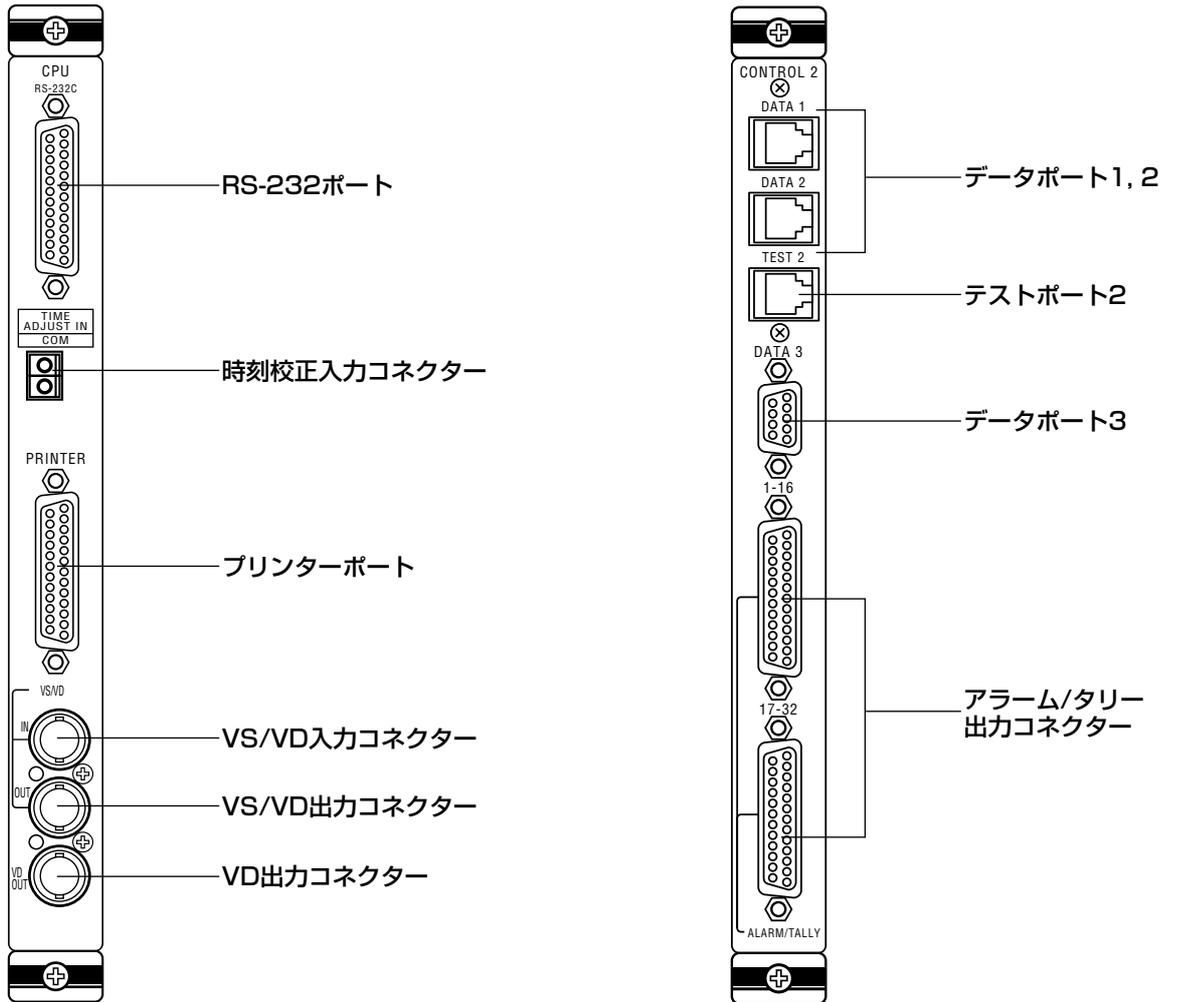
システムコントローラー WV-CU550C



ボード

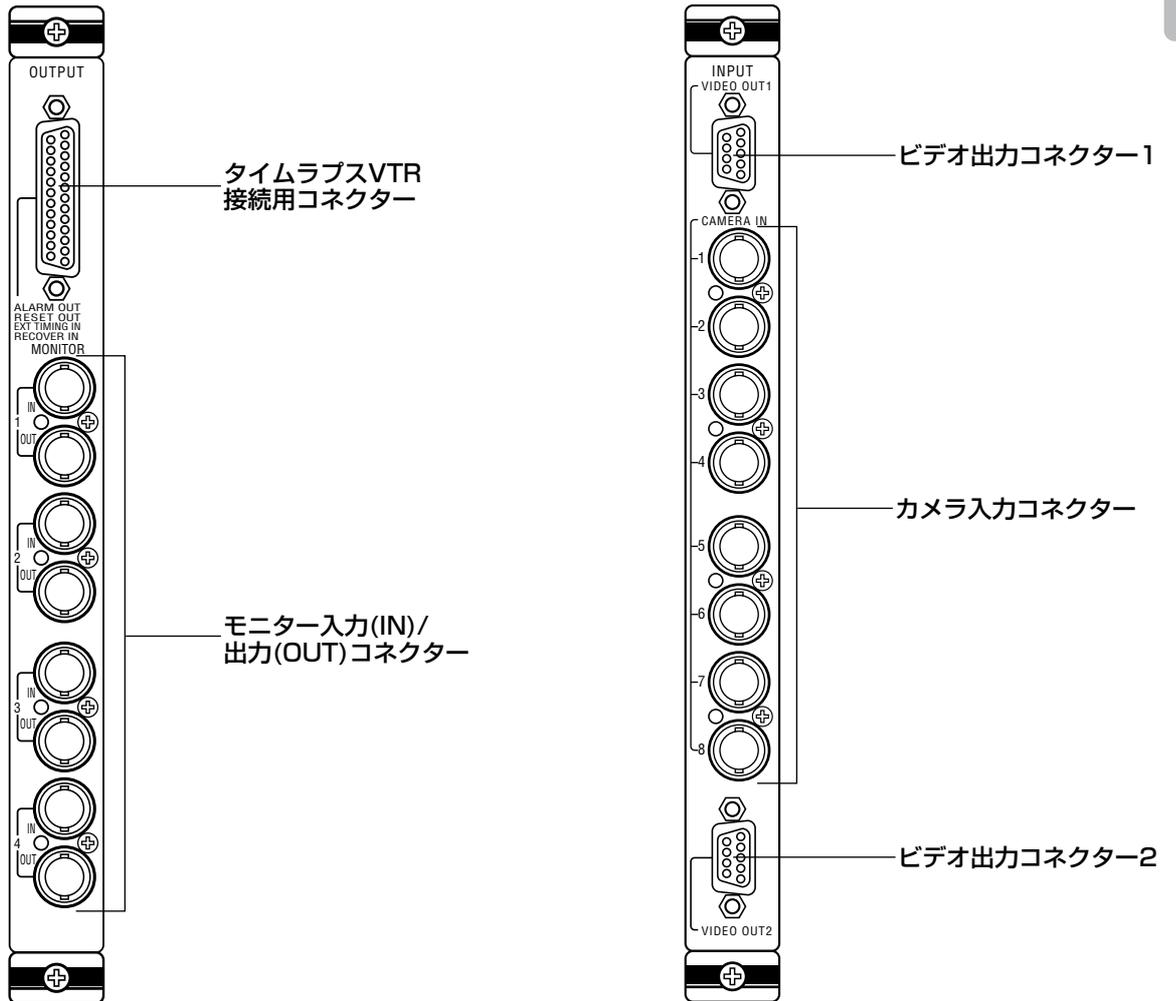
CPUボード

コントロール2ボード

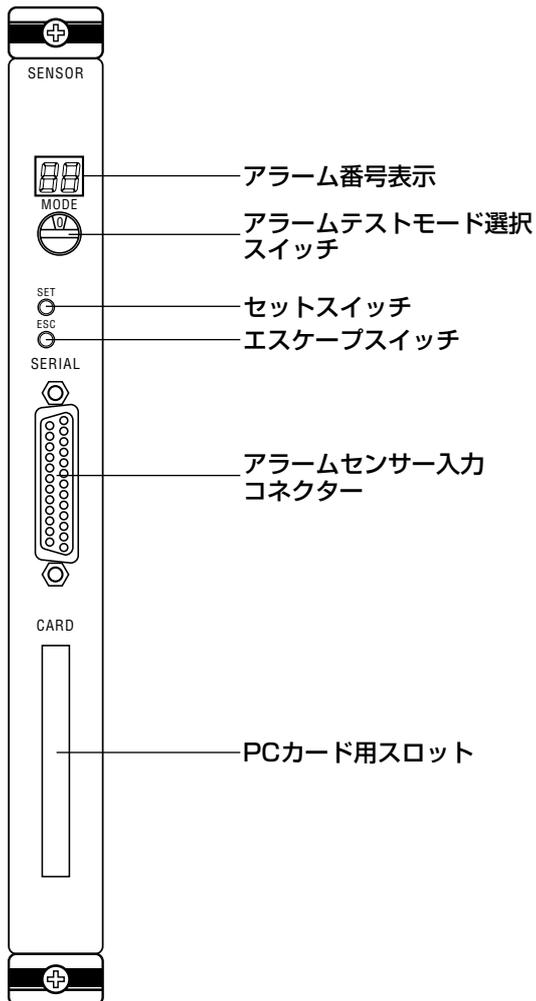


ビデオ出力ボード

ビデオ入力ボード WV-PB5508



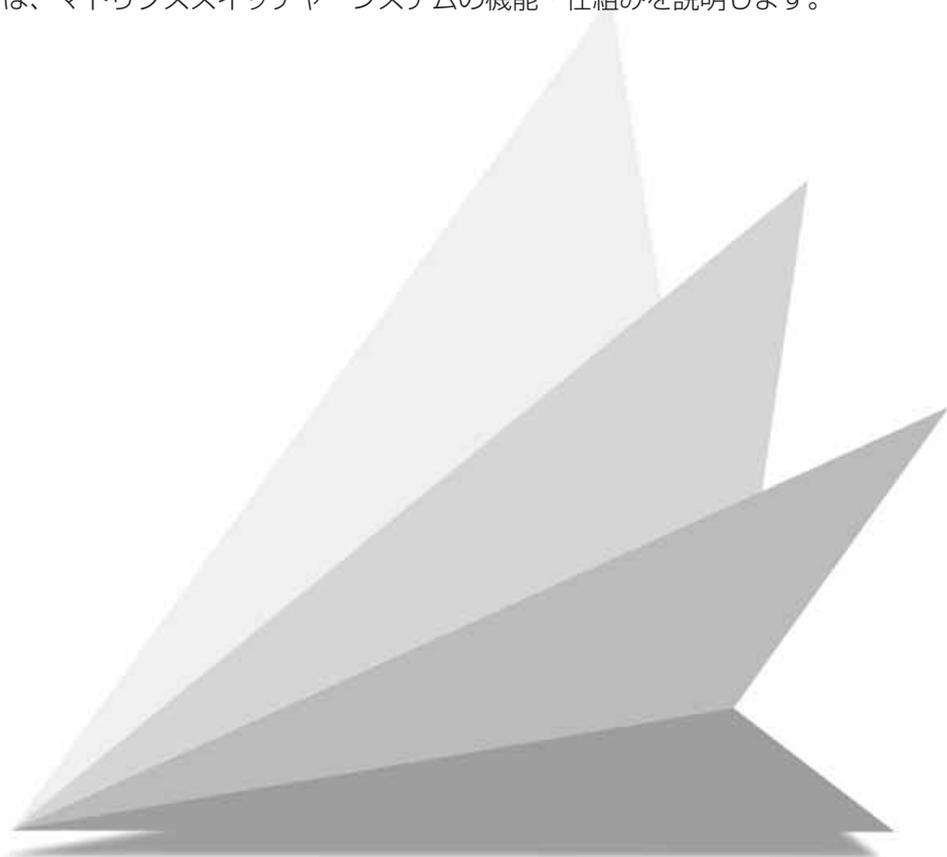
センサーボード WV-PB7700<オプション>



Chapter 2

マトリクススイッチャーシステムの機能

ここでは、マトリクススイッチャーシステムの機能・仕組みを説明します。

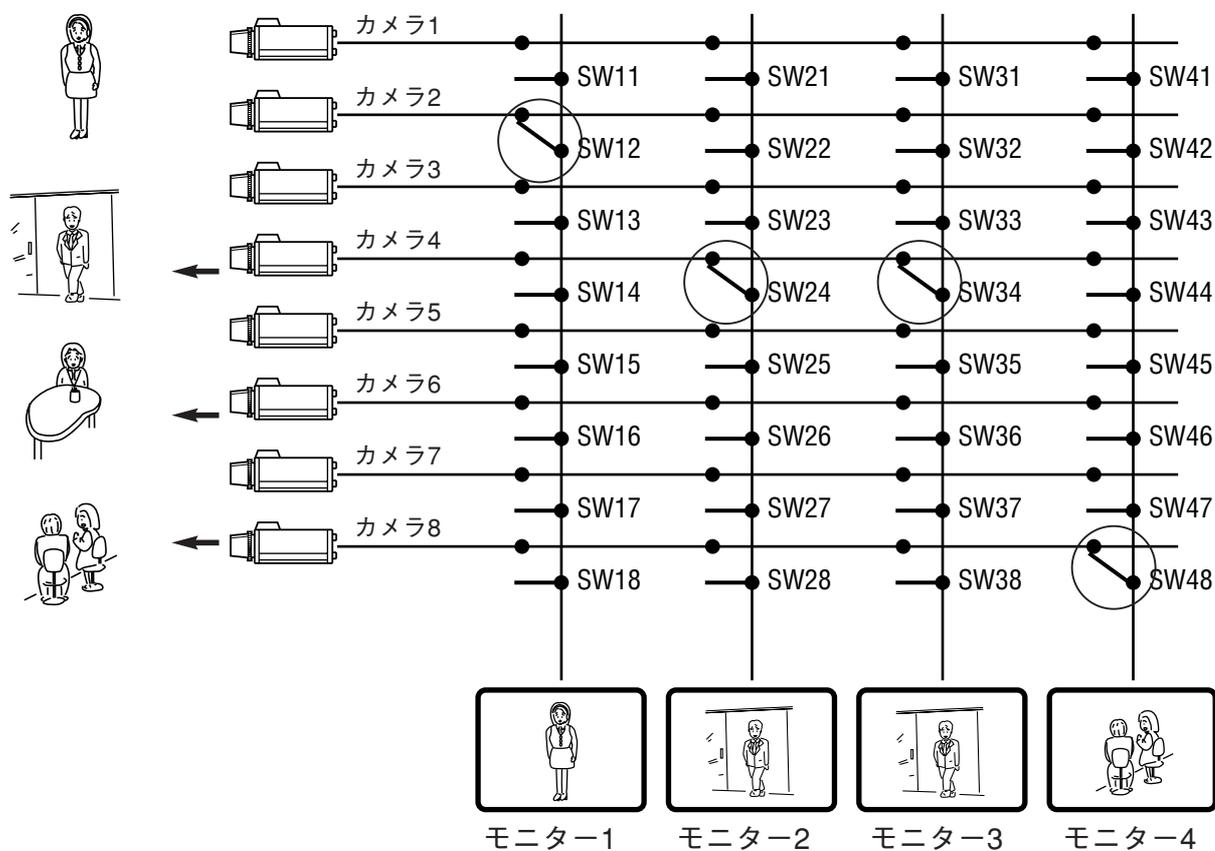


システムのしくみ

マトリクススイッチャー内部にあるクロスポイントスイッチを動作させて映像を切り換えます。カメラを行方向の配列に、モニターテレビを列方向の配列としたとき、その配列を結ぶものが、クロスポイントスイッチです。

クロスポイントスイッチの概要を下図に示します。

図の例では、SW12をONにすれば、カメラ2の映像をモニター1に表示できます。同様にSW24で、カメラ4の映像をモニター2に表示できます。また、SW34でカメラ4の映像をモニター3に、SW48でカメラ8の映像がモニター4に表示できます。マトリクススイッチャーは、このクロスポイントスイッチを意識しないで操作できるようにした装置です。



クロスポイントスイッチの開閉

クロスポイントスイッチは、マトリクススイッチャー内のマイクロプロセッサに次の入力があったとき開閉します。

- **システムコントローラーによる開閉**

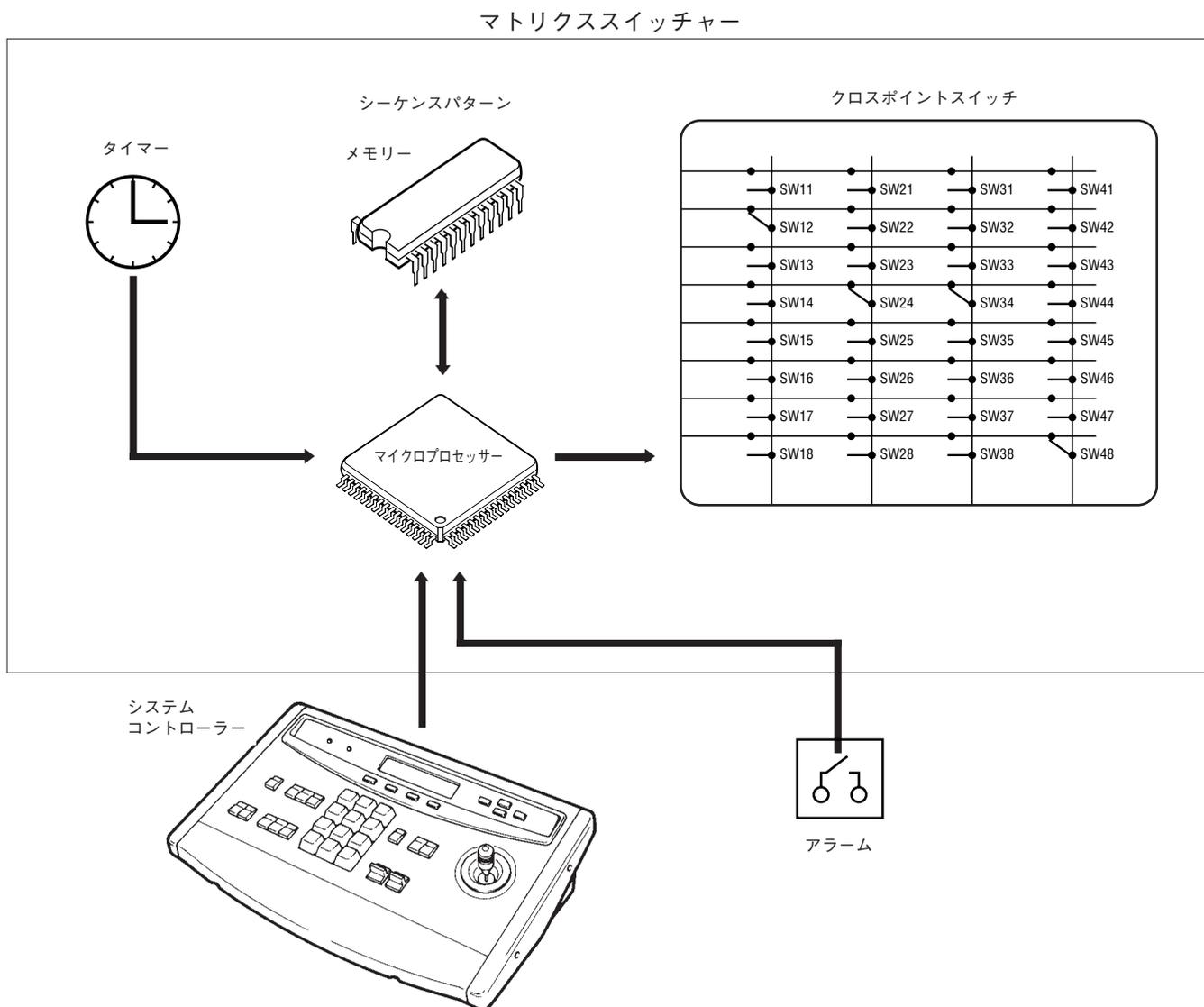
マイクロプロセッサは、システムコントローラーの操作内容に従い、クロスポイントスイッチを開閉し、指定のカメラ映像を指定のモニターに表示します。

- **外部アラーム入力による開閉**

アラーム入力があると、マイクロプロセッサはあらかじめ登録されたパターン（アラームモード）に従って、クロスポイントスイッチを開閉し、指定されたモニターにカメラ映像を表示します。

- **内部タイマーによる開閉**

内部タイマーに設定した時間になると、マイクロプロセッサは登録されたパターン（タイマーイベントモード）に従ってクロスポイントスイッチを開閉し、指定されたモニターにカメラ映像を表示します。



映像監視機能の概要

本システムは、映像監視を容易にするために各種機能を提供しています。

●スポットとシーケンス

モニター出力モードには「スポット」と「シーケンス」の2つがあります。

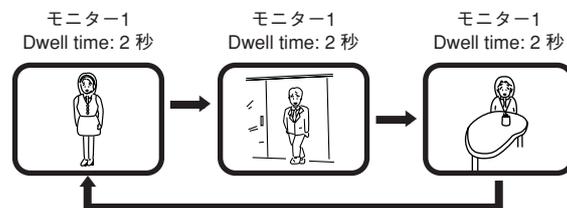
• スポット

特定のカメラ映像を特定のモニターに表示する機能です。

• シーケンス

カメラ映像を一定表示した後、順に次のカメラ映像に切り換えて表示する機能です。図の例は、モニター1にカメラ2→カメラ4→カメラ6の映像を繰り返して順次表示する場合を示します。表示する時間は2秒に設定されています。

表示時間やシーケンスのパターンなどは、設定内容によって異なります。



シーケンスで1つのカメラ映像を表示する期間を「表示時間 (Dwell Time)」と呼びます。

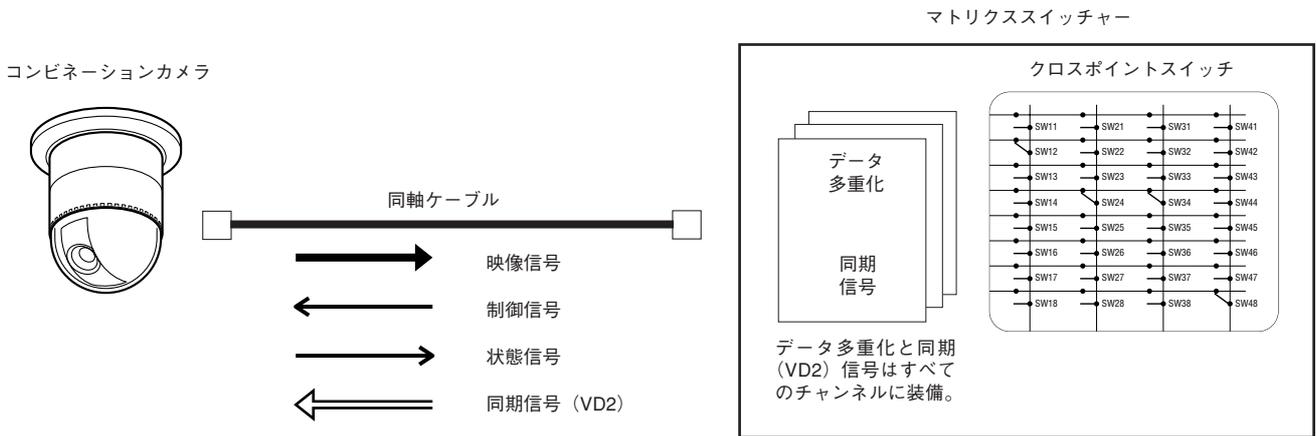
上の例のように自動的に繰り返すシーケンスのパターンは、マトリクススイッチャーのメモリーに設定しておきます。

各種の制御

マトリクススイッチャーは、クロスポイントスイッチの他に、カメラとその周辺機器（回転台、ズームレンズ、その他補助機器）を制御できます。

図のように、制御信号はカメラ映像信号に重畳されて同軸ケーブル上を伝送します。マトリクススイッチャーは、カメラに制御信号とVD2同期信号を送ります。カメラ側からマトリクススイッチャーに、カメラ映像信号とカメラ状態信号を送ります（マトリクススイッチャーに、映像信号と制御信号とを重畳／分離する回路を各チャンネルに標準装備されています）。このようにしてシステムコントローラからカメラとその周辺機器の制御を可能にしています。

VD2同期信号の動きは、複数のカメラに同じ位相の同期信号を供給することで、カメラを切り換えたときに画面が乱れるのを防ぎます。



信号	機能
制御信号	パン、チルト、ズーム、フォーカス、オートフォーカス、絞り、シャッター速度、逆光補正、プリセット位置、レシーバー周辺機器、ワイパー、霜取り等を制御する信号
状態信号	カメラの状態信号
同期信号 (VD2)	マトリクススイッチャーから各カメラに供給します。図は同期信号の有無とモニター画像の乱れの様子を示します。

同期なし (VD2 OFF)	
同期あり (VD2 ON)	

基本機能を組み合わせた使用例

美術館などの展示会場でカメラ2台を使った監視システムを説明します（図1）。

監視システムの構成例

- 回転台機能とズームレンズ、ポジションタイトル機能を内蔵したタイプのカメラ×2
- センサーシステム×1
- マトリクススイッチャー×1（オプションのセンサーボードWV-PB7700組み込み）
- モニター×2

監視内容概要

- ①通常、カメラ1で展示物を監視し、モニター2に表示します。カメラ2は、室内全体を映るように設置し、センサーと連動するようにします。
- ②赤外線センサーは、入場者を検知し、センサーシステムに知らせます。センサーシステムは、マトリクススイッチャーにアラーム信号（カメラポジション番号や、アラーム番号など）を送ります。
- ③マトリクススイッチャーは、アラーム信号を解析し、カメラ2をプリセット位置1に旋回します。その映像をモニター1に表示します。

セットアップ概要

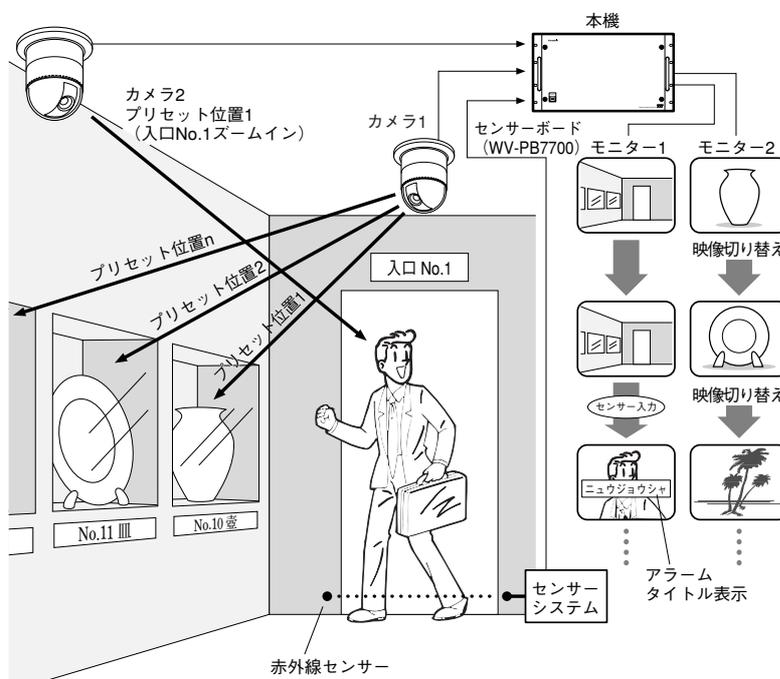
カメラ側とマトリクススイッチャーに次の情報を設定しておきます。

●カメラ側での設定

カメラ側での設定方法については、ご使用になるカメラの取扱説明書をお読みください。

- ①監視する対象物に合わせて回転台の位置とレンズのズーム度合い（監視ポジション）を設定します。カメラ1のプリセット位置1には展示物10を、プリセット位置2には展示物11を、同様に位置nに展示物nをそれぞれ撮影するように設定します。カメラ2のホームポジションには室内全体を、プリセット位置1には、入場者をクローズアップ撮影するように設定します。
- ②ポジションタイトルを設定できるカメラの場合、各展示物の番号や種類をカメラのポジションタイトルに設定します。

図1 監視システムの構成例



●マトリクススイッチャーでの設定

マトリクススイッチャーでの各種設定は、設定メニュー画面で行います。

①カメラポジション番号の設定

図2はカメラ位置の設定例（カメラポジション番号設定画面）です。

第3列の [CAM-P] はカメラポジション番号で、使用現場にあった番号を付与できます。この例では展示物と同じ番号を付けています。操作をするときに、なじみのある展示物番号で操作でき、便利な使いかたができます。

図2 設定画面の例

Set Up			System			CAM-P		
CAM-POSI Map								
CAM	PRE	CAM-P		CAM	PRE	CAM-P		
01	01	0010						
01	02	0011						
01	03	0012						
01	04	0013						
02	01	0001						

カメラ番号
プリセットポジション番号
カメラポジション番号

②センサーボードとの連動

センサーボード（WV-PB7700）を追加すると、監視場所に設置したセンサーシステムに連動して監視ポジションを変更するなどの展開が図れます。図1の例では、赤外線センサーからの信号で入場者を映しています。また画面にはあらかじめ設定した「ニュージョウシャ」のアラームタイトル、「年月日時分秒」、「カメラ番号」や「モニター番号」などがスーパーインポーズで表示されます。センサーボードと連動するには、あらかじめアラームモード設定画面でアラームモードを設定し、アラームタイトルをアラームタイトル設定画面で設定しておきます。

図3 センサーとの連動

Set Up		PROG.		Alarm		SEL.	
Alarm Mode Select							
Alarm Mode				Mode A			
Alarm Input				Site (Camera) Board			
				Off			
				On			
Alarm Display				On			
Auto RST				120sec			

アラームモードAを選択
センサーボードからアラーム信号入力

Set Up		CAM		Alarm		Title	
Alarm Title							
No.	Title						
01	ニュージョウシャ						
02	マドオープン						
03	フセイセンサー						
04							

アラーム番号ごとにアラームタイトルを設定

運用中の操作

実際の運用ではシステムコントローラーのキーを操作してカメラ番号やカメラ位置を選択します。図2の設定で展示物No.11を監視する操作を例に説明します。

●普通の操作

4回のキー操作をします。展示物No.11の映像がモニターに映し出されます。

キー操作	意味
[1]	カメラ番号1 (テンキー入力)
[CAM (SET)]	押した数字1はカメラ番号の意味
[2]	プリセット位置番号2 (テンキー入力)
[PRESET]	押した数字2はプリセット位置番号の意味

●便利な使いかた

モニターを切り換えずにカメラポジションを頻繁に切り換える場合、この操作方法が有効です。2回の操作で展示物No.11の映像がモニターに映し出されます。

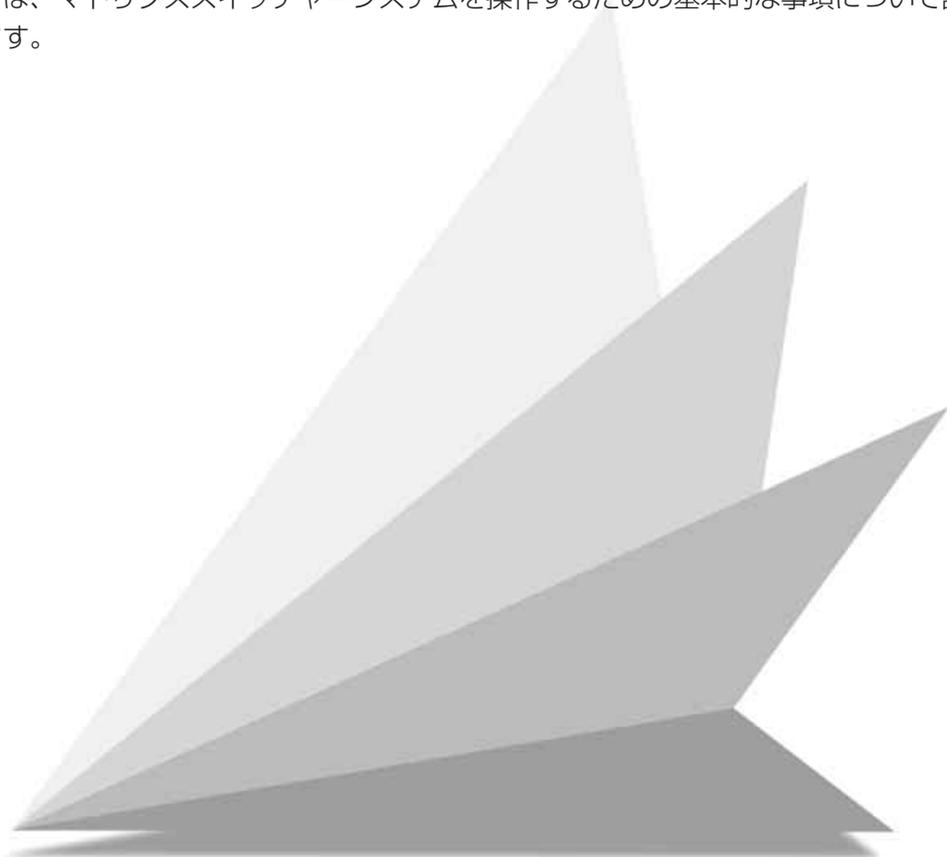
キー操作	意味
[1] [1]	カメラポジション番号11 (テンキー入力)
[MON (ESC)]	押した数字11はカメラポジション番号の意味

ただし、この操作の前に、MON (ESC) キーを [カメラポジション] キーに定義付けする手続きが一度だけ必要です。CAM-Pメニュー (D5) 画面で「Mode」を「On」にするとこの便利な使いかたができるようになります。この使用方法で使用するときは、MON (ESC) キー付近に、マトリクススイッチャー付属のシール [カメラポジション] をはり付けてください。

Chapter 3

操作を始める前に

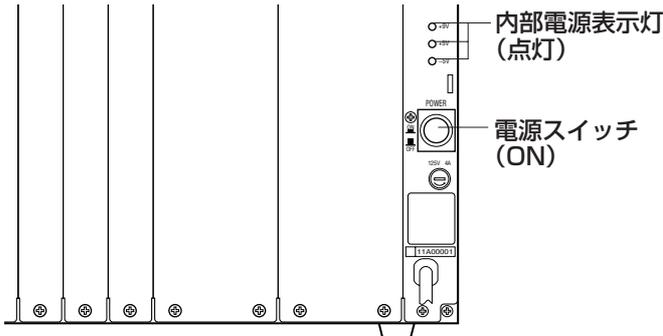
ここでは、マトリクススイッチャーシステムを操作するための基本的な事項について説明します。



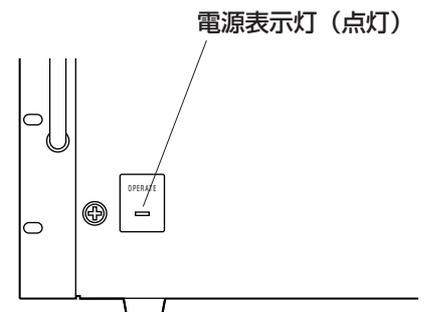
システムの起動のしかた

- ①マトリクススイッチャー後面の電源スイッチをONにします。マトリクススイッチャー後面の内部電源表示灯と前面の電源表示灯が点灯します。

<マトリクススイッチャー後面>



<マトリクススイッチャー前面>



- モニターに初期画面がオンスクリーン表示されます (下図)。

<初期画面>

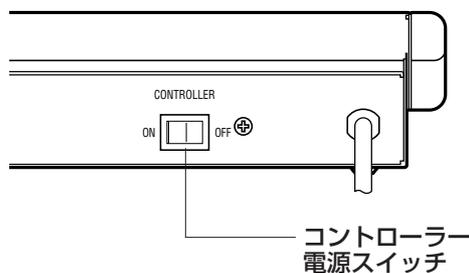
Matrix Switcher
Model WJ-SX777D
"Hot Start"

CPU Board SW.	Position
Unit No.	01
Video	NTSC
Character Type	0
VD/VS	vs

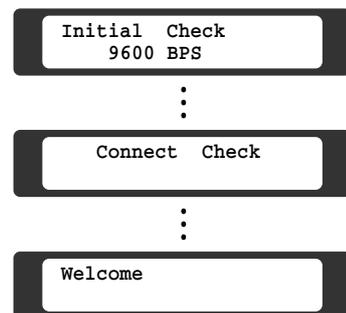
ROM	Ver.
CPU	X.XX
Control	X.XX
Output No.1	X.XX

- ②システムコントローラーの電源スイッチをONにします。
- システムコントローラーの液晶ディスプレイは、下図のように遷移し、操作可能状態になります。

<システムコントローラー後面>



<液晶ディスプレイの遷移>



メモ

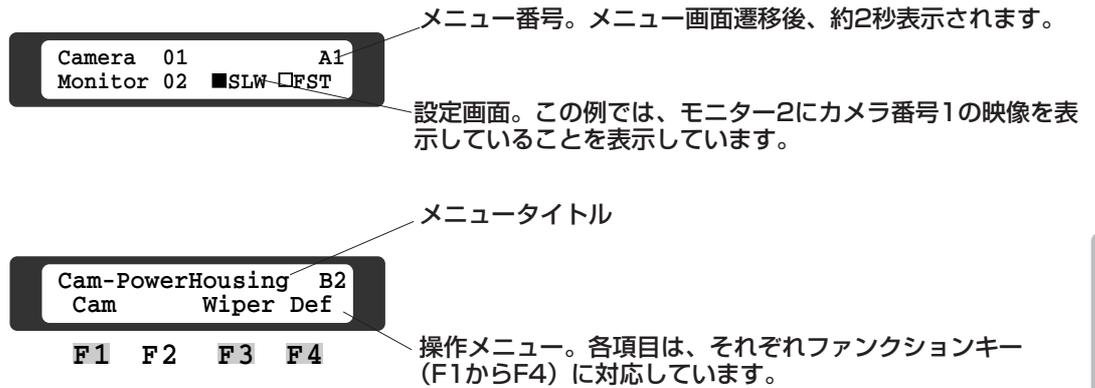
- システムは、起動状態によって自動的に「HOT START」または「COLD START」を切り換えます。詳しくは「付録 起動状態とシステム動作内容」をお読みください。
- COLD START時：初期画面表示。オペレーターの操作によって映像切り換え。
- HOT START時：初期画面表示後、電源スイッチをOFFにする前の動作を実行。初めてお使いになるとき以外は、HOT STARTとなります。
- 「Log-in」と表示されるときはオートログイン機能が解除されています。オートログイン機能をONにしてください。詳しくは「付録 故障かな!？」をお読みください。

操作メニューの流れ

システムを起動するとシステムコントローラーの液晶ディスプレイにシステムを操作するための操作メニューが表示されます。

マトリクススイッチャーの操作は、操作メニューを呼び出して行います。

操作メニューの構成



操作を始める前に

操作メニューの遷移

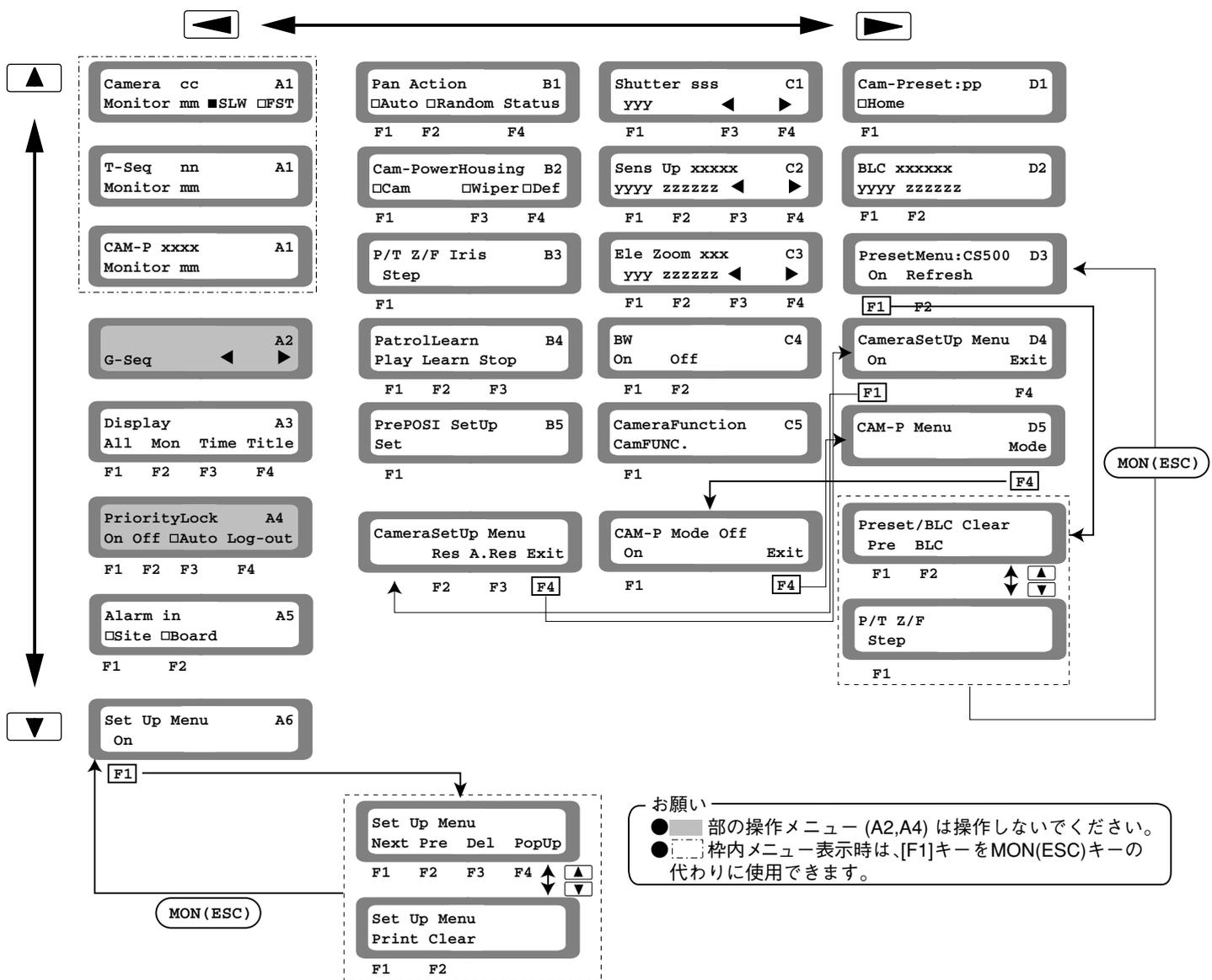
メモ

操作メニューの切り換えは、カーソルキー (▲▼◀▶) やファンクションキー (F1からF4) で行います (下図参照)。例えば、A1からA2に移るには、▼を押します。

どの操作メニューからでも、◀を押しながら▶を押すとA1メニューに戻ります。

メニュー番号 (A1、C1など) はメニュー画面遷移後、約2秒表示されます。メニュー番号は、以降の説明で頻繁に引用されます。不明なときは下の操作メニュー遷移図をお読みください。このメニュー遷移図は、付録にも記載しています。コピーしてお使いください。

● 操作メニュー遷移



重要

システムコントローラー後面のモードスイッチの設定が間違っていると、異なるメニュー遷移をします。設定方法は、178ページをお読みください。

操作の基本

ここでは、システムの操作をするうえで、基本となる操作の流れを説明します。
詳しくは、各操作方法をお読みください。

- **モニターを選択**

モニター番号入力 (テンキー) → MON (ESC) キー
(カメラポジションモード「On」時は [F1] キー)

- **カメラの選択**

カメラ番号入力 (テンキー) → CAM (SET) キー
[INC+1CAM] スイッチ
[DEC-1CAM] スイッチ

- **ズームの操作**

[ZOOM] スイッチ。広角にする (WIDE) または望遠 (TELE) にする。

- **ピントの調節**

[FOCUS] スイッチ。手前に合わせる (NEAR) または遠くに合わせる (FAR)。

- **オートフォーカスの起動**

[PRESET/AF] スイッチ。

- **カメラの旋回**

ジョイスティックつまみを動かす。

- **プリセット操作**

プリセット番号入力 (テンキー) → [PRESET/AF] スイッチ。

- **カメラ選択と同時にプリセット位置に旋回 (カメラポジションモードOn時)**

カメラポジション番号 (テンキー) → MON (ESC) キー

- **アイリス調節**

[IRIS] スイッチ。画面を明るくする (OPEN) または暗くする (CLOSE)。

- **ツアーシーケンスの実行**

シーケンス番号 (テンキー、1~16) → [FORWARD SEQ] スイッチ。

- **外部機器の操作**

[AUX1] または [AUX2] スイッチを押す。

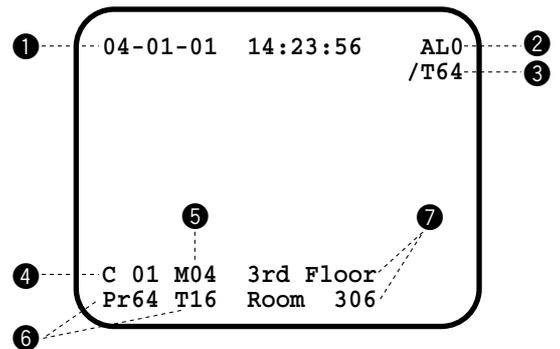
モニターに表示される情報

システム運用中に、日付やカメラタイトルなどの情報やシステムやカメラの動作に関する情報をモニターに表示して確認することができます。

日付、カメラタイトル、実行中のシーケンスなどの情報

通常モニターに表示される情報です。これらの情報を表示したり消去したりできます。詳細は、「4. モニターの操作」をお読みください。

- ①年月日時分秒
- ②アラーム動作中
AL0：カメラ側から同軸多重でアラーム入力。
AL1：センサーボード経由でアラーム入力。
- ③タイマーイベント
- ④カメラ番号
- ⑤モニター番号
- ⑥監視モード
Sp ：スポット
Tnn ：ツアーシーケンス。
 nnはツアーシーケンス番号
Prxx ：プリセット。
 xxはプリセット番号
- ⑦カメラタイトル

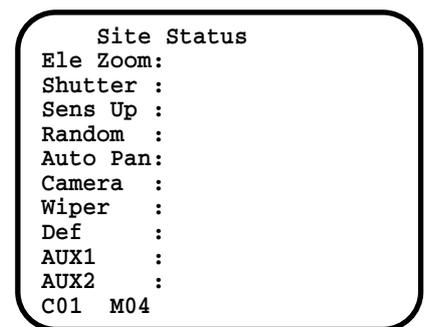


メモ

モニターによって、文字の一部が表示できない場合があります。

カメラ側機器の状態

電子ズームや電子シャッターのOn/Offやパンニング機能の有無など、設定されているカメラ側機能に関する状態を表示できます。詳細は、「10. カメラの状態表示」をお読みください。



アラーム履歴

表示のしかたについては、「第2編 8. アラーム入力履歴の表示・印刷」をお読みください。

システムに入力されたアラーム情報を履歴として確認できます。

Seq	Date	Alarm	Alarm Title
53	06-14 23:09:11	P-0001	ドアカイホウ
52	06-11 10:32:37	S-0001	
51	05-05 01:12:08	S-0002	
50	03-03 21:59:00	P-0012	シンニューシャ
49	03-03 12:00:00	S-0026	
48	03-03 11:59:20	P-0008	フセイ センサー
47	02-26 23:59:00	P-0010	カイジョウ
46	02-25 00:00:00	P-0008	シンニュー
45	02-02 12:47:32	S-0001	
44	01-11 02:00:00	S-0003	
43	01-01 00:00:01	S-0015	
42	12-25 23:00:00	S-0028	
41	11-11 08:28:59	P-0003	
40	08-21 09:07:16	P-0021	
39	08-11 21:09:37	P-0063	
38	06-31 11:11:11	P-0011	

Chapter 4

モニターの操作

ここでは、カメラの映像を表示するモニターの選択のしかた、およびモニターに表示される情報について説明します。

モニターを選択

- ①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

A1

Camera
Monitor 01 ■SLW □FST

メモ

- A1はメニューの起点です。カーソルキーの◀を押しながら▶を押すと、どのメニューからでもA1に戻ることができます。
- システムの状態によってメニューの内容は異なります。

Camera cc A1
Monitor mm ■SLW □FST

: スポット監視時

T-Seq nn A1
Monitor mm

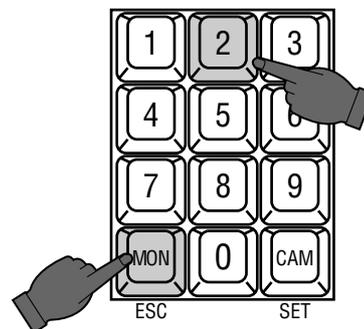
: ツアーシーケンス実行中

CAM-P xxxx A1
Monitor mm

: CAM-Pメニュー (D5) でMode On時

- ②テンキーでモニター番号を入力します。
数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。

Camera 2
Monitor 01 ■SLW □FST



- ③MON (ESC) キーまたは [F1] キーを押します。数字が下段に移動して [Monitor 02] と表示され、モニターが選択されます。

Camera
Monitor 02 ■SLW □FST

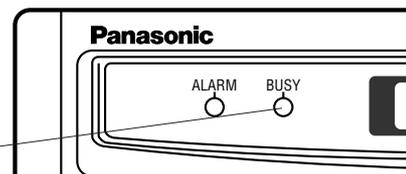
メモ

- ビジー表示が点灯したとき

選択したモニターを他のオペレーター (タイマー含む) が後から選択すると、ビジー表示が点灯し、液晶ディスプレイに「Busy」が表示されます。再度、そのモニターを選択するか、他のモニターを選択すると操作できます。

Monitor ** Busy

ビジー表示



- MON (ESC) キーについて

CAM-Pメニュー (D5) で「Mode」を「On」にした場合、MON (ESC) キーは、カメラポジションキーになっています。この場合、モニターを変更するには、A1メニュー表示後、モニター番号を入力し、[F1] キーを押します ([F1] キーをMON (ESC) キーの代わりに使用できます)。

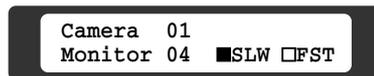
カメラタイトル、日付、時刻の表示

セットアップメニューで登録したカメラタイトルや日付、時刻をモニターに表示したり、消去したりできます。登録のしかたは「第2編 設定」をお読みください。

①カメラとモニターの選択

カメラとモニター番号を選択します。
カメラの選択のしかたは、「5. 映像の操作」をお読みください。

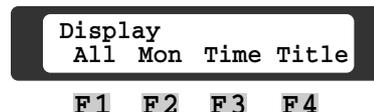
A1



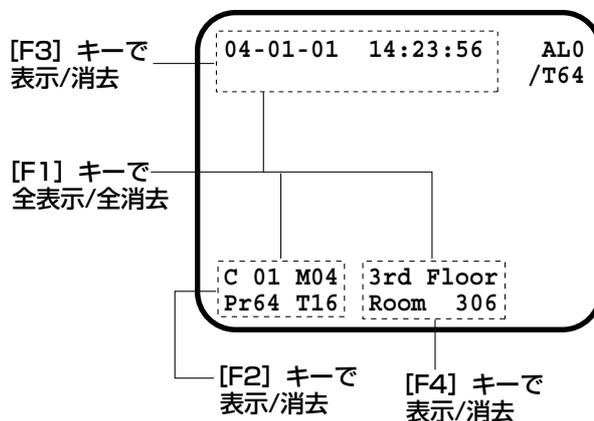
②メニューの呼び出し

カーソルキーを操作して、A3メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
モニターには図のように表示されます。

A3

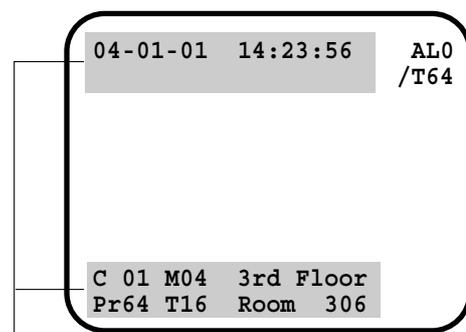


モニターの状態



③各タイトルを表示するかどうか選択する

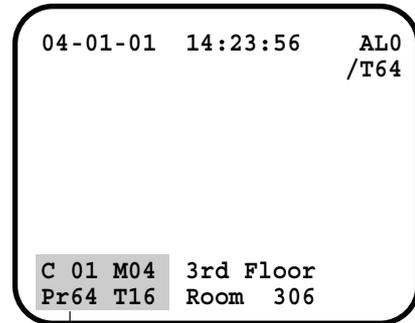
[F1] キーを押します。キーを押すたびにタイトル表示/消去が切り換わります。



[F1] キーを押すたびに表示/消去が切り換わる

- モニター状態の表示／消去を選択する

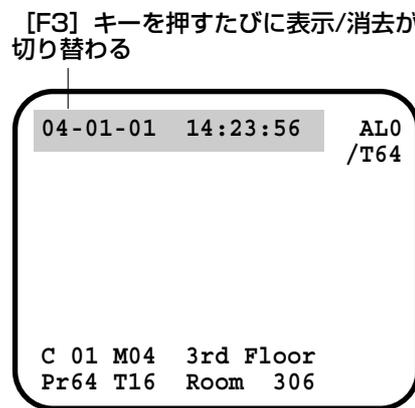
[F2] キーを押します。キーを押すたびに表示／消去が切り換わります。



[F2] キーを押すたびに表示/消去が切り替わる

- 日付と時刻の表示／消去を選択する

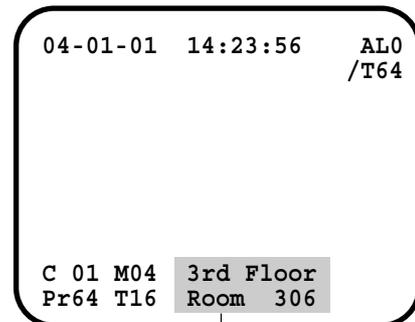
[F3] キーを押します。キーを押すたびに表示／消去が切り換わります。



[F3] キーを押すたびに表示/消去が切り替わる

- カメラタイトルの表示／消去を選択する

[F4] キーを押します。キーを押すたびに表示／消去が切り換わります。



[F4] キーを押すたびに表示/消去が切り替わる

Chapter 5

映像の操作

システムの基本機能には、スポットによるカメラ映像表示とシーケンスによるカメラ映像表示があります。スポットは、オペレーターがその場でモニターやカメラを指定して操作します。シーケンスは、システムに登録されている内容を基にカメラや外部機器を動作させ、モニターにカメラの映像を表示します（シーケンスを行うためには、別途設定作業が必要です）。

シーケンス実行中に、スポット監視に切り換えたり、またその逆もできます。シーケンスの操作方法は「6. ツアーシーケンスの使いかた」をお読みください。

スポットによる映像監視のしかた

スポットとは、オペレーターが映像の監視に使用するカメラとモニターを指定し、操作する機能です。

スポットで映像を監視する場合、初めに映像を表示するモニターを指定します。その後、カメラを指定します。

モニターの選択

- ①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

メモ

- A1はメニューの起点です。カーソルキーの◀を押しながら▶を押すと、どのメニューからでもA1に戻ることができます。
- システムの状態によってメニューの内容は異なります。

A1



- ②まずテンキーでモニター番号を入力します。数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。



- ③次にMON (ESC) キーを押します。数字が下段に移動して [Monitor 02] と表示され、モニターが選択されます。



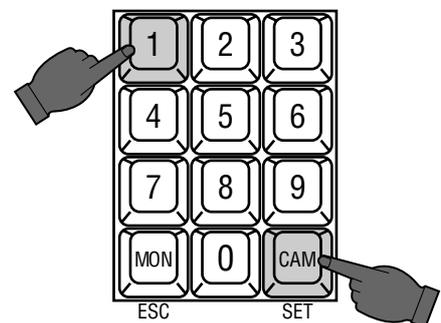
メモ

Cam-Pメニュー (D5) で「Mode」を「On」にした場合、MON (ESC) キーの代わりに、[F1] キーを押してください。

カメラの選択 (その1)

テンキーを使う操作方法です。

- ①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

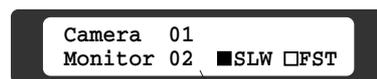


- ②テンキーでカメラの番号を入力します。数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。
- ③CAM (SET) キーを押します。数字が左に移動して [Camera 01] と表示されます。

メモ

カメラの映像は、選択されているモニターに表示されます。

A1



映像はこのモニターに表示される。

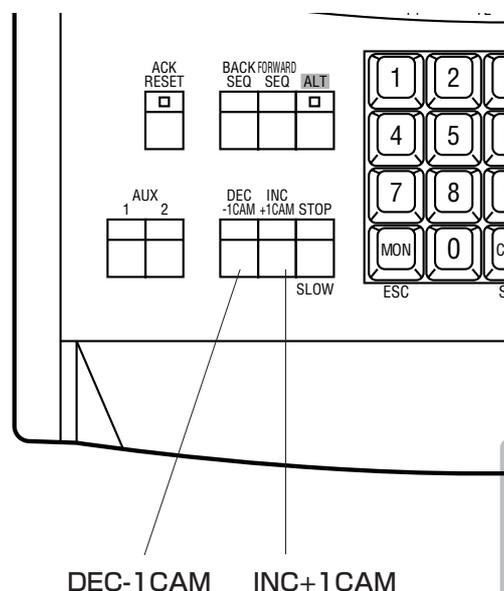
カメラの選択 (その2)

[INC+1CAM]、[DEC-1CAM] スイッチを使う操作方法です。

- ①カメラ番号にプラス1したカメラの映像に切り換えるとき、[INC +1CAM] スイッチを押します。このスイッチを押すたびにカメラ番号にプラス1されたカメラ番号の映像に切り換わります。
- ②カメラ番号にマイナス1したカメラの映像に切り換えるとき、[DEC -1CAM] スイッチを押します。このスイッチを押すたびにカメラ番号にマイナス1されたカメラ番号の映像に切り換わります。

メモ

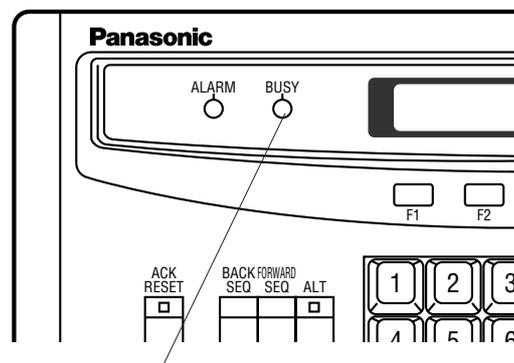
[INC+1CAM]、[DEC-1CAM] スイッチは、0.5秒以上の間隔をあけて押してください。



映像の操作

ビジー表示が点灯したとき

選択しているカメラを他のオペレーター (タイマー含む) が後から選択すると、ビジー表示が点灯し、液晶ディスプレイに「Busy」が表示されます。再度、目的のカメラを選択するか、他のカメラを選択すると操作できます。



ビジー表示

電動ズームレンズの操作

重要

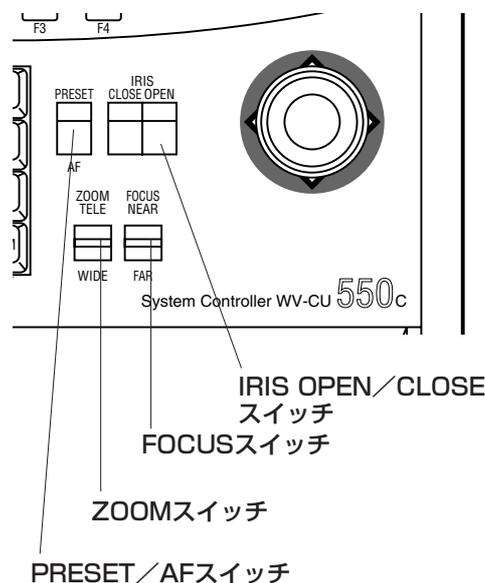
- 電動ズームレンズを制御するには、レシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）またはコンビネーションカメラが必要です。
- この機能は、カメラに電動ズームレンズが装着されているときにだけ有効です。システム構成を確認してください。
- カメラのレンズ選択スイッチ（DC/VIDEO）は、DCに設定されていることを確認してください。
- カメラによっては、使用できない機能があります。ご使用になるカメラの取扱説明書を確認してください。

フォーカス（ピント）を調節する

①操作するカメラを選択します。

②フォーカスを調節します。

モニターを見ながら [FOCUS] スイッチをNEARまたはFARに動かし、ピントを調節します。ワンプッシュオートフォーカス機能付きカメラをご使用の場合 [PRESET/AF] スイッチを押すと自動的にピントが合います。



ズームを操作する

①操作するカメラを選択します。

②ズームを操作します。

モニターを見ながら [ZOOM] スイッチをTELEまたはWIDEに動かしズームを操作します。

アイリス（明るさ）を調節する

①操作するカメラを選択します。

②アイリスを調節します。

モニターを見ながら [IRIS] スイッチ（OPENまたはCLOSE）を操作して、明るさを調節します。

工場出荷状態に戻すには

[OPEN] スイッチを押しながら [CLOSE] スイッチを3秒間押しと、工場出荷設定状態に戻すことができます。

OPENスイッチ : 押すたびに絞りが開き映像が明るくなります。

CLOSEスイッチ : 押すたびに絞りが閉じ映像が暗くなります。

メモ

- 自動絞りレンズを装着している場合で、カメラのAGC切換スイッチがONになっているとき、アイリス開閉操作の反応が非常に遅くなることがあります。このような場合は、スイッチの操作を断続的に行ってください。

- フォーカス、ズーム、アイリスを微調節するには

①操作するカメラを選択します。

②カーソルキーを操作しB3メニューを表示します。

③ [F1] キーを押しながら [FOCUS]、[ZOOM]、[IRIS] スイッチを操作、調節します。

B3

P/T Z/F Iris
Step

F1

回転台の操作（パン、チルト）

重要

- システムに、レシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）またはコンビネーションカメラ（プリセット操作する場合、プリセット式コンビネーションカメラシリーズ）が接続されている場合に、回転台を操作できます。
- システムの構成によってはプリセット番号やカメラポジション番号で操作できないことがあります。

回転台を操作する方法には次の2つがあります。

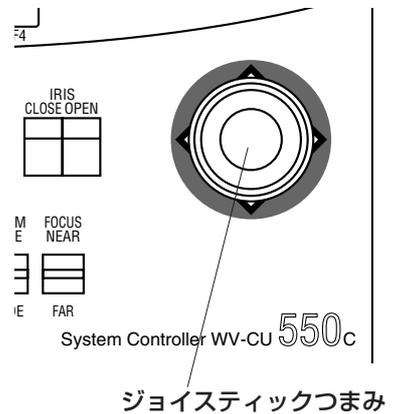
- ジョイスティックつまみで操作する（手動操作）
- プリセット番号で操作する

プリセット番号で操作する場合は、あらかじめ回転台を旋回する位置に番号を付けてカメラに登録（プリセット）しておく必要があります。

手動で操作する

①操作するカメラを選択します。

- ②ジョイスティックつまみを希望する方向に動かします。
ジョイスティックつまみの動きに応じて、カメラが旋回します



パン、チルトの速度を調節するには

- ジョイスティックつまみによるパン、チルトの速度が速すぎる場合

- ① カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ② F3キーを押して、SLWをONにします。

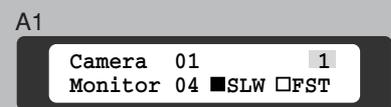
SLW : SLW ON SLW : SLW OFF

SLWをONにしている間、ジョイスティックによるパン、チルト操作が低速になります（FSTを選択すると高速になります）。

A1メニューでFSTを選択しているとき、[STOP/SLOW] スイッチを押しながらジョイスティックつまみを操作しても低速でパン、チルトを行うことができます（[ALT] スイッチのLEDが消灯している場合）。

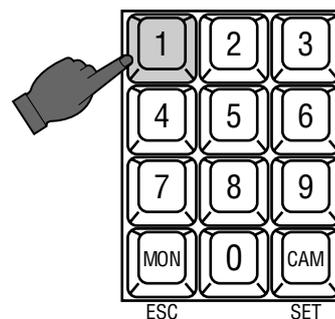
- パン、チルト位置を微調節する場合

回転台を少しだけ移動した後、停止させることで、監視位置の微調節ができます。微調節する場合、はじめに [ALT] スイッチを押して、[ALT] スイッチのLEDを点灯させます。その後、[STOP/SLOW] スイッチを押しながらジョイスティックつまみを操作してください。ジョイスティックつまみを操作した方向に1ステップだけ旋回した後、自動的に停止します。



プリセット番号で操作する

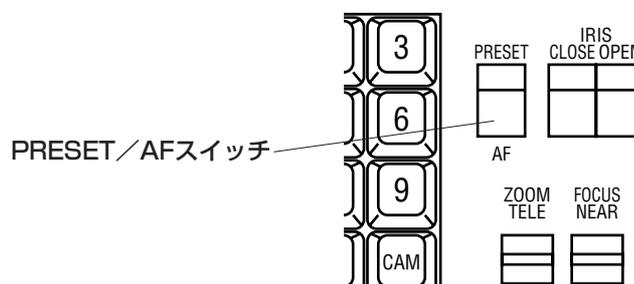
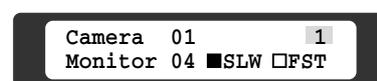
- ①操作するカメラを選択します。
- ②テンキーで、登録済のプリセット番号を入力します。
- ③ [PRESET/AF] スイッチを押すと、カメラが登録されているプリセット位置に旋回します。



メモ

プリセット操作を行うには、あらかじめプリセット機能のあるカメラにプリセット位置を登録しておく必要があります。登録方法は「第2編 7. カメラ機能の設定」をお読みください。

A1



カメラポジション番号を直接指定する

- ①操作するモニターを選択します。
- ②カーソルキーを操作してD5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ③ [F4] キーを押します。右のメニューに変わります。
- ④ [F1] キーを押し、液晶ディスプレイの上段に「On」を表示させます。[F1] キーを押すたびに「On」と「Off」が交互に切り換わります。

メモ

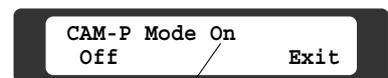
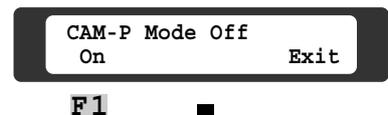
「On」にするとMON (ESC) キーの機能がカメラポジション確定キーに変わります。「On」にした後、モニターを選択を確定するときは[F1] キーで行います。

- ⑤ [F4] キーを押し、D5メニューに戻ります。
- ⑥テンキーで、登録済のカメラポジション番号を入力します。
- ⑦MON (ESC) キーを押すと、カメラポジション番号に登録されているカメラが、設定されているプリセット位置に旋回します。

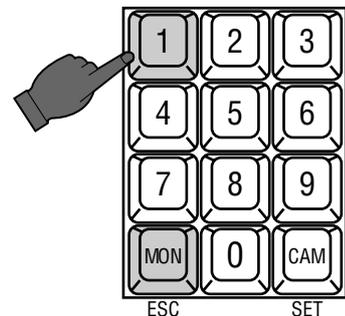
重要

カメラポジション番号で操作するには、あらかじめシステムにカメラポジション番号とカメラ番号、プリセット番号の対応を登録しておく必要があります。登録方法は「第2編 6. システムの基本設定」をお読みください。また、マトリクススイッチャー付属のシール（[カメラポジション] または [CAM POSI]）を右図の位置に貼ってお使いください。

D5



[F1] キーを押して Onにする。



カメラポジション

シール（マトリクス
スイッチャー付属）

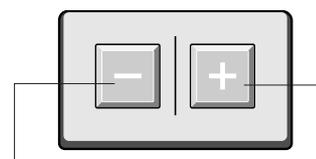
外部スイッチでカメラポジション番号を切り換える

外部スイッチを使って、登録されているカメラポジション番号の順番にカメラ映像を切り換えることができます。

操作を行うには、外部制御スイッチを本機に接続（177ページ）し、セットアップメニューでカメラポジション操作の設定（126ページ）を行う必要があります。

①操作するモニターを選択します。

② [Cam-Posi-Inc] キーを押すと、前回操作したカメラポジション番号にプラス1した番号のカメラ映像に切り換わります。



[Cam-Posi-Dec] キー [Cam-Posi-Inc] キー

③ [Cam-Posi-Dec] キーを押すと、前回操作したカメラポジション番号にマイナス1した番号のカメラ映像に切り換わります。

コントローラーからカメラポジション番号の指定をせずに、初めて外部スイッチでカメラポジション番号の切り換え操作を行うと、セットアップメニューのカメラポジションのリストに登録されている最も小さい番号のカメラ映像が表示されます。カメラポジションの登録が1つの場合は、外部スイッチを何度押しても登録されているカメラポジションの映像しか表示されません。カメラポジションが未登録の場合は、外部スイッチを操作しても映像は表示されません。

重要

- 外部スイッチを使ってカメラポジション番号の切り換えを行った場合、コントローラーの液晶ディスプレイにはカメラポジション番号が表示されません。カメラポジション番号の切り換えを行うと、液晶ディスプレイには、カメラポジションに設定されたカメラ番号のみが表示されます。
- カメラポジションを切り換えた後に外部スイッチを操作すると、約0.5秒間BUSY表示が点灯します。

自動パンニングによる映像の監視

自動パンニングとは、カメラを水平方向に自動回転させる機能です。自動パンニングには次の5つの機能があります。

- **オートパンニング**

自動的に、コンビネーションカメラまたは回転台に設定したリミットスイッチの区間をパンニングし続けます。

- **オートシーケンス**

自動的に、コンビネーションカメラに設定されているプリセット番号をプリセット番号の小さい順番で切り換えます。

- **オートソート**

自動的に、設定されているプリセット位置をカメラの原点位置から左回りに切り換えます。

- **ランダムパンニング (Random-1、Random-2)**

Random-1：自動的に、コンビネーションカメラまたは回転台側で設定した時間（n秒）自動的に巡回した後、2×n秒停止します。

Random-2：自動的に、移動方向と時間が不規則（ランダム）な動きになるように動作します。

これらの機能を使用するためには、使用するカメラまたは回転台が各機能をサポートしている必要があります。また、使用する機能によっては、カメラまたは回転台の設定が必要です。使用可能な機能と機種への対応例は下表を参照してください。詳しくは、使用するカメラまたは回転台の取扱説明書をお読みください。

品名	品番	オートパンニング	オートソート	オートシーケンス	ランダムパンニング	
					Random-1	Random-2
コンビネーションカメラシリーズ	WV-CS300	○	×	×	×	○
	WV-CS400	○	×	×	×	×
	WV-CS500	○	×	×	○	○
	WV-CS600	○	○	○	×	×
	WV-CS600A	○	○	○	×	×
	WV-CS650	○	○	○	×	×
	WV-CS850	○	○	○	×	×
	WV-CS850A	○	○	○	×	×
	WV-CW860	○	○	○	×	×
	WV-CS550	○	○	○	×	×
	WV-CS850B	○	○	○	×	×
	WV-CW860A	○	○	○	×	×
回転台	WV-7220D	△	×	×	△	△
	WV-7225	△	×	×	△	△
	WV-7230D	×	×	×	×	△
	WV-7260D	×	×	×	×	△

凡例 ○：動作可能 △：レシーバー使用時のみ動作可能 ×：動作不可能

自動パンニングを行う

①自動パンニングを行うカメラを選択します。

②カーソルキーを操作して、B1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

• オートパンニングで映像を監視する場合

[F1] キーを押します。[1] キーを押してから [F1] キーを押して実行することもできます。

• オートソートで映像を監視する場合

[2] キーを押してから [F1] キーを押します。

• オートシーケンスで映像を監視する場合

[3] キーを押してから [F1] キーを押します。

• ランダムパンニングで映像を監視する場合

[F2] キーを押します

B1



F1

F2

F4

ランダムパンニングON、OFF

オートパンニング ([F1] でON/OFF)
オートソート ([2] + [F1] でON/OFF)
オートシーケンス ([3] + [F1] でON/OFF)

液晶ディスプレイの表示について

- オートパンニング、オートソート、オートシーケンスのいずれかを実行している場合、Autoの左が反転表示されます。
□：オートパンニング、オートソート、オートシーケンスのいずれかがON
■：OFF
- ランダムパンニングを実行している場合、Randomの左が反転表示されます。
□：ON
■：OFF
- 1台のカメラに対し、オートパンニング、オートソート、オートシーケンス、ランダムパンニングのいずれか1つだけ実行できます。複数の機能を組み合わせて実行することはできません。

パトロールランによる映像の監視

WV-CS850シリーズ、WV-CW860シリーズ、WV-CS550のコンビネーションカメラでは、操作した内容を学習できます。学習した操作を再現する機能をパトロールランと呼びます。パトロールランは次の手順で操作できます。

コンビネーションカメラに操作内容を記憶させる

コンビネーションカメラに操作内容を学習させる方法には次の2つの方法があります。

- カメラ操作中に学習させる。
- カメラのセットアップメニューで学習させる。

ここでは、カメラ操作中に記憶させる方法について説明します。

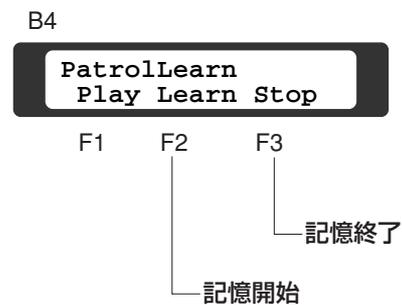
- ①操作するカメラを選択します。
パトロールランに対応しているカメラを選択してください。

- ②カーソルキーを操作して、B4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

- ③記憶を開始します。
記憶を開始するには、[F2] キーを押します。モニターに「Learn」と表示されます。

- ④カメラを操作します。
コンビネーションカメラに記憶させることができる操作は、次のとおりです。
- ・パン、チルト（ジョイスティックつまみによる操作）
 - ・アイリス（OPEN/CLOSE）
 - ・フォーカス（NEAR/FAR）
 - ・ズーム（TELE/WIDE）
 - ・プリセット番号による操作（Learn中にプリセット操作を行うと、B4画面がA4画面に切り換わります。）
 - ・ホームポジション
- 記憶させることができる操作の詳細は、使用するカメラの取扱説明書をお読みください。

- ⑤記憶を終了します。
[F3] キーを押します。



記憶した内容を再現する

①操作するカメラを選択します。

②カーソルキーを操作して、B4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

③学習した内容を再現します。
パトロールランで学習した内容を再現する場合、[F1] キーを押します。

④再現を終了するときは [F3] キーを押します。
パン、チルトなど、他の操作をして、終了することもできます。

B4

PatrolLearn
Play Learn Stop

F1

F2

F3

再現開始

再現終了

操作中にプリセット位置を設定する

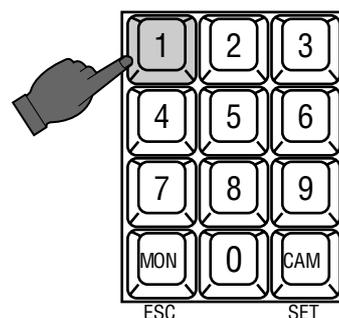
使用するコンビネーションカメラによっては、操作中にプリセット番号を設定できる機種があります。操作中にプリセット位置を登録する場合は、次の手順で操作してください。

- ①操作するカメラを選択します。
- ②登録したいプリセット位置にコンビネーションカメラを旋回し、ズームおよびアイリスなどを調節します。
- ③カーソルキーを操作して、B5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ④テンキーで登録するプリセット番号を入力し、[F1]キーを押します。テンキーで入力した番号でプリセットが登録されます。
すでにプリセットが登録されている番号を入力すると上書きされますので注意してください。
プリセット位置に登録できる操作は次のとおりです。
 - ・パン、チルト
 - ・アイリス (OPEN/CLOSE)
 - ・フォーカス (NEAR/FAR)
 - ・ズーム (TELE/WIDE)

登録できる操作の詳細は、使用するカメラの取扱説明書をお読みください。

B5

PrePOSI SetUp
Set



PrePOSI SetUp
Set

F1

カメラ電源とハウジングの操作

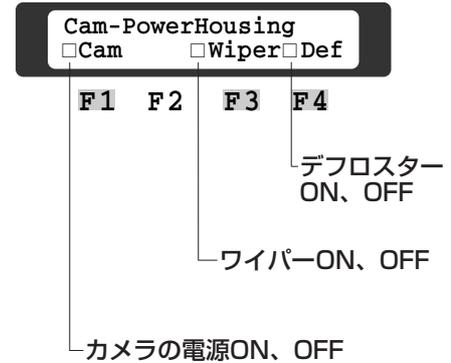
カメラの電源、カメラハウジングのワイパーやデフロスターを操作します（レシーバー（WV-RC100、WV-RC150）または、コンビネーションカメラ）。

- ①操作するカメラとモニターを選択します。
- ②カーソルキーを操作して、B2メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

③カメラの電源とハウジングの操作

- カメラの電源を操作するには、[F1] キーを押します。キーを押すたびにCamの左が反転します。
 : ON
 : OFF
- ワイパーを操作するには、[F3] キーを押します。キーを押すたびにWiperの左が反転します。
 : ON
 : OFF
- デフロスターを操作するには、[F4] キーを押します。キーを押すたびにDefの左が反転します。
 : ON
 : OFF

B2



重要

ワイパーブレードの磨耗を防ぐため、不要なときは必ずOFFにしてください。OFFにするまでワイパーは動き続けます。

カメラ機能の操作

電子シャッター、電子的感度アップ、電子ズーム、ホームポジションへの移動、逆光補正を操作します。操作は、モニタ上のカメラ映像を見ながら行います。

重要

これらは該当する機能を備えているカメラでだけ使用できます。接続しているカメラと周辺機器の機能を確認してください。

電子シャッターの使いかた

①希望するカメラとモニター番号を選択します。

②カーソルキーを操作してC1メニューを表示します。

③電子シャッターモードのOn/Offを選択します。

[F1] キーを押すたびに液晶ディスプレイに「On」または「Off」が表示されます。電子シャッターを使用する場合、「On」を表示します。

④シャッタースピードを選択します。

- Shutterを「On」にした後、[F3] または [F4] キーでシャッター速度を設定します。

- [F3] を押すたびにシャッター速度が遅く、[F4] を押すたびに速くなります。希望する速度を選択します。
[F3] :1/10 000秒→1/4 000
→1/2 000→1/1 000→
1/500→1/250→1/
100秒

- [F4] :1/100秒→1/250→1/
500→1/1 000→1/
2 000→1/4 000→
10 000秒

C1

Shutter Off
On

Shutter Off
On

F1 F2 F3 F4

Shutter On
Off

F1 F2 F3 F4

[F3] または [F4] キーを押し、シャッター速度を設定する。

[F1] キーを押し、ONにする。

メモ

選択できる速度の範囲は、カメラによって異なります。

速度は、カメラの状態表示（72ページ）で確認することができます。

電子感度アップのしかた

感度を電子的にアップできます。感度をアップする場合、システムが自動で感度を調節する「Auto」または、手動で設定する「Manual」を選択できます。電子感度アップを使用しない場合、「Off」にします。

- ①電子感度アップするカメラとその映像を表示するモニターを選択します。
- ②カーソルキーを操作してC2メニューを表示します。

C2

Sens Up Off
Auto Manual

F1 F2 F3 F4

●自動感度アップモードに設定する

[F1] キーを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が「Auto」または「Off」に切り換わります。感度アップを自動にする場合、「Auto」を表示します。

次に [F3] または [F4] キーを押して最大感度を設定します。

[F3] : 10倍→6倍→4倍→2倍

[F4] : 2倍→4倍→6倍→10倍

Sens Up Off
Auto Manual

F1 F2 F3 F4

Sens Up Auto
Off Manual ◀ ▶

F1 F2 F3 F4

[F1] キーを押してAutoにする。

メモ

選択できる倍率は、カメラによって異なります。倍率は、カメラの状態表示（72ページ）で確認することができます。

●マニュアル感度アップモードに設定する

[F2] キーを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が「Manual」または「Off」に切り換わります。手動で感度を調節する場合、「Manual」を表示します。

次に [F3] または [F4] キーを押して感度を設定します。

[F3] を押すたびに倍率が低く、[F4] を押すたびに高くなります。

[F3] : 32倍→16倍→10倍→6倍→4倍→2倍

[F4] : 2倍→4倍→6倍→10倍→16倍→32倍

Sens Up Off
Auto Manual

F1 F2 F3 F4

Sens Up Manual
Auto Off ◀ ▶

F1 F2 F3 F4

[F2] キーを押してManualにする。

メモ

選択できる倍率は、カメラによって異なります。倍率は、カメラの状態表示（72ページ）で確認することができます。

電子ズームの操作

カメラ映像の中で希望する位置をズームアップ（拡大）します。
2通りの操作方法があります。

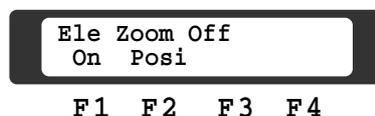
重要

この機能は、WV-CL700とWV-BL600でのみ有効な機能です。

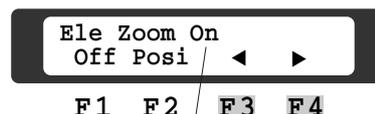
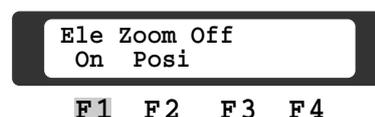
(1) ズームアップ後にズーム位置を選択するとき

- ①電子ズームを行うカメラとその映像を表示するモニターを選択します。
希望するカメラとモニター番号を選択します。
- ②カーソルキーを操作して、C3メニューを液晶ディスプレイに表示します。

C3



- ③電子ズームを「On」にします。
[F1] キーを押すたびに液晶ディスプレイの表示が「On」または「Off」に切り換わります。
電子ズームを使用する場合、「On」を表示します。「On」にすると、以前に選択した位置がズームアップされて、モニターに表示されます。



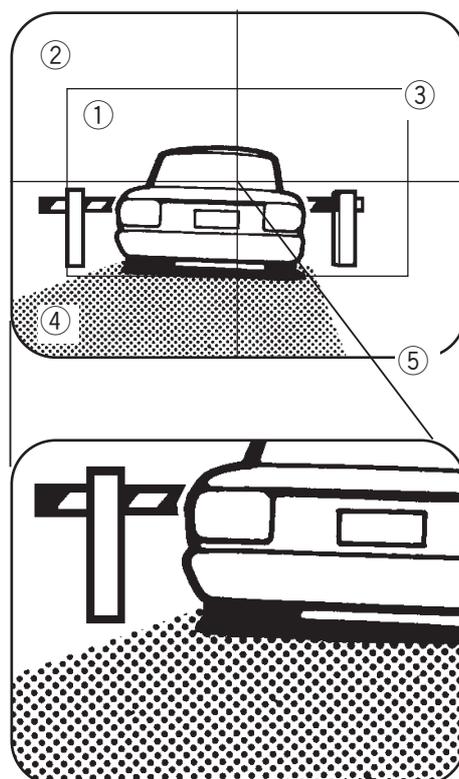
[F1] キーを押してONにする。

- ④ズーム位置を選択します。
ズームする位置を [F3] または [F4] キーで選択します。中央、左上、右上、左下、右下の順に拡大された映像がモニターに表示されます（右図参照）。

[F3] : ⑤→④→③→②→①

[F4] : ①→②→③→④→⑤

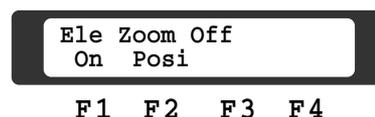
- ⑤モニターに選択した位置に対応する映像がズームアップされて表示されます。
- ⑥電子ズームの終了
ズーム中に [F1] キーを押し「Off」にすると、電子ズームは解除されます。C3メニューに戻ります。



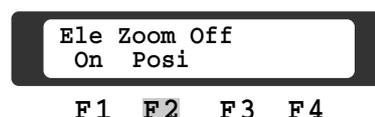
(2) ズームアップ前に位置を選択するとき

- ①カメラとモニターを選択します。
希望するカメラとモニター番号を選択します。
- ②カーソルキーを操作して、C3メニューを液晶ディスプレイに表示します。

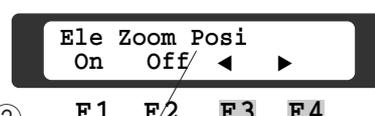
C3



- ③位置選択モード [F2] キーを押して「Posi」を上段に表示させます。再度押すと「Off」になります。



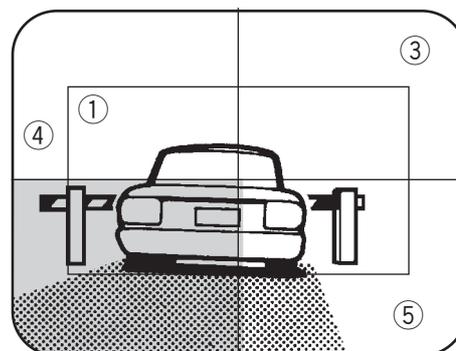
- ④ズーム位置を選択します。
ズームする位置を [F3] または [F4] キーで選択します。ズーム選択位置がモニターにグレー表示されます。



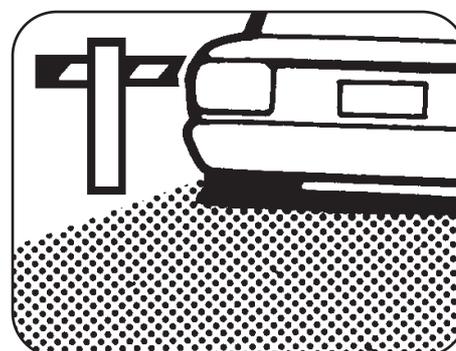
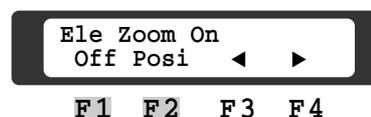
[F3] : ⑤→④→③→②→①

[F4] : ①→②→③→④→⑤

- ⑤ [F1] キーを押します。押すたびに液晶ディスプレイの表示が「On」または「Off」に切り換わります。電子ズームを行う場合、「On」を表示させます。
 - 「On」にすると、モニターに指定された場所がズームアップされて表示されます。
 - [F2] キーを押すと電子ズームを行わないでC3メニューに戻ります。



- ⑥電子ズームの終了
ズーム中に [F1] キーを押し「Off」にすると、電子ズームは解除されます。C3メニューに戻ります。

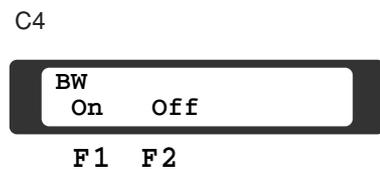


カラー映像の白黒切り換え

使用するコンビネーションカメラによっては、カラー映像を白黒映像に切り換えることができる機種があります。操作中にカラー映像を白黒映像に切り換える場合は、次の手順で操作してください。

①操作するカメラを選択します。

②カーソルキーを操作して、C4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。



③カラー映像を白黒映像にします。
[F1] キーを押すとカラー映像が白黒映像になります。白黒映像をカラー映像に戻すときは [F2] キーを押します。

ショートカットによるカメラ機能の操作

使用するコンビネーションカメラによっては、ショートカットでカメラ機能を実行できる機種があります。ショートカットでカメラ機能を実行する場合は、次の手順で操作してください。

- ①操作するカメラを選択します。
- ②カーソルキーを操作して、C5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

C5

CameraFunction
CamFUNC

F1

- ③テンキーで登録する実行したい機能のショートカット番号を入力し、[F1] キーを押します。ショートカットで実行できるカメラ機能の一例を示します。詳しくは、お使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。
 - スーパーダイナミック II ON (84) / OFF (85)
 - 電子シャッターON (171) / OFF (172)、電子シャッター速度の調節 増加 (173) / 減少 (174)
 - AGC (Auto Gain Control) ON (175) / OFF (176)
 - 電子感度アップON (177) / OFF (178)、電子感度の調節 増加 (179) / 減少 (180)
 - カメラリスタート (100)

システムコントローラーからホームポジションに戻す

プリセット式コンビネーションカメラで基準となるカメラ位置（ホームポジション）に戻りたいとき操作します。

次のいずれかの方法でホームポジションに戻すことができます。

- モニターに表示しているプリセット式コンビネーションカメラだけをホームポジションに戻す
- 本体に接続されているすべてのプリセット式コンビネーションカメラを一括してホームポジションに戻す（48ページ）

プリセット式コンビネーションカメラにホームポジションが設定されていない場合、動作しません。設定方法は、「第2編 7. カメラ機能の設定」をお読みください。

●モニターに表示しているプリセット式コンビネーションカメラだけをホームポジションに戻す

メモ

Home Position All Keyが「Off」のときに操作することができます。（125ページ）

- ①モニターに表示しているプリセット式コンビネーションカメラだけをホームポジションに戻す場合は、希望するカメラとモニター番号を選択します。
- ②カーソルキーを操作して、D1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

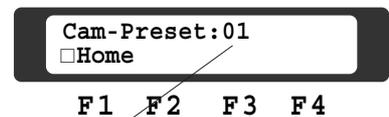
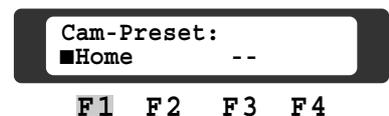
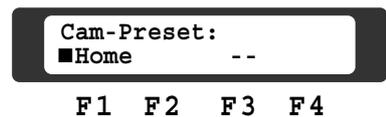
- ③ホームポジションに戻すには、[F1]キーを押して、「Home」の左を□にします。

このとき、液晶ディスプレイにホームポジションに対応するプリセット番号が表示され、カメラがプリセット位置に旋回します。

□：ホームポジションにいることを示す。

■：ホームポジションにいないことを示す。

D1



ホームポジションに設定されているプリセット番号。

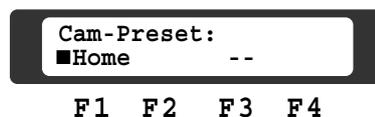
●本体に接続されているすべてのプリセット式コンビネーションカメラを一括してホームポジションに戻す

メモ

Home Position All KeyがOnのときに操作することができます。(125ページ)

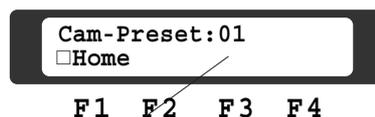
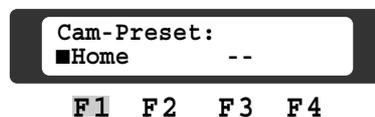
- ①カーソルキーを操作して、D1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ②ホームポジションに戻すには、[F1]キーを押して、「Home」の左を□にします。
□：ホームポジションにいることを示す。
■：ホームポジションにいないことを示す。

D1



メモ

Home Position All KeyがOnのときに、あるカメラだけをホームポジションに戻すには、カメラ側のプリセット設定で、あらかじめ覚えやすいプリセット番号にホームポジションを設定し、通常のプリセット番号を呼び出す操作を行うとカメラの位置をホームポジションに戻すことができます。



ホームポジションに設定されているプリセット番号。

重要

次の場合は、カメラを一括してホームポジションに戻すことができません。

- モニタービジー、カメラビジーの場合（この場合、カメラを個別にホームポジションに戻すこともできません）
- 他のオペレーターがカメラを選択している場合
- 操作しているモニター以外でアラームが発生している場合

自動でホームポジションに戻す（セルフリターン）

セットアップメニューのセルフリターン（125ページ）がOff以外に設定されている場合、カメラ操作を止めてから設定した時間が経過すると、自動的にカメラがホームポジションに戻ります。

セルフリターンを使用する場合は、必ずカメラ側のセルフリターンの設定をOffにしてください。

重要

次の場合は、カメラを自動でホームポジションに戻すことができません。

- アラーム入力信号中断中のモニター1に表示されているカメラの場合（ただし、アラーム抑止を解除するとホームポジションへ戻ります）
- モニターにアラーム表示をしているカメラの場合（アラームリセットや新しいアラームが入ったことによって、モニターへのアラーム表示を終了したカメラは、その時点でホームポジションへ戻ります）

逆光補正（BLC）モードの選択

被写体の背景に極端に明るい光源があるとき、逆光補正を行うと被写体が見やすくなります。逆光補正モードには、次の2つの方法があります。

- システムが自動的に補正を行う自動モード「Auto」。
 - あらかじめプリセット位置ごとに設定する補正方法（プリセットモード）「Preset」。
- 設定方法は、「第2編 7. カメラ機能の設定」をお読みください。

①カメラとモニターを選択します。

逆光補正を行うカメラとモニター番号を選択します。

②カーソルキーを操作して、D2メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

D2



BLC Off
Auto Preset

F1 F2 F3 F4

③逆光補正モードを選択します。

- 自動モードにする場合、[F1] キーを押して、液晶ディスプレイの表示を「Auto」にします。[F1] キーを押すたびに「Auto」と「Off」が交互に切り換わります。

●自動モードにする場合



BLC Off
Auto Preset

F1 F2 F3 F4



BLC Auto
Off Preset

F1 F2 F3 F4

[F1] キーを押して、Autoにする。

- プリセット位置に設定されている逆光補正方法を使用する場合、[F2] キーを押して、液晶ディスプレイの表示を「Preset」にします。[F2] キーを押すたびに「Preset」または「Off」に切り換わります。

●プリセットモードにする場合



BLC Off
Auto Preset

F1 F2 F3 F4



BLC Preset
Auto Off

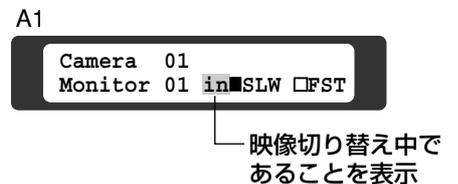
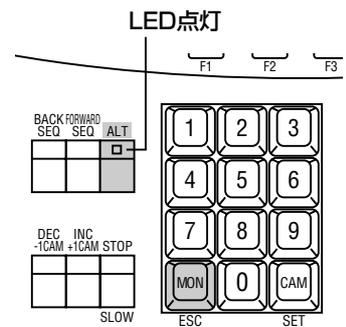
F1 F2 F3 F4

[F2] キーを押して、Presetにする。

ビデオ出力ボードに入力した映像の表示（拡張映像入力）

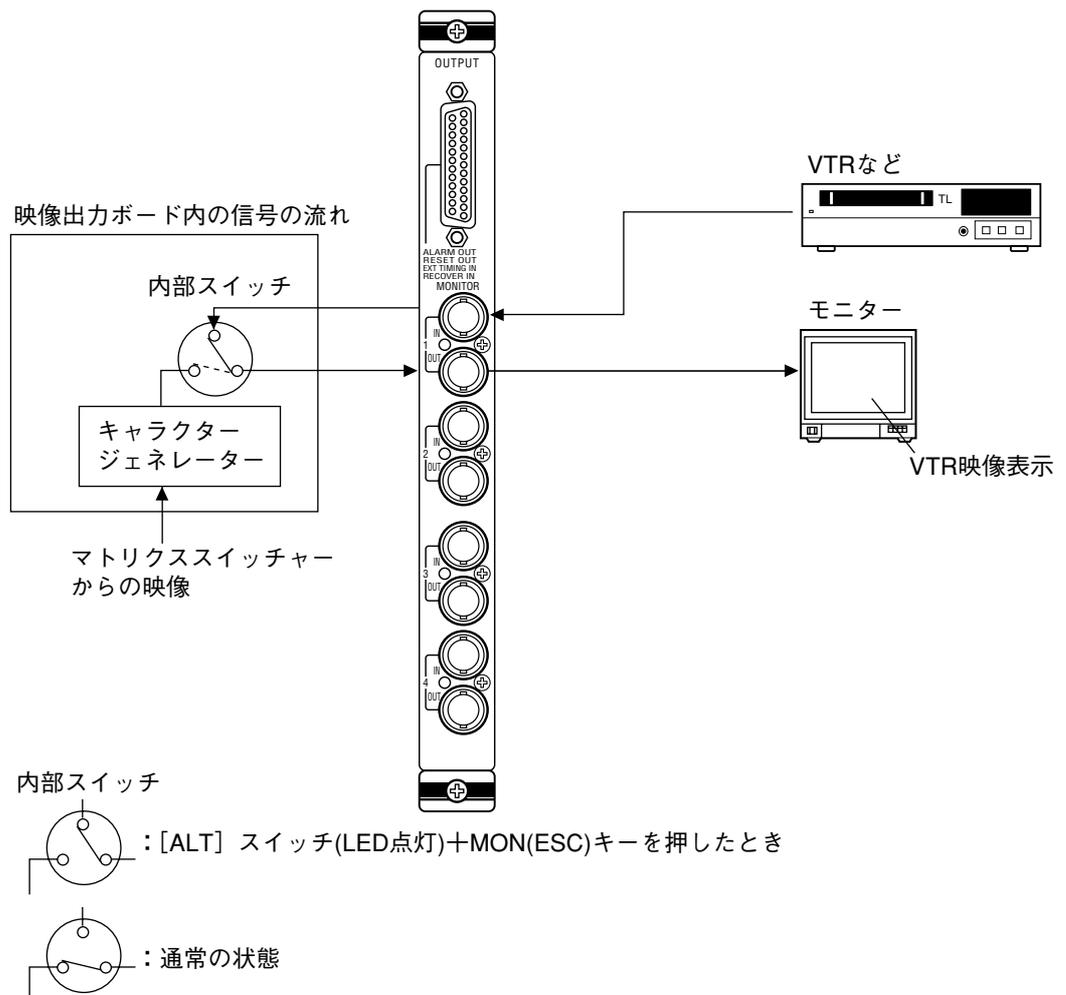
下図のようにシステムを構成したとき、ビデオ出力ボードの映像入力コネクタに入力した映像をモニターに表示できます。この場合モニターには、マトリクススイッチャーが表示しているカメラタイトルや日付、時刻などは表示されません。

- ①モニターを選択します。
映像を入力したコネクタと同系統の映像出力に接続されているモニターを選択します。
- ② [ALT] スイッチを押します（LED点灯）。
- ③ MON (ESC) キーを押します。モニターの映像が映像出力ボードの入力コネクタに入力されている映像に切り換わりA1メニューに「in」が表示されます。
- ④再度 [ALT] スイッチを押し、MON (ESC) キーを押すと、通常の状態に戻ります。



メモ

A1メニューを表示中は、MON (ESC) キーの代わりに、[F1] キーが使用できます。



コンビネーションカメラのクリーニング

コンビネーションカメラを使用している場合、長期間使用しているとモニターにノイズが入ることがあります。このようなときは、コンビネーションカメラをクリーニングする必要があります。

コンビネーションカメラのクリーニングは、セットアップメニューのオートクリーニングメニューに設定した曜日・時間で自動的に行うことができます。必要に応じて手動でクリーニングすることもできます。

オートクリーニングメニューの使いかたは「第2編 設定」の「オートクリーニングメニュー」をお読みください。

重要

- コンビネーションカメラのクリーニング中は映像を監視することはできません。クリーニングを実行するときは、営業終了後など映像の監視を中断しても良い時間帯を選んで設定してください。
- クリーニングに要する時間は、カメラ1台あたり約30秒です。
- クリーニングを中断する場合は、MON (ESC) キーを押してください。
- クリーニングを実行してもノイズが解消されない場合は、機器の故障が考えられます。使用を中止し、販売店にご連絡ください。

Chapter 6

ツアーシーケンスの使いかた

ここではツアーシーケンスの使いかたについて説明しています。ツアーシーケンスは、事前にカメラや外部機器の動作をシステムに登録して、その内容を順に実行してモニターにカメラ映像を表示します。シーケンス実行中にスポット監視に切り換えたり、またその逆もできます。

ツアーシーケンスの概要

ツアーシーケンスは複数のステップで構成されています。

ツアーシーケンスを行うには、あらかじめシステムに動作内容を登録する必要があります。登録方法は、「第2編 2. ツアーシーケンスの設定」をお読みください。

オートスキップ機能

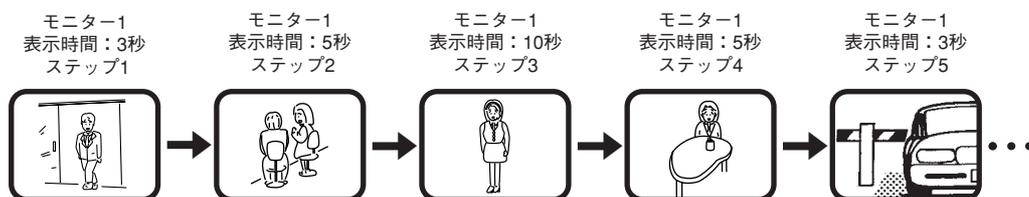
そのステップで映像がないとき自動的に次のステップに移るように設定することができます。

表示時間

ステップごとに表示時間を変えて表示することができます。

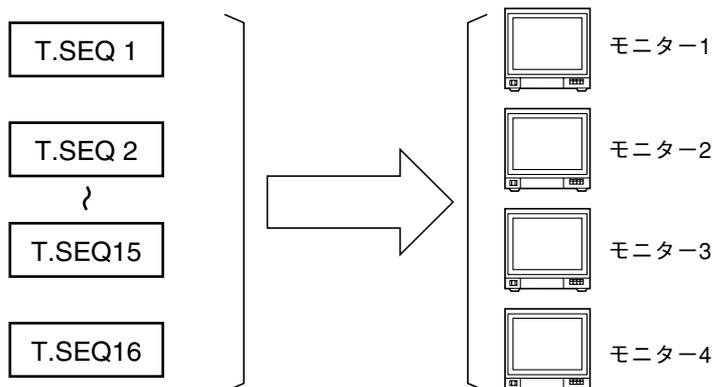
時間は1秒単位で最小0秒から最大30秒まで設定できます。

設定した時間は、タイムラプスVTRを起動するための外部制御タイミング信号をONに設定したとき無視されます。



64台のカメラ映像を希望する順番（64台のカメラをツアーするのにたとえ）で望むモニターに表示します。1シーケンスは64ステップで構成され、16シーケンスまで設定できます。

シーケンスごとにオートスキップ機能を使用できます。ステップごとにプリセット位置呼び出し、表示時間、レシーバーなどの外部機器制御を設定できます。



16ツアーを任意のモニターに表示します

ツアーシーケンスの使いかた

ツアーシーケンスは合計16種類登録できます。16種類のツアーシーケンスを任意の4台のモニターに割り当てることができます。

ツアーシーケンスの開始

① モニターの選択

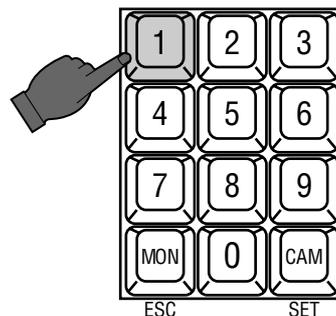
制御するモニターを選択します。

A1

Camera 01
Monitor 04 ■SLW □FST

② ツアーシーケンス番号の選択

テンキーで、希望するツアーシーケンス番号（1～16）を入力します。

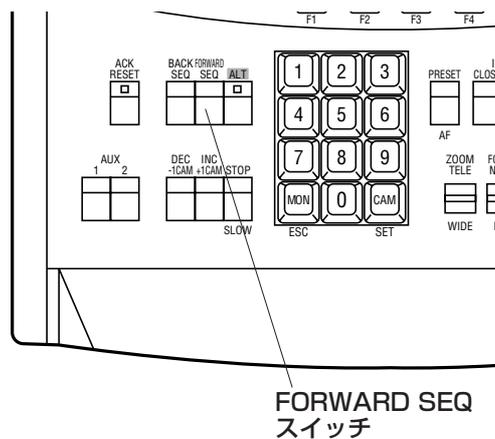


液晶ディスプレイの上段（右端）に1が表示されます。

Camera 01 1
Monitor 04 ■SLW □FST

③ ツアーシーケンスの実行

[FORWARD SEQ] スイッチを押すと、シーケンスが実行されます。液晶ディスプレイには図のように表示されます。



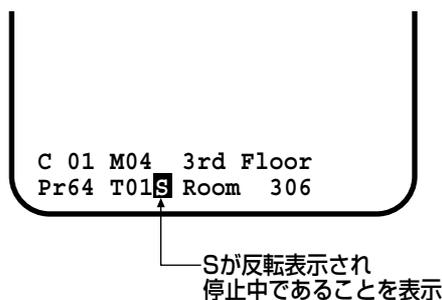
T-Seq 01
Monitor 04

モニター4にツアーシーケンス1映像を表示していることを表している。

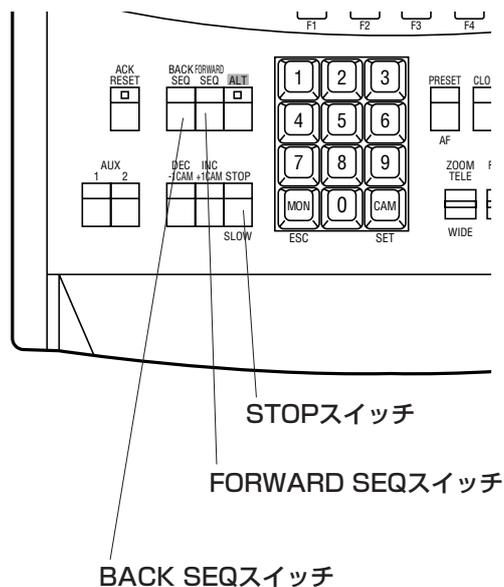
ツアーシーケンスを停止する

- 実行中のシーケンスを停止するには、
[STOP] スイッチを押します。
- モニターにはツアーシーケンス番号の
後にS（反転表示）が付加されます。

モニターの表示



- 液晶ディスプレイには図のように表示
されます。



A1

T-Seq 01 Stop
Monitor 04

次のステップから順方向に実行する

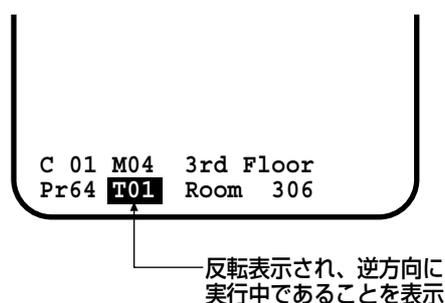
- 停止したあと、[FORWARD SEQ] ス
イッチを押すと、停止した次のステッ
プから再開します。
- 液晶ディスプレイには図のように表示
されます。

T-Seq 01
Monitor 04

前のステップから逆方向に実行する

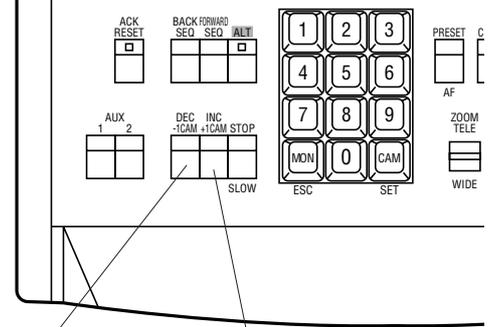
- 停止したあと、[BACK SEQ] スイッ
チを押すと、停止した前のステップか
ら逆方向に再開します。
- 液晶ディスプレイの表示は、[FOR-
WARD SEQ] スイッチを押したとき
と同じです。
- モニターには、ツアーシーケンス番号
が反転して表示されます。

モニターの表示



次のステップだけ実行する

- 停止したあと、[INC+1CAM] スイッチを押すと、次の1ステップだけ実行して停止します。



[DEC-1CAM]
スイッチ

[INC+1CAM]
スイッチ

- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。

A1

T-Seq 01 Stop
Monitor 04

前のステップだけ実行する

停止したあと、[DEC -1CAM] スイッチを押すと、前の1ステップだけ実行して停止します。液晶ディスプレイの表示は [INC+1CAM] スイッチを押したときと同じです。

最初のステップから順方向に実行する

停止したあと、[ALT] スイッチを押し (LED点灯)、[FORWARD SEQ] スイッチを押すと、最初のステップから再開します。

スポットに戻る

テンキーでカメラ番号を入力しCAM (SET) キーを押すと、スポットに戻ります。

Chapter 7

アラーム入力時の操作

システムには、センサーボード経由によるアラーム信号とカメラ側からのアラーム信号（同軸多重）を入力ができます。システムの設定（アラームモード）によって、モニター1～4にアラーム信号に対応した映像を表示できます。また、アラームタイトルを表示したり、アラーム信号の（アラーム映像）入力先を変更できます。アラームに関する設定方法については「第2編 4.アラーム入力時の動作設定」をお読みください。

アラーム入力先の変更

セットアップメニューで設定したアラーム信号入力先をシステムコントローラーの操作メニューで変更できます。変更した内容は、自動的にセットアップメニューに反映され、電源スイッチを切っても、そのまま保存されます。

メモ

- オプションのセンサーボード (WV-PB7700) のセンサーシステム経由でシステムにアラームを入力すると、モニターにアラームタイトルを表示できます。
- アラームタイトルは、あらかじめセットアップメニューで設定しておく必要があります。詳しくは「第2編 4. アラーム入力時の動作設定」をお読みください。

①カーソルキーを操作してA5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

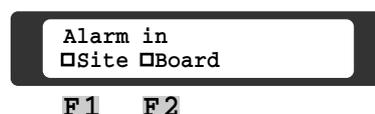
②カメラサイトからのアラーム信号の入力を変更するときは [F1] キーを押します。センサーシステムからのアラーム信号の入力を変更するときは [F2] キーを押します。

キーを押すたびにON、OFFが切り換わります。

: ON

: OFF

A5



F1 F2

アラーム入力時のモニターの映像

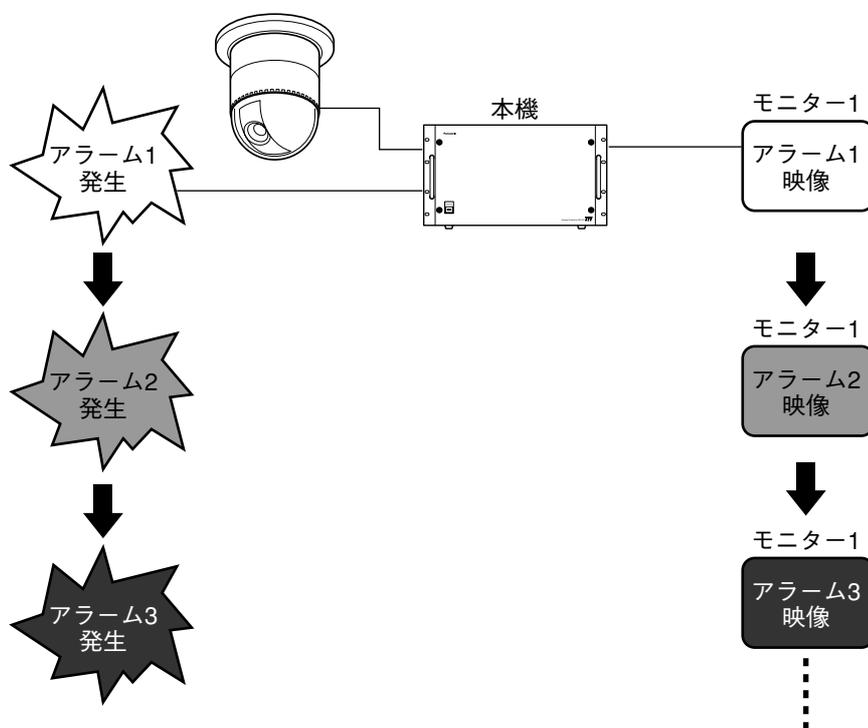
アラーム入力時のモニターの映像は、設定されているアラームモードによって異なります。

アラームモードAで運用しているとき

アラームモードAで運用しているときにアラーム信号がシステムに入力されると、モニター1にアラーム映像が表示されます。複数のアラーム信号がシステムに入力された場合、システムに入力された順番にモニター1に表示されます。手動でアラーム入力を中断することができます。

メモ

- モニター2～4は、ツアーシーケンスまたはスポットによる映像監視用に使用できます。
- アラームが発生するたびに、前のアラームは自動的にリセットされます。

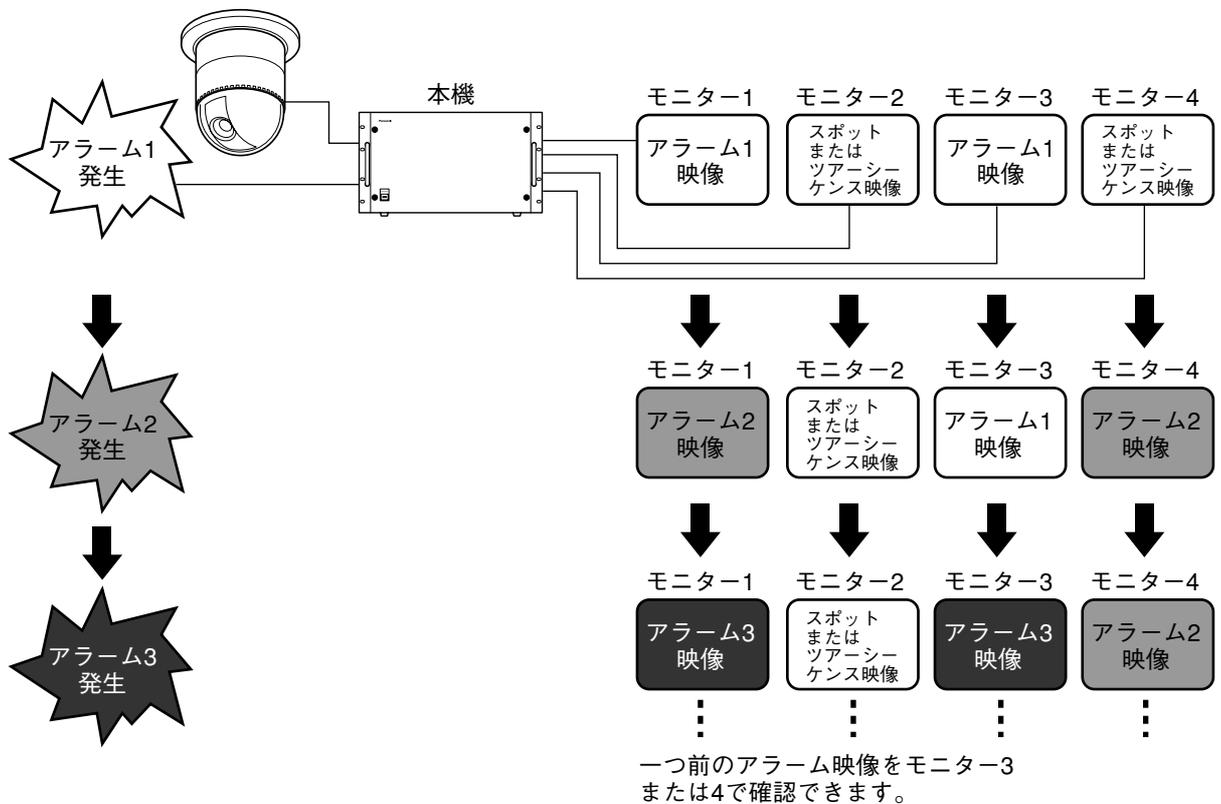


アラームモードBで運用しているとき

アラームモードBで運用しているときにアラーム信号がシステムに入力されると、モニター1と3またはモニター1と4にアラーム映像が交互に表示されます。モニター1に表示されるアラーム入力を手動で中断することができます。

メモ

モニター2は、スポットまたはツアーシーケンスによる映像監視用に使用できます。

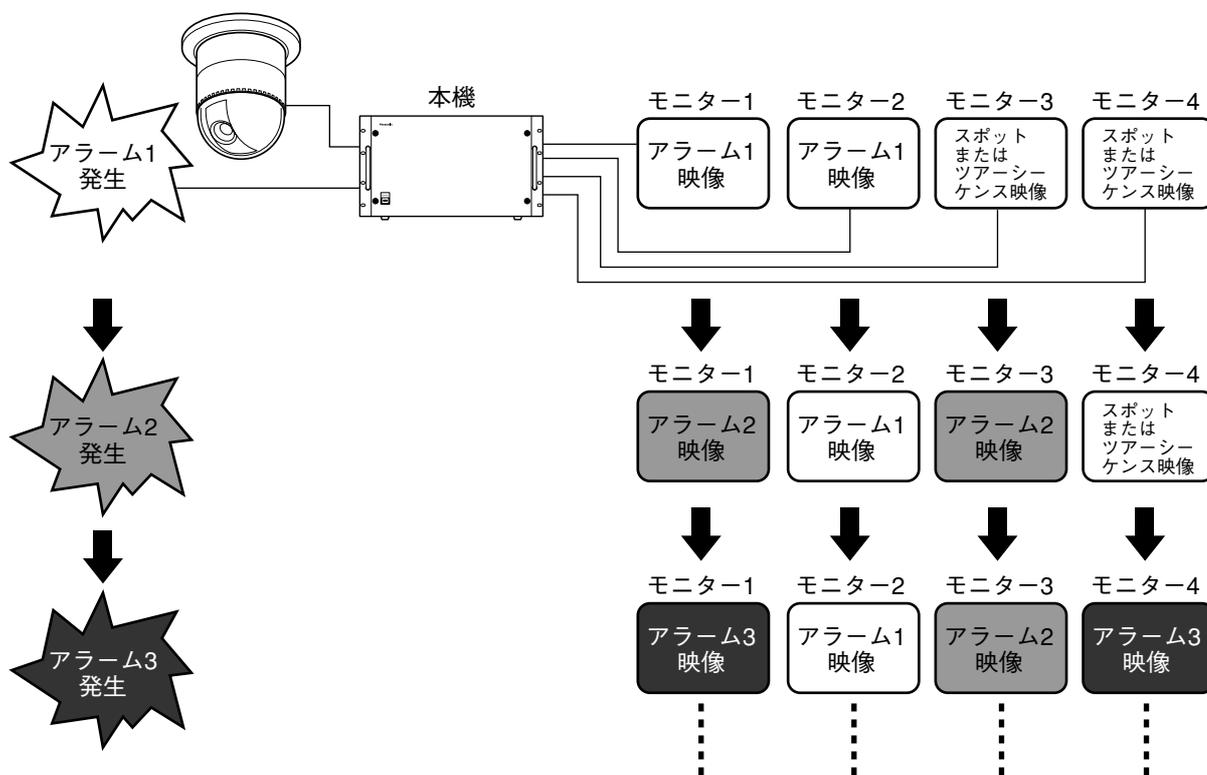


アラームモードCで運用しているとき

アラームモードCで運用しているときにアラーム信号がシステムに入力されると、モニター1と2またはモニター1と3、モニター1と4にアラーム映像が表示されます。モニター1に表示される映像を手動で中断することができます。

メモ

全モニターが、アラーム映像監視用に切り換わります。アラーム入力中にスポットまたはツアーシーケンスによる映像監視に戻すには、アラーム信号を解除する必要があります。



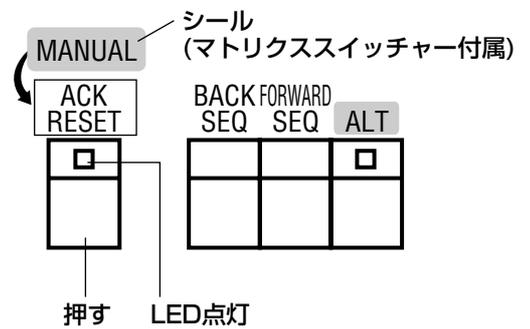
アラーム入力の中断

システムによっては、アラーム信号が同時に多数発生し、アラーム映像を十分に確認する前に次のアラーム映像に切り換わってしまうことがあります。このような場合、アラーム信号入力を一時的に中断し、目的の映像をモニター1に表示しておくことができます。

メモ

- モニター2から4（アラームモードBまたはC）に表示されているアラーム映像を中断することはできません。
- アラームモードAで運用しているときに、アラーム信号入力を中断すると中断中に発生したアラームは無視され映像を確認することはできません。
- アラーム信号入力を中断してもアラーム履歴にアラーム発生情報は保存されます。
- マトリクススイッチャー付属のシール（[手動優先] または [MANUAL]）を下図の位置に貼ってお使いください。

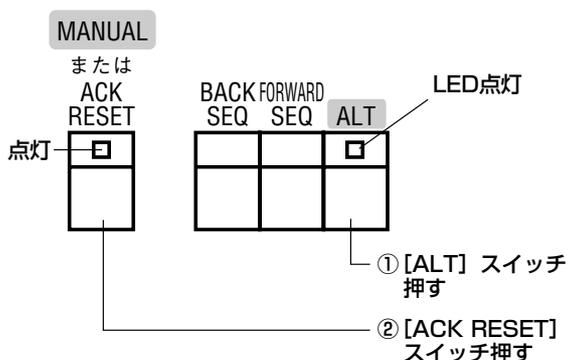
- ①アラーム映像表示中に [ACK RESET] スイッチを押します。（LED点灯）。モニター1には、再度 [ACK RESET] スイッチを押すまで、スイッチを押した時点のアラーム映像を表示し続けます。
- ②アラーム信号入力を再開するときは、再度 [ACK RESET] スイッチを押します（LED消灯）。



アラームの解除

アラーム信号が入力された後、あらかじめ設定されている時間が経過すると自動的に解除（Auto Reset）されます。しかし、アラームが多数発生するといつまでもアラームが解除されない状態が続くことがあります。このような場合、次の手順でアラームを手動で解除できます。

- ① [ALT] スイッチを押します（LED点灯）。
- ② [ACK RESET] スイッチ（シールはり付け時は [MANUAL]）を押します。アラームが解除され、アラーム信号入力前の動作に戻ります。



重要

アラーム信号が入力されたあと、アラーム入力の中断によって [ACK RESET]（シールはり付け時は [手動優先] または [MANUAL]）が点灯している状態から、再度 [ACK RESET] スイッチを押してアラーム信号入力を再開した場合にも、以前のアラームは解除されます。

Chapter 8

外部機器の操作

システムコントローラーで、照明の入り／切りやブザーなどの外部機器を操作できます。操作する外部機器はレシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）を経由して接続されている必要があります。

システムの構成を確認してから操作してください。外部機器の操作はシステムコントローラーの [AUX1] または [AUX2] スイッチで行います。

外部機器の操作

操作する外部機器は、レシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）またはAUX機能を持ったプリセット式コンビネーションカメラを経由して接続されている必要があります。システムの構成を確認してから操作してください。

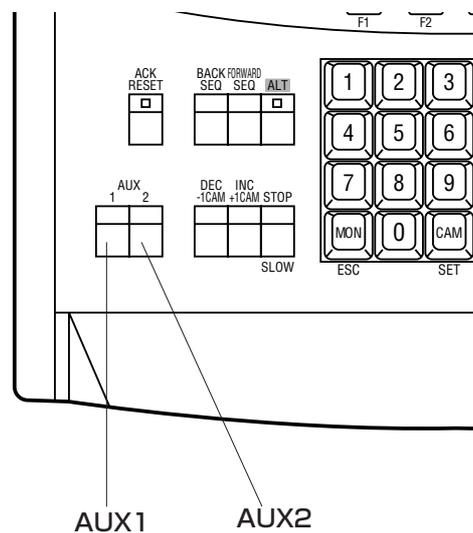
外部機器の操作は、システムコントローラーの[AUX1]または[AUX2]スイッチで行います。

①カメラとモニターを選択

希望するカメラとモニター番号を選択します。

②外部機器の操作

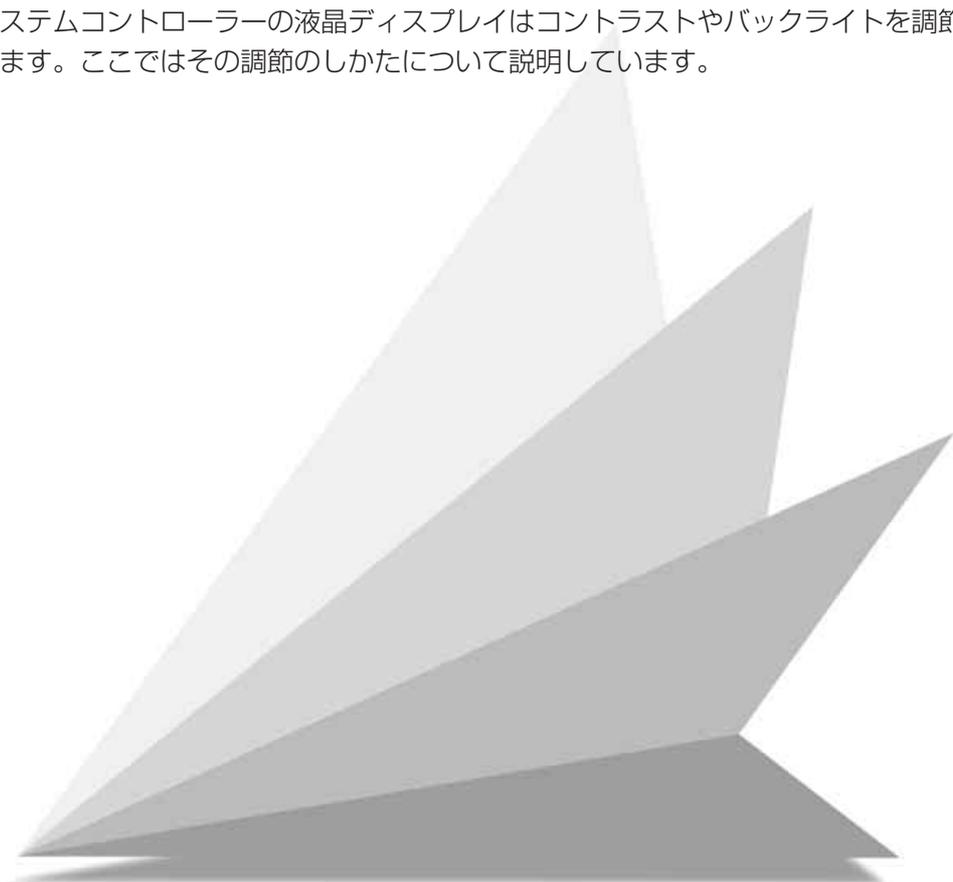
システムコントローラーの[AUX1]または[AUX2]スイッチを押して外部機器を操作します。スイッチを押すたびに動作ONまたはOFFに切り換わります。



Chapter 9

液晶ディスプレイの明るさの調節

システムコントローラーの液晶ディスプレイはコントラストやバックライトを調節できます。ここではその調節のしかたについて説明しています。

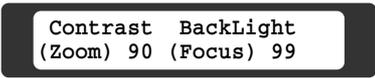


液晶ディスプレイの調節

システムコントローラーの液晶ディスプレイのコントラストやバックライトを調節します。

●コントラスト、バックライト調節用メニューの表示

[▲] キーを押しながら [◀] と [▶] キー3つを押すと、液晶ディスプレイに表示状態を調節するための操作メニューが表示されます。



Contrast BackLight
(Zoom) 90 (Focus) 99

●コントラストの調節

- [▲]、[◀]、[▶] キー3つを押しながら、[ZOOM] スイッチをTELEまたはWIDEにします。
- コントラストが変化します。見やすい位置に設定してください。



Contrast BackLight
(Zoom) 90 (Focus) 99

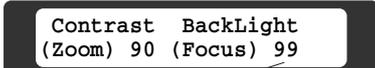
ズームスイッチを操作すると値が変化する

TELE：押し続けると、00から99方向にコントラストを増やします。

WIDE：押し続けると、99から00方向にコントラストを減らします。

●バックライトの調節

- [▲]、[◀]、[▶] キー3つを押しながら、[FOCUS] スイッチをNEARまたはFARにします。
- バックライトの明るさが変化します。見やすい位置に設定してください。



Contrast BackLight
(Zoom) 90 (Focus) 99

フォーカススイッチを操作すると値が変化する

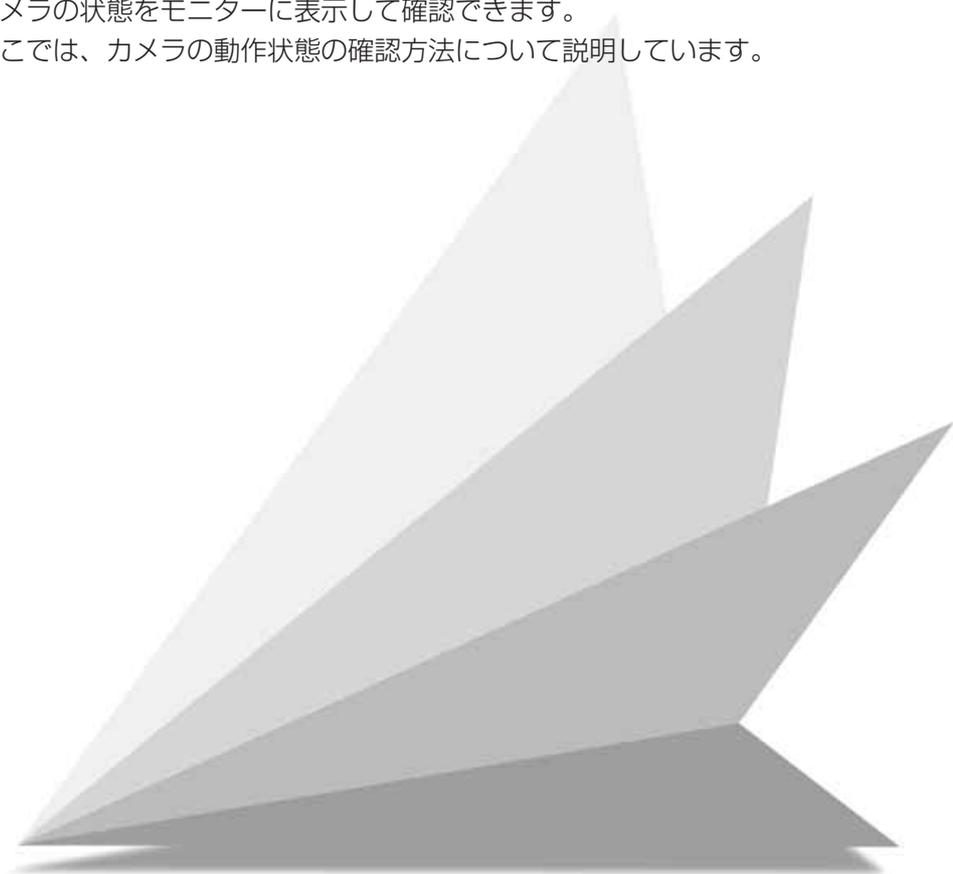
NEAR：押し続けると、00から99方向にバックライトを明るくします。

FAR：押し続けると、99から00方向にバックライトを暗くします。

Chapter 10

カメラの状態表示

カメラの状態をモニターに表示して確認できます。
ここでは、カメラの動作状態の確認方法について説明しています。



カメラの状態表示

①状態を確認したいカメラと状態を表示するモニターの番号を選択します。

A1

```
Camera 01
Monitor 04 ■SLW □FST
```

②カーソルキーを操作して、B1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

B1

```
Pan Action
■Auto■Random Status
```

F1 F2 F3 F4

③ [F4] キーを押すと、モニターにカメラの状態が表示されます。
再度押すと、元に戻ります。
画面に表示される記号の意味は次のとおりです。

On : 使用中
Off : 停止中、機能なし
Uncontrol : 機能なし
--- : 使用不可

```
Site Status
Ele Zoom:Uncontrol
Shutter :Off
Sens Up :Off
Random :Off
Auto Pan:Off
Camera :On
Wiper :---
Def :---
AUX1 :---
AUX2 :---
C01 M04
```

メモ

カメラの状態が表示されているときにカメラの操作を行わないでください。

Chapter 11

システム終了

システム終了



システムの終了

電源の切りかた

①システムコントローラーの電源を切る

システムコントローラー背面のコントローラー電源スイッチをOFFにします。
長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

②マトリクススイッチャーの電源を切る

マトリクススイッチャー背面の電源スイッチをOFFにします。

第2編 設定

各種機能を利用するためには、運用を開始する前に次に示す内容をシステムに登録（セットアップ）する必要があります。ここでは、各内容の設定方法を説明します。

1 セットアップを始める前に

セットアップメニューの構成や設定操作の流れなどを説明しています。

2 ツアーシーケンスの設定

ツアーシーケンスの動作をプログラムし、登録します。

3 スケジュールの設定

1日の監視スケジュールを事前に登録することによって、オペレーターの操作を容易にすることができます。

4 アラーム入力時の動作の設定

5 カメラタイトルの設定

各カメラごとにカメラタイトルを設定します。

6 システムの基本設定

システムが動作するために必要な基本的な事項を設定します。

7 カメラ機能の設定

カメラ側のセットアップメニューをシステムコントローラーで操作、設定します。

8 アラーム入力履歴の表示・印刷

アラームの入力履歴をモニターに表示し、確認できます。また、モニターに表示した内容をプリンターに印刷したり、消去したりできます。

9 プリセットデータの退避・回復

カメラ側に設定されているデータをシステムに退避したり、回復したりできます。これはデータ退避機能付きカメラだけ対象となります。

10 コンビネーションカメラのクリーニング

コンビネーションカメラを長時間使用しているとモニターにノイズが入る場合があります。このような場合はコンビネーションカメラをクリーニングする必要があります。クリーニングは設定した曜日・時間に自動で行うことができます。また必要に応じて手動で行うこともできます。

Chapter 1

セットアップを始める前に

セットアップメニューを使って各種設定を行うことで、運用方法にあったシステムにすることができます。

- ツアーシーケンス、タイマー、アラーム、カメラタイトル、システムの各項目の設定を行います。設定した内容はマトリクススイッチャーに記憶され、変更しない限り変わりません。
- 設定操作はセットアップ画面が表示されるモニターを見ながら、システムコントローラーで行います。
- カメラ側のセットアップメニューをシステムコントローラーで操作、設定することもできます。

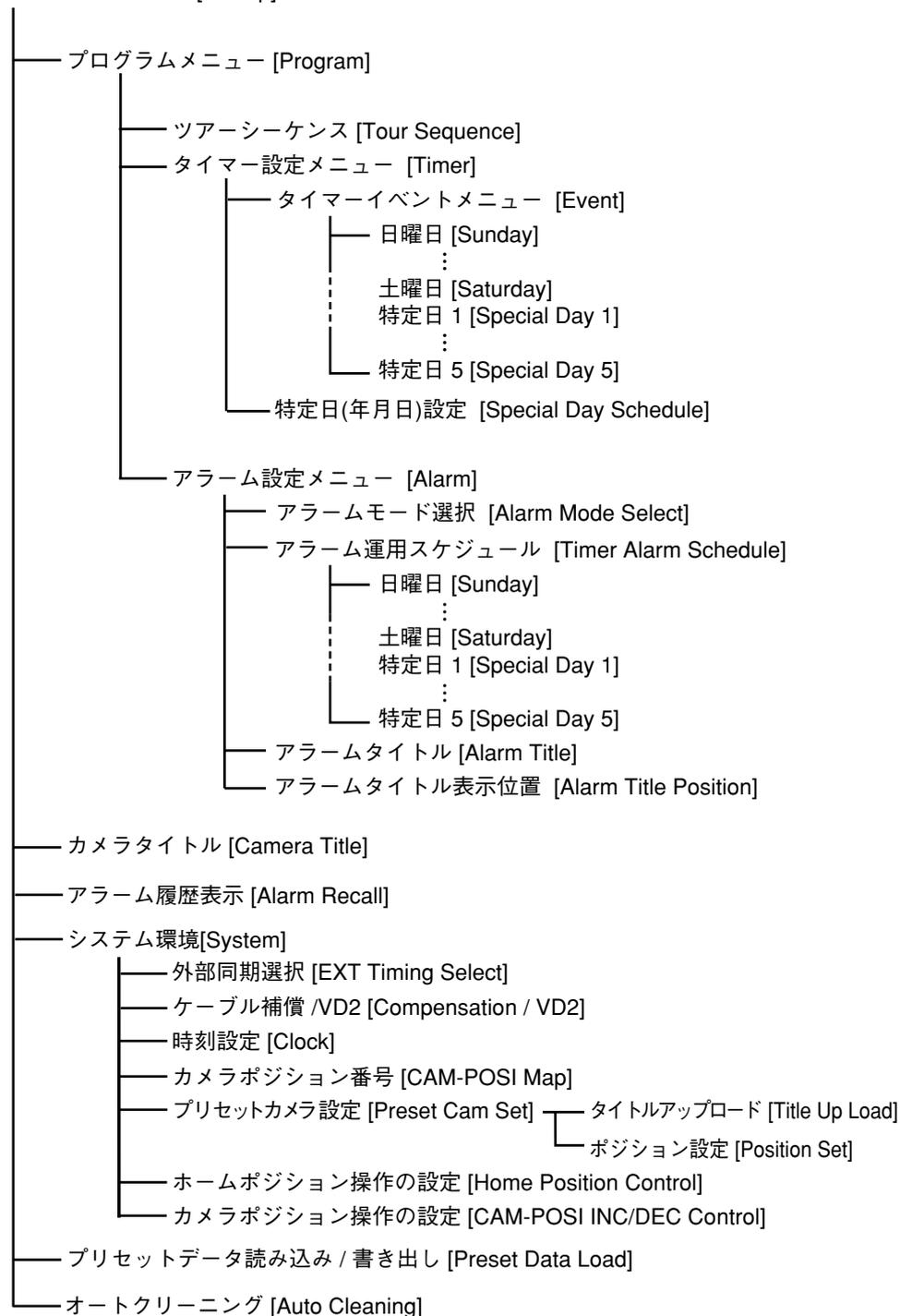
ここではセットアップメニューの構成や操作の流れなどセットアップの概要について説明しています。

セットアップメニューの構成

セットアップメニューは図のように6つの大項目と、その下位の中項目、さらに下位の小項目から構成されています。

セットアップ
メニュー体系

セットアップメニュー [Set Up]



画面の構成

ツアーシーケンス設定画面を例に画面の構成を説明します。

現在の日付 (年-月-日) を表示
現在の時刻 (時:分:秒) を表示

インデックス
現在いる階層を示す。

設定領域
動作を設定する。

システムコントローラーのファンクション
キーとの対応を表示

ガイダンス
設定領域に表示される記号の概要
を表示している。

Auto Skip		On															
Step	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	
CAM	10	15	09	00	04	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PRE	20	64	11	09													
DWELL	03	00	01	02	05	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
AUX1			□														
AUX2				■													

Step	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
CAM	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
PRE																
DWELL	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
AUX1																
AUX2																

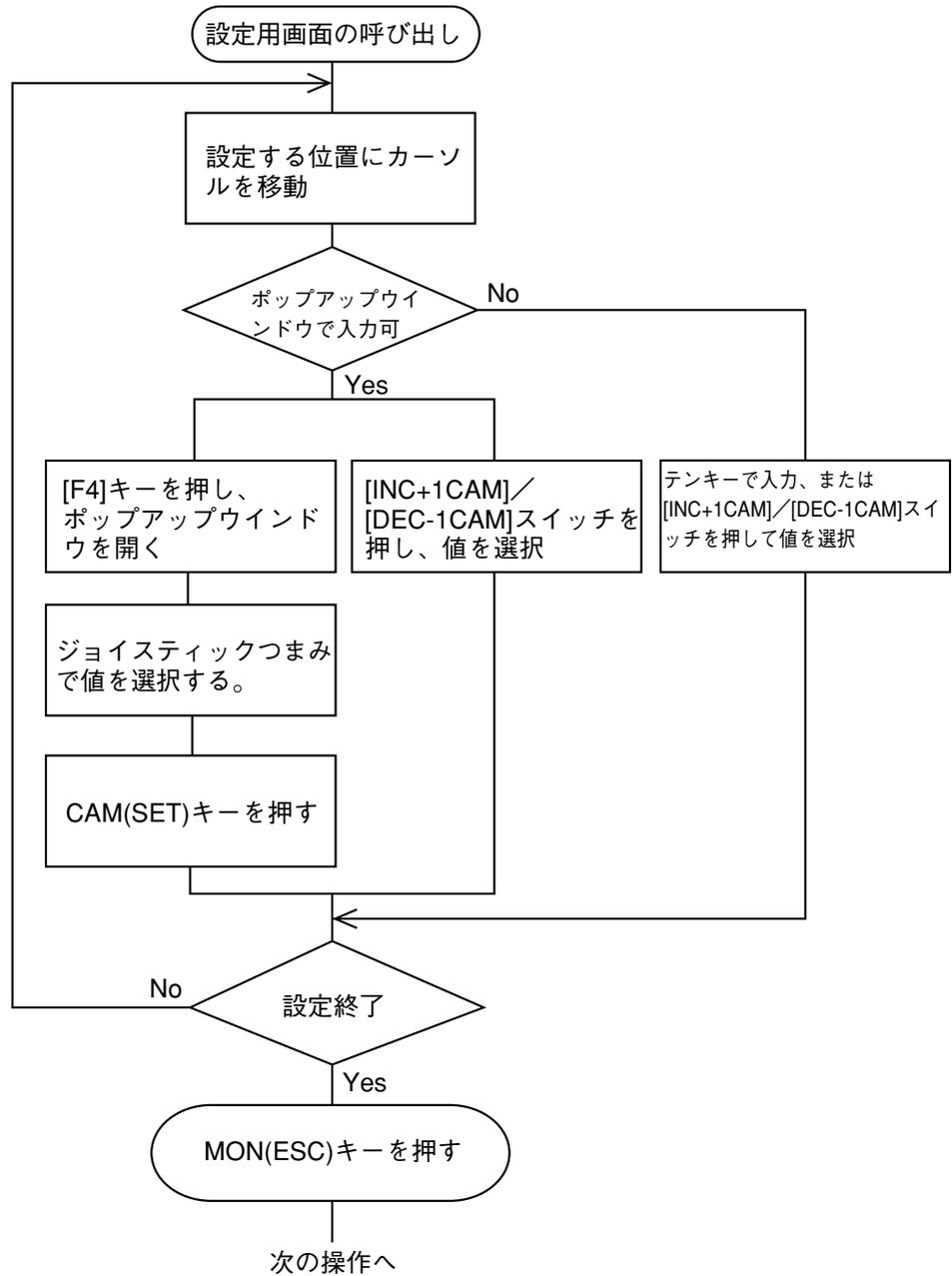
[F1:Next Page] [F2:Pre Page] [F3:DEL] [F4:Pop Up] ON OFF

設定操作に使用する主なキー

表示されているメニューや設定画面を操作する場合、主に次に示すキーを使用します。

- カーソルキー : 液晶ディスプレイ上のメニューを操作します。
- [F1] キー : 次ページを選択します。
液晶ディスプレイ上の [: Next] に対応しています。
- [F2] キー : 前ページを選択します。
液晶ディスプレイ上の [: Pre] に対応しています。
- [F3] キー : モニター上でカーソルがある位置の項目を消去または初期化します。
液晶ディスプレイ上の [: DEL] に対応しています。
- [F4] キー : ポップアップウィンドウをモニターに呼び出します。
液晶ディスプレイ上の [: Pop Up] に対応しています。
- テンキー : 数値を設定するときに使用します。
- [INC+1CAM] スイッチ : ポップアップウィンドウを呼び出さずに選択するとき
に使用します。
- [DEC-1CAM] スイッチ : セットアップメニューや設定画面上の項目にカーソル
を移動するときに使用します。インデックスにカーソル
を移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメ
ニュー画面に切り換わります。
- ジョイスティックつまみ : 選択項目を決定するときに使用します。
- CAM (SET) キー : 前の画面や項目に戻るときに使用します。
- MON (ESC) キー

設定操作の流れ



設定例

設定方法を例を用いて説明します。

- テンキーで入力します。CAM (SET) キーを押す必要はありません。ジョイスティックつまみを操作して次の欄に移動します。

- 設定画面の上にある項目で数値を入力する必要がある場合、テンキーで入力します。入力後CAM (SET) キーを押すと確定されます。数値入力が不要なものは、CAM (SET) キーだけ押してください。カーソルが次の設定項目に移動します。

Tur Sequence 01 Page 1 / 2

Auto skip	On															
Step	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
CAM	10	15	09	00	04	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
PRE		20	64	11	09											
DWELL	03	00	01	02	05	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
AUX1			<input type="checkbox"/>													
AUX2				-												
Step	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
CAM	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
PRE																
DWELL	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
AUX1																
AUX2																

☐ .. ON ■ .. OFF

F1: Next Page F2: Pre Page F3: DEL F4: Pop Up

- 入力内容がシステムで決められているものは、[INC+1CAM] [DEC-1CAM] スイッチまたはポップアップウィンドウを呼び出して設定します。

・ポップアップウィンドウの操作

- ① [F4] キーを押すとポップアップウィンドウ (右図) が画面の上に表示されます。
- ② ジョイスティックつまみで、項目を選択します。
- ③ CAM (SET) キーを押すとポップアップウィンドウが消えて、画面上に設定されます。
[INC+1CAM] [DEC-1CAM] スイッチを押すとポップアップウィンドウに表示される内容が、画面上で順に切り換わります。

ポップアップウィンドウ例

AUX	
<input type="checkbox"/>	On
<input type="checkbox"/>	Off

ポップアップウィンドウについて

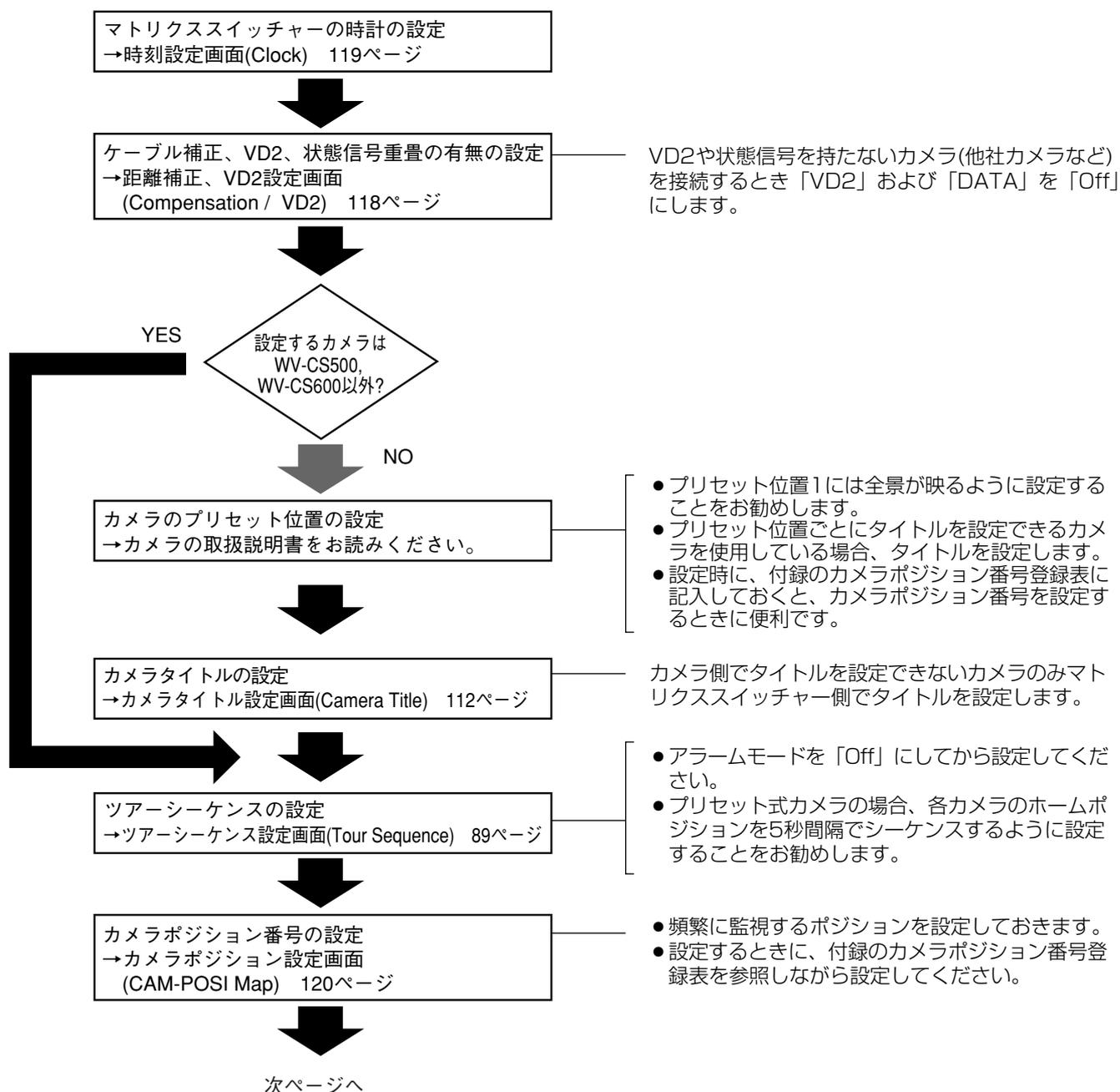
ポップアップウィンドウには、そのセットアップ画面上で設定できる値が表示されます。セットアップ中に設定方法が分からないときに使用すると便利です。

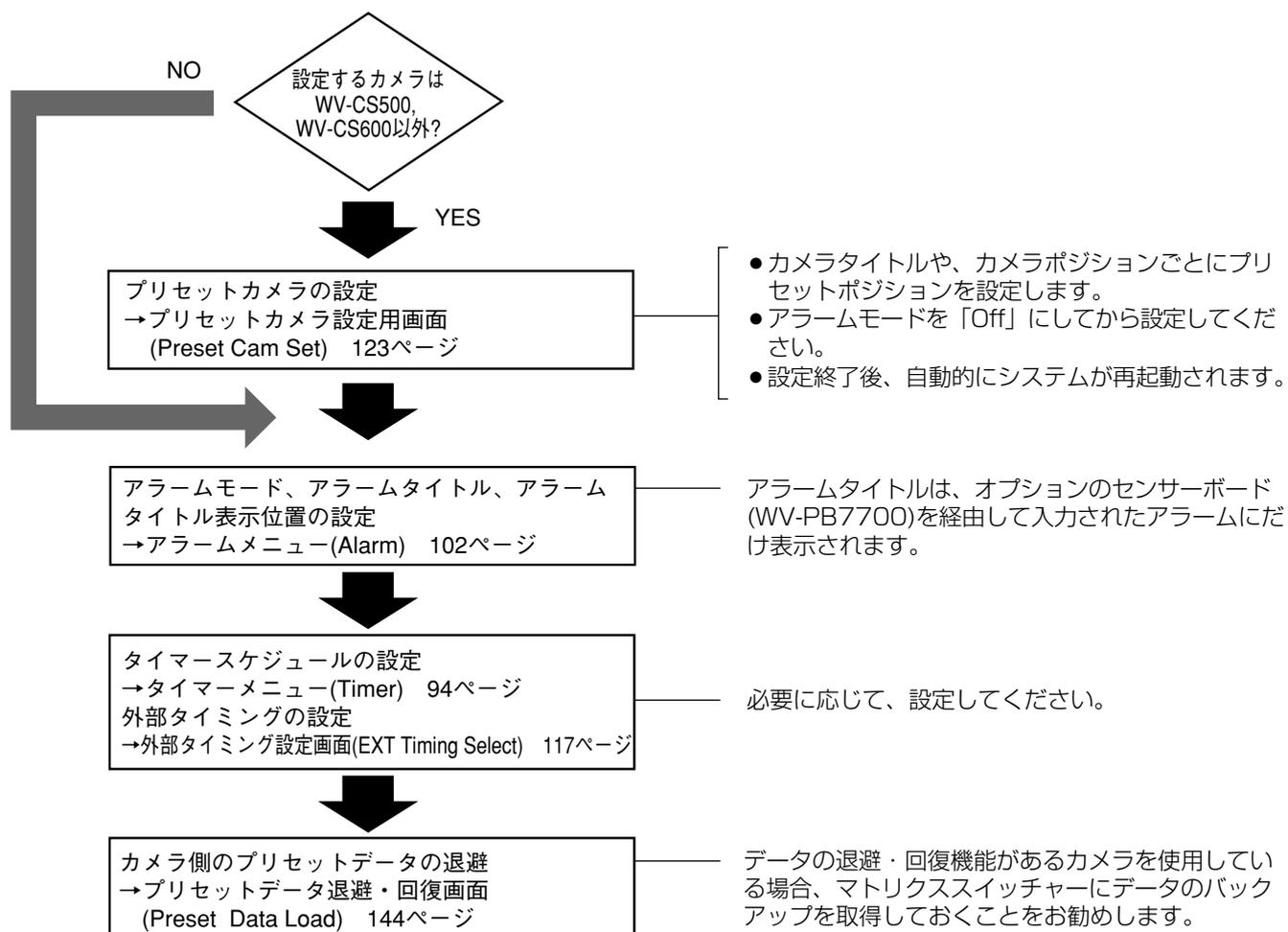
設定作業の流れ

システムの接続後、マトリクススイッチャー内の機能の設定（セットアップ）を行います。セットアップ手順の例を以下に示します。

メモ

- 電源を入れる前にシステムコントローラー後面のモードスイッチ（1=ON、2~4=OFF）と、コントローラーユニット番号（0）を確認してください。
- 本機とシステムコントローラーの電源スイッチがONになっていることを確認してください。





セットアップの開始

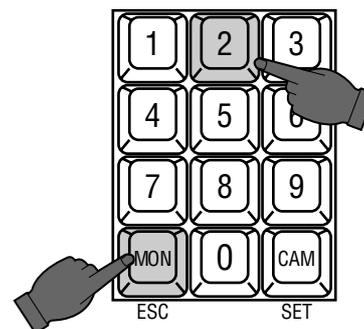
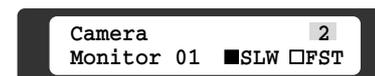
セットアップメニューを表示するモニターを選択

①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

A1



②テンキーでモニター番号を入力します。数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。



③MON (ESC) キーまたは [F1] キーを押します。数字が下段に移動して [Monitor 02] と表示され、モニターが選択されます。



セットアップメニューの表示

①カーソルキーを操作してA6メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

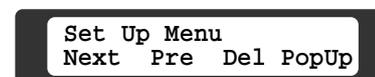
A6



F1 F2 F3 F4



② [F1] キーを押します。モニターにセットアップメニュー（次ページ）が表示されます。液晶ディスプレイの表示も右図のように変わります。

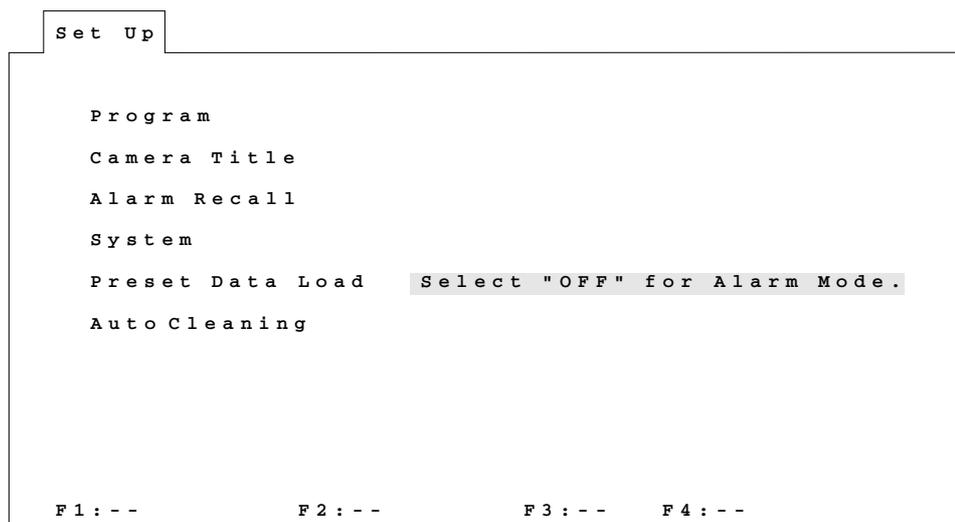


F1 F2 F3 F4

セットアップメニュー

セットアップを行うとき、最初に表示される画面です。6項目の中から設定したい項目を選択すると、各項目に対する詳細を設定する画面に切り換わります。

セットアップ
メニュー



●操作方法

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Program→	ツアーシーケンス、タイマーによるスケジュール、アラーム入力時の動作に関する設定
Camera Title→	カメラタイトルの設定
Alarm Recall→	アラーム履歴の表示
System→	システム環境
Preset Data Load→	プリセットデータ読み込み／書き出し
Auto Cleaning→	コンビネーションカメラのクリーニング
- ②CAM (SET) キーを押します。選択した項目の画面が表示されます。

●セットアップを終了するには

セットアップを中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。カメラ映像の画面に戻ります。

Chapter 2

ツアーシーケンスの設定



プログラムメニュー

ツアーシーケンス、タイマーによるスケジュール、アラーム入力時の動作を設定するときに表示します。

プログラム
メニュー



メニュー画面の表示方法

- ①セットアップメニューから「Program」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにプログラムメニューが表示されます（上図）。

操作方法

このメニュー画面で、設定項目を選択します。

重要

ツアーシーケンスを設定する場合、初めに「Alarm」を選択し、アラームモードを「Off」にしてください。「4. アラーム入力時の動作設定」をお読みください。

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。
Tour Sequence→ ツアーシーケンスに関する設定。
アラームモードを「Off」にしてから設定してください。
Timer→ 内蔵タイマーを利用したイベント（運用スケジュール）の設定。
Alarm→ アラーム入力時の動作や、アラーム運用スケジュールなどを設定。
- ②CAM (SET) キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。
- ③設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。セットアップメニューに戻ります。

ツアーシーケンスの設定

ツアーシーケンス設定画面

①

Set Up			PROG.			T-SEQ											
Tour Sequence 01											Page 1 / 2						
②	Auto Skip	On															
	Step	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
③	CAM	10	15	09	00	04	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
④	PRE		20	64	11	09											
⑤	DWELL	03	00	01	02	05	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
⑥	AUX1			<input type="checkbox"/>													
⑦	AUX2				<input type="checkbox"/>												
	Step	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	CAM	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
	PRE																
	DWELL	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
	AUX1																
	AUX2																

□...ON ■...OFF

F1:Next Page F2:Pre Page F3:DEL F4:Pop Up

設定画面の表示方法

- ①プログラムメニューで「Tour Sequence」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにツアーシーケンス設定画面が表示されます。
 - この画面を使ってツアーシーケンスの新規設定や変更を行います。
 - ツアーシーケンスは、1シーケンス64ステップで16シーケンスまで設定できます。各ステップのなかではカメラ番号、プリセット番号、表示時間、外部機器制御スイッチ1、外部機器制御スイッチ2を設定します。

重要

- ツアーシーケンスの設定や変更を行う場合は、あらかじめアラームモードを「Off」にしてください。「4. アラーム入力時の動作設定」をお読みください。
- 1シーケンスは64ステップありますが、一画面には32ステップが表示されます。33ステップ以降を設定するときはカーソルを②～⑦のいずれかに移してから [F1] キーを押してください。
- 変更した設定は、設定後に実行されるシーケンスから有効になります。

操作方法

①ツアーシーケンス番号の設定

カーソルを①に移動します。設定するシーケンス番号（1から16）をテンキーで入力します。CAM (SET) キーを押して確定すると、画面にシーケンス番号が表示されます。

②自動スキップの設定 (Auto Skip)

- カーソルを②に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。
- ポップアップウィンドウで「On」または「Off」のうち希望する位置へカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。ポップアップウィンドウが消え、画面に「On」または「Off」が表示されます。

③カメラ番号の設定 (CAM)

カーソルを設定するステップの③「CAM」に移動します。テンキーで希望するカメラ番号を入力します。

④プリセット番号の設定 (PRE)

カーソルを設定するステップの④「PRE」に移動します。プリセット番号をテンキーで入力します。プリセット式コンビネーションカメラだけ設定できます。

⑤表示時間の設定 (DWELL)

カーソルを設定するステップの⑤「DWELL」に移動します。テンキーで0秒から30秒の表示時間を入力します。

重要

プリセット式コンビネーションカメラの場合、プリセット位置に移動するまでの時間を見込んで表示時間を設定してください。

⑥外部機器制御1、2の設定 (AUX1、2)

- カーソルを⑥または⑦に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、「On」または「Off」にカーソルを移動します。CAM (SET) キーを押すと、ポップアップウィンドウが消え、□ (On) または■ (Off) マークが表示されます。
- 33ステップ以降を設定するときは、[F1] キーを押して次ページを呼び出します。同様の操作で後半の設定を行います。[F2] キーを押すと前のページに戻ります。

⑦一つのシーケンスの設定終了

一つのシーケンスの設定が完了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルが①に移動します。

⑧次のシーケンスの設定

①から⑦を繰り返して同様に設定します。

⑨設定を終了するときは

- 再度MON (ESC) キーを押します。プログラムメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

設定データの初期化（消去）

ツアーシーケンスの設定を初期化（消去）することができます。

重要

初期化を行うと、再度元の内容に戻すことはできません。よく確認してから操作してください。

操作方法

- ①カーソルを①に移動して初期化する
シーケンス番号を入力します。CAM
(SET) キーを押して、ツアーシーケ
ンス番号を確定します。
- ②カーソルキー [▲] または [▼] を押
して、右図のメニューを液晶ディス
プレイに呼び出します。
- ③ [F2] キーを押してポップアップウイ
ンドウを呼び出します。ジョイス
ティックつまみでカーソルを「Yes」
に移動して、CAM (SET) キーを押
します。①で指定した設定済みデータが
初期化（消去）されます。



Set Up Menu
Print Clear

F1 F2 F3 F4

Chapter 3

スケジュールの設定

内部タイマーを使用して自動的にシーケンスの起動／終了を設定できます。曜日ごとに設定する方法と、特定の日を指定して設定する方法があります。この設定は、タイマーメニューで行います。アラーム入力時のスケジュールを設定する方法については「4. アラーム入力時の動作設定」をお読みください。

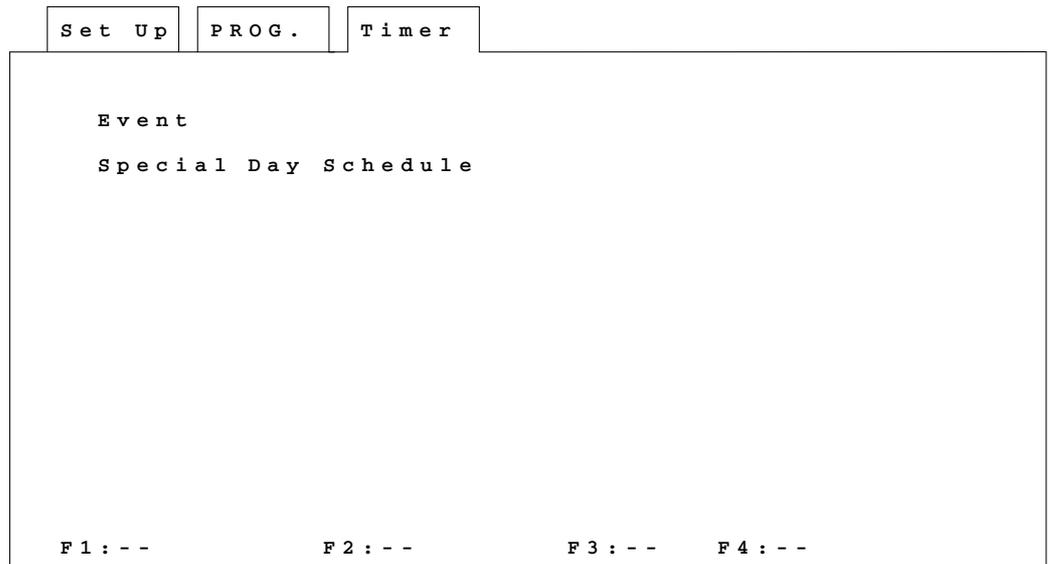


タイマーメニュー

重要

内部タイマーによって起動したツアーシーケンスは、終了時刻経過後も他の操作を行わないかぎり続行されます。

タイマーメニュー



メニュー画面の表示方法

- ①プログラムメニューから「Timer」を選択し、CAM（SET）キーを押します。
- ②モニターにタイマーメニューが表示されます。

操作方法

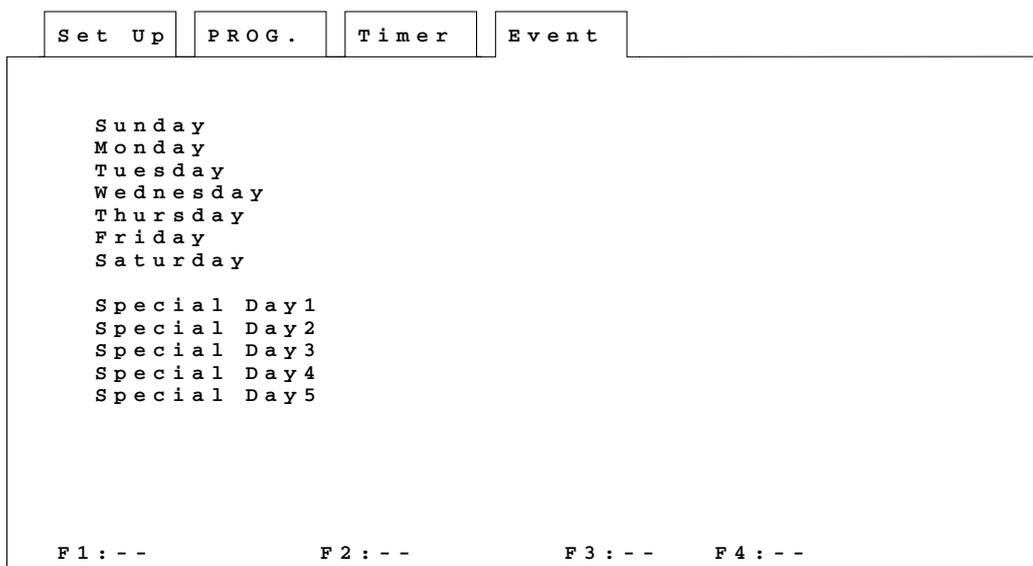
このメニューで、設定項目を選択します。

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。
 - Event→
 - 曜日ごとにタイマー動作スケジュールを設定。
 - Special Day Scheduleで設定する特定日のタイマー動作スケジュールを設定。
 - Special Day Schedule→ 特定日の年、月、日の設定。
- ②CAM（SET）キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。
- ③設定を中止するまたは終了するときは、MON（ESC）キーを押します。プログラムメニューに戻ります。

タイマーイベントメニュー

各曜日や特定日1~5の運用スケジュールを設定できます。

タイマー
イベントメニュー



スケジュールの
設定

メニュー画面の表示方法

- ①タイマーメニューから「Event」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにタイマーイベントメニューが表示されます。

操作方法

このメニュー画面で設定項目の選択をします。

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。
Sunday…Saturday→ 各曜日ごとにスケジュールを設定。
Special Day1…5→ 特定日1から5のスケジュールを設定。
- ②CAM (SET) キーを押すと、スケジュール設定画面 (タイマーイベントスケジュール) に切り換わります。
- ③設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。タイマーメニューに戻ります。

タイマーイベントスケジュール

- この画面で、特定の時間になったとき、ツアーシーケンスを自動的に起動する設定や、すでに登録されている内容を変更したりできます。
- 一日で15のイベントが設定できます。
- 特定日1から5を設定する場合、特定日設定画面で、適用する日（特定日：年月日）を設定してください。本章の「■特定日の設定」をお読みください。

タイマーイベント
スケジュール
設定画面

①

Set Up PROG. Timer Event SUN.

Timer Event Schedule

Start	Stop	M1	M2	M3	M4
00:00	01:00	T04			T01
00:30	09:00				
10:00	10:10		T16		
10:10	10:50				
11:00	11:30				
11:00	11:40				
11:30	11:50				
11:50	12:00				
12:00	12:30				
12:30	13:31				
13:30	14:30				
15:00	16:00				
16:00	17:00			T11	
17:00	17:30				
17:30	19:00				

F1: -- F2: -- T...Tour F3: DEL F4: Pop Up

② ③ ④ ⑤ ⑥

設定用画面の表示方法

- ①タイマーイベントメニューから「Sunday」…「Saturday」または「Special Day 1」…「Special Day 5」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにタイマーイベントスケジュール設定画面が表示されます。
上画面は、「Sunday」を選択した例です。

操作方法

①タイマーイベントスケジュールの確定

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Timer Event Schedule」に移動します。CAM (SET) キーを押します。

②開始終了時刻の設定

カーソルを②から⑤の順に移動して、開始時刻 (Start)、終了時刻 (Stop) をテンキーで入力します。時間は24時間制です。

③シーケンスの設定

カーソルを⑥の希望する位置に移動して [F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。

次にツアーシーケンス番号をテンキーで入力し、CAM (SET) キーを押して確定します。

④設定の終了

一日の設定が終了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルは①の位置に移動します。設定した内容が時間順に並び換えられます。

再度MON (ESC) キーを押すとタイマーイベントメニューに戻ります。

⑤他の曜日または特定日のスケジュール設定

他の曜日や特定日のスケジュールを設定する場合は、①から④の操作を繰り返します。

曜日をまたがって設定するには

曜日をまたがってタイマーイベントスケジュールを設定するには、2日に分けて設定する必要があります。

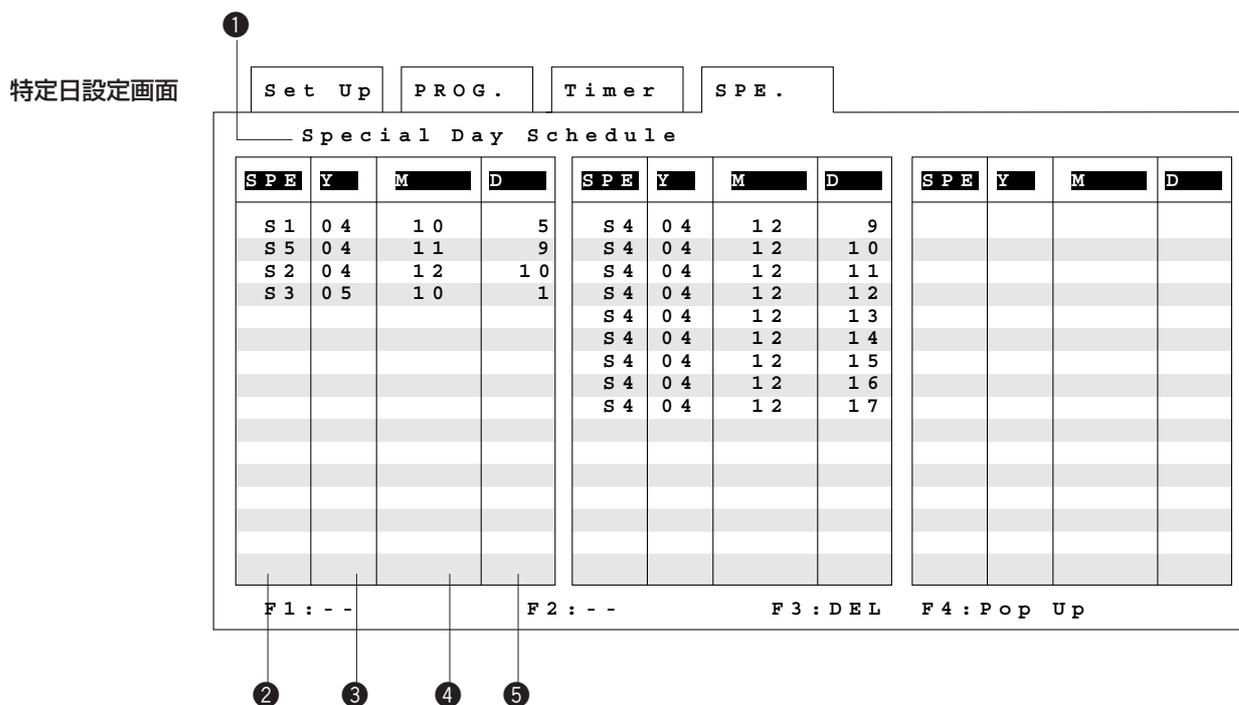
例えば、シーケンスを月曜日23:00～火曜日7:00まで動作させるには次のように分けて設定してください。

Monday …23:00～24:00

Tuesday…0:00～7:00

特定日の設定

この画面で、タイマーイベントスケジュールとアラーム運用スケジュール（「4. アラーム入力時の動作設定」）で設定したSpecial Day1～5と、特定日（年、月、日）との対応付けを行います。



メニュー画面の表示方法

- ①タイマーメニューから「Special Day Schedule」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに特定日設定画面が表示されます。
この画面を使って「Special Day1」から「Special Day5」に設定したスケジュールと特定日との関連付けを行います。

メモ

暦は2004年から2093年まで設定できます。西暦の下2けたを入力してください。

操作方法

① 特定日の設定

- 特定日を設定する前に、カーソルを①「Special Day Schedule」に移動して、CAM (SET) キーを押します。
- 特定日は、合計48日まで設定できます。

② 特定日1から5の選択

- タイマーイベントスケジュール設定画面で設定した特定日の運用スケジュールの番号を選択します。
- カーソルを②に移動し、[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。「S1」から「S5」の中から希望する番号を選択します。CAM (SET) キーを押して確定します。なお、「S1」から「S5」は、タイマーイベントメニューとアラーム運用スケジュールの「Special Day1」から「Special Day5」に対応しています。

③ 年月日の設定

- ③から⑤にカーソルを移動し、年、月、日、の順に特定日を設定します。「年」は、西暦の下2けたで設定します。
- 月は、ポップアップウィンドウまたはテンキーで設定できます。年と日は、テンキーで入力してください。
- 年月日のいずれかを省略することによって、毎年または、毎月と同じ日に設定したスケジュールで運用できます。下表を参照してください。

特定日	年	月	日	起動
S1	-	12	24	毎年12月24日
S2	04	-	-	2004年の毎日

④ 設定を終了するとき

MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Special Day Schedule」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すとタイマーメニューに戻ります。

Chapter 4

アラーム入力時の動作設定

アラーム信号がシステムに入力されたときの動作を3つのモードの中から選択し、設定します。モードの選択はアラームメニューで入れます。

アラーム入力時の
動作設定

アラームメニュー

重要

アラーム運用スケジュールを変更する場合、アラームモード設定画面（次ページ）でアラームモードを「Off」にしてください。変更後、再度アラームモード設定画面でアラームモードを設定してください。

アラームメニュー

Set Up	PROG.	Alarm
--------	-------	-------

Alarm Mode Select
Timer Alarm Schedule Select "OFF" for Alarm Mode
Alarm Title
Alarm Title Position

F1:--	F2:--	F3:--	F4:--
-------	-------	-------	-------

メニュー画面の表示方法

- ①プログラムメニューから「Alarm」を選択し、CAM（SET）キーを押します。
- ②モニターにアラームメニューが表示されます。

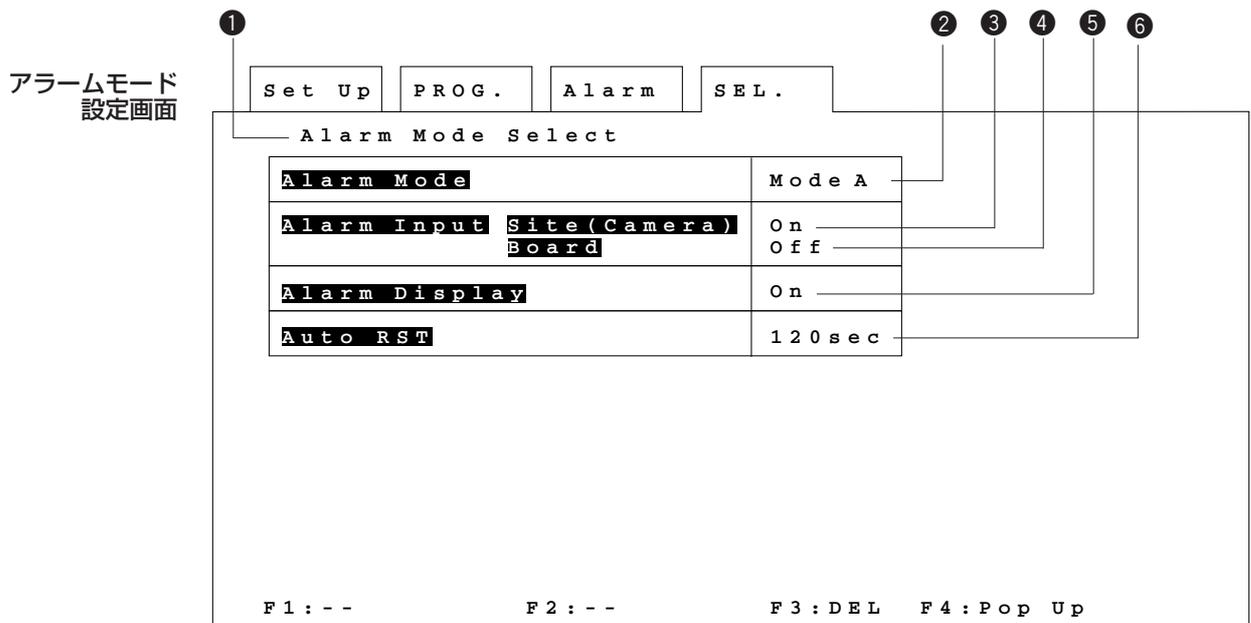
操作方法

このメニューでアラーム入力時のシステムの動作を設定します。アラーム運用スケジュールを変更するときは、アラームモード設定画面で、アラームモードを「Off」にしてから再度この画面で選択してください。

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。
 - Alarm Mode Select →アラーム入力時の動作モード（アラームモード）を選択。
 - Timer Alarm Schedule →内蔵タイマーを利用し、アラーム運用スケジュールを設定。
 - Alarm Title Position →「Alarm Mode Select」画面でアラームタイトル表示を「On」にしたとき、アラームタイトル表示位置を設定。
- ②CAM（SET）キーを押すと、選択した項目の画面に切り換わります。
- ③設定を中止または終了するときは、MON（ESC）キーを押します。プログラムメニューに戻ります。

アラームモードの設定

この画面で、アラーム入力時の動作モードの選択します。また、アラーム信号の入力先、アラームタイトル表示On/Off、アラームを解除するまでの時間を設定します。



選択画面の表示方法

- ①アラームメニューで「Alarm Mode Select」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラームモード設定画面が表示されます。

操作方法

①「アラームモード」設定の開始

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Alarm Mode Select」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②アラームモードの選択 (Alarm Mode)

カーソルを②に移動して、[F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。「Mode A」～「Mode C」、「Timer」または「Off」を選択し、CAM (SET) キーを押します。

• 各モードの動作概要

Mode A

モニター1だけを使用し、アラーム監視を行うモードです。

アラーム発生時アラームに該当するカメラの映像をモニター1に表示します。システムコントローラーで、アラーム信号の入力を一時的に中断し、目的の映像をモニターに表示しておくこともできます。(「第1編 7. アラーム入力時の操作」をお読みください。)

モニター2～4はスポットまたはツアーシーケンス監視用に使うことができます。

Mode B

モニター1、3、4の3台を使用し、アラーム監視を行うモードです。モニター2はスポットまたはツアーシーケンス監視用に使うことができます。

モニター1に表示する映像

「Mode A」と同じです。「Mode A」と同様にアラーム信号の入力を一時的に中断し、目的の映像をモニター1に表示しておくことができます。

モニター3、4に表示される映像

モニター1と同じ映像をモニター3、4交互に表示します。モニター3、4はアラーム映像表示専用となるため、システムコントローラーで中断することはできません。

Mode C

モニター1～4の4台を使用し、アラーム監視を行うモードです。

モニター1に表示する映像

「Mode A」と同じです。「Mode A」と同様にアラーム信号の入力を一時的に中断し、目的の映像をモニター1に表示しておくことができます。

モニター2、3、4に表示される映像

モニター1と同じ映像をモニター2、3、4交互に表示します。モニター2、3、4はアラーム映像表示専用となるため、システムコントローラーで中断することはできません。

Timer

アラームメニューの「Timer Alarm Schedule」で設定したアラーム運用スケジュールでアラーム監視を行うモードです。

Off

アラーム監視を行わないときに選択します。「Off」の時にアラーム信号が入力されるとアラーム履歴は保存されません。

③アラーム信号入力先の設定 (Alarm Input)

カーソルを③または④に移動して [F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。アラームを入力する (On) または入力しない (Off) を選択し、CAM (SET) キーを押します。各アラームモード共通です。

アラーム信号をカメラサイトから入力するときは、「Site (Camera)」を「On」にします。また、センサーボードなどのセンサーシステムから入力する場合、「Board」を「On」にします。この設定はシステムコントローラーの操作で変更することもできます。(60ページ)

④アラームマークの表示または非表示の設定 (Alarm Display)

アラーム発生時、モニターに「AL」マークを表示するかどうか設定します。カーソルを⑤に移動して、[F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。アラームタイトルを表示する (On) または表示しない (Off) を選択し、CAM (SET) キーを押します。各アラームモード共通です。

⑤自動リセット時間の設定 (Auto RST)

アラーム信号入力時一定時間経過後自動的にリセットするかどうかを設定します。カーソルを⑥に移動して [F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。自動リセットするまでの時間をポップアップウィンドウから選択し、CAM (SET) キーを押し設定します。選択した時間がモニターに表示されます。

ポップアップウィンドウで設定できる時間 (秒) : --、30、60、90、120、150、180、
[INC+1CAM] スイッチまたは [DEC-1CAM] スイッチを使うと、0から60秒の間で1秒単位で、以降は、90、120、150、180秒になります。各アラームモード共通です。

⑥設定を終了するとき

MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Alarm Mode Select」に移動します。再度押すと、アラームメニューに戻ります。

アラーム運用スケジュールの設定

各曜日や特定日1~5のアラーム運用スケジュールを設定します。時間帯によってアラームモードを変更することができます。

①

アラーム運用スケジュール設定画面

Alarm Mode	Start	Stop
Off	00:00	09:00
Mode B	09:00	17:00
Mode C	17:00	18:00
Mode A	18:00	19:00
Off	19:00	24:00

F1: -- F2: -- F3: DEL F4: Pop Up

② ③ ④ ⑤ ⑥

選択画面の表示方法

- ①アラームメニューで「Timer Alarm Schedule」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラーム運用スケジュール画面が表示されます。設定する曜日または特定日 (Special Day 1~5) にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。

重要

Special Day 1~5は、特定日設定画面 (98ページ) で設定した日に適用されます。

Set Up PROG. Alarm Timer

Sunday
Monday
Tuesday
Wednesday
Thursday
Friday
Saturday

Special Day 1
Special Day 2
Special Day 3
Special Day 4
Special Day 5

F1: -- F2: -- F3: -- F4: --

- ③モニターにアラーム運用スケジュール設定画面が表示されます。

操作方法

①「アラーム運用スケジュール設定」の開始

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Timer Alarm Schedule」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②アラームモードの選択 (Alarm Mode)

カーソルを②のエリアに移動して、[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。「Mode A」～「Mode C」または「Off」を選択し、CAM (SET) キーを押します。

③開始、終了時刻の設定

カーソルを③から⑥の順に移動して、開始時刻 (Start)、終了時刻 (Stop) をテンキーで入力します。時間は24時間制です。

④設定の終了

1日の設定が終了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Timer Alarm Schedule」に移動し、設定内容が時間順に並べ換えられます。再度MON (ESC) キーを押すと、アラーム運用スケジュール画面に戻ります。

⑤他の曜日または特定日のアラームスケジュール設定

他の曜日や特定日のアラームスケジュールを設定する場合、②から④の操作を繰り返します。

メモ

曜日をまたがってアラーム運用スケジュールを設定するには、タイマーイベントスケジュールと同様に、2日に分けて設定する必要があります。

例えば、アラームモードを月曜日23:00～火曜日7:00までOffにするには、右表のように分けて設定してください。

曜日	Alarm Mode	Start	Stop
Monday	Off	3:00	24:00
Tuesday	Off	00:00	07:00

アラームタイトルの設定

この画面で、アラーム種別ごとにタイトルを設定します。アラームタイトルは、ポップアップウィンドウに表示される文字を使って設定します。

アラームタイトル
設定画面

①

No.	Title
01	ドアカイホウ
02	シンニュウシャ
03	フセイ センサー
04	カイジョウ
05	キンキュウ
06	
07	
08	

②

アカサタナハマヤラワンガザダババァ ヤ
イキシチニヒミ リ キジチビビィ
ウクスツヌフムユル グズツブブウツ
エケセテネヘメ レ ゲゼデベベェ
オコソトノホモヨロラ ゴゾドボボォ ヨ

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
TUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789!"#\$%&'()*
=+* - : ; , . / ?

INC.. Pick Up
DEC.. Back Space

F1: Next Page F2: Pre Page F3: DEL F4: Pop Up

選択画面の表示方法

- ①アラームメニューで「Alarm Title」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラームタイトル設定画面が表示されます。

重要

- アラームタイトルは合計32個まで設定できます。1画面で8個まで設定できます。9個以降のアラームタイトルを設定したい場合は、[F1] キーを押してください。[F2] キーを押すと、前の画面に戻ります。
- 設定したアラームタイトルは、センサーボード (WV-PB7700オプション) などのセンサーシステム経由でマトリクススイッチャーシステムにアラーム信号が入力されたときに表示されます。カメラサイトからアラーム信号が入力された場合、アラームタイトルは表示されません。
- アラームタイトルを変更すると、すでにアラーム入力履歴に記録されているアラームタイトルも合わせて変更されます。

操作方法

①「アラームタイトル設定」の開始

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Alarm Title」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②ポップアップウィンドウを開く

アラームタイトルを設定したい位置（領域②）にカーソルを移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウに設定できる文字の一覧が表示されます。前ページの画面は、ポップアップウィンドウを呼び出した状態です。

③文字の選択

設定したい文字にカーソルを移動し、[INC+1CAM] スイッチを押すと、その文字が②に表示されます。繰り返して、アラームタイトルを設定してください。

間違った文字を入力した場合

カーソルを消したい文字の右隣に移動して、[DEC-1CAM] スイッチを押します。その文字が消えてカーソルが左へ1文字分移動します。不要な文字を消したあと、正しい文字を入力します。

空白を入力したいとき

文字のないところにカーソルを移動して、[INC+1CAM] スイッチを押してください。

④アラームタイトル文字列の確定

②と③を繰り返して、1個分のアラームタイトルを設定したら、CAM (SET) キーを押します。設定した内容がシステムに登録されます。

⑤9個目以降のアラームタイトルの設定

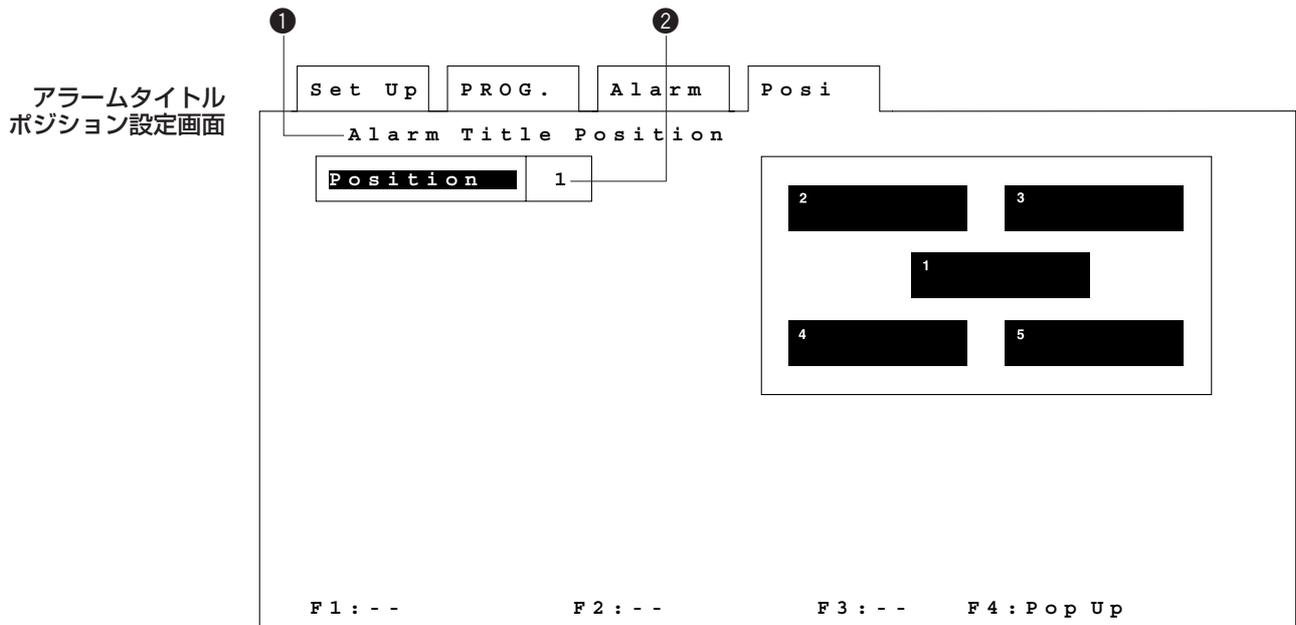
- [F1] キーを押すと、ページが変わり、次のアラーム種別8個分を設定できます。②から④を繰り返して設定します。
- [F2] キーを押すと前ページのアラームタイトルを設定できます。

⑥設定を終了するときは

MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Alarm Title」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すと、アラームメニューに戻ります。

アラームタイトルポジションの設定

この画面で、アラームタイトルをモニターに表示する位置を設定できます。



選択画面の表示方法

- ①アラームメニューで「Alarm Title Position」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラームタイトルポジション設定画面が表示されます。

メモ

アラームタイトル設定画面でアラームタイトルを設定していない場合、アラームタイトル表示位置を設定しても何も表示されません。

操作方法

- ①「アラームタイトルポジション設定」の開始
ジョイスティックつまみでカーソルを①「Alarm Title Position」に移動し、CAM (SET) キーを押します。
- ②タイトルの表示位置の選択 (Position)
カーソルを②に移動して、アラームタイトルを表示したい位置 (1から5) を選択し、テンキーで入力します。
- ③設定を終了するときは
MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Alarm Title Position」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すと、アラームメニューに戻ります。

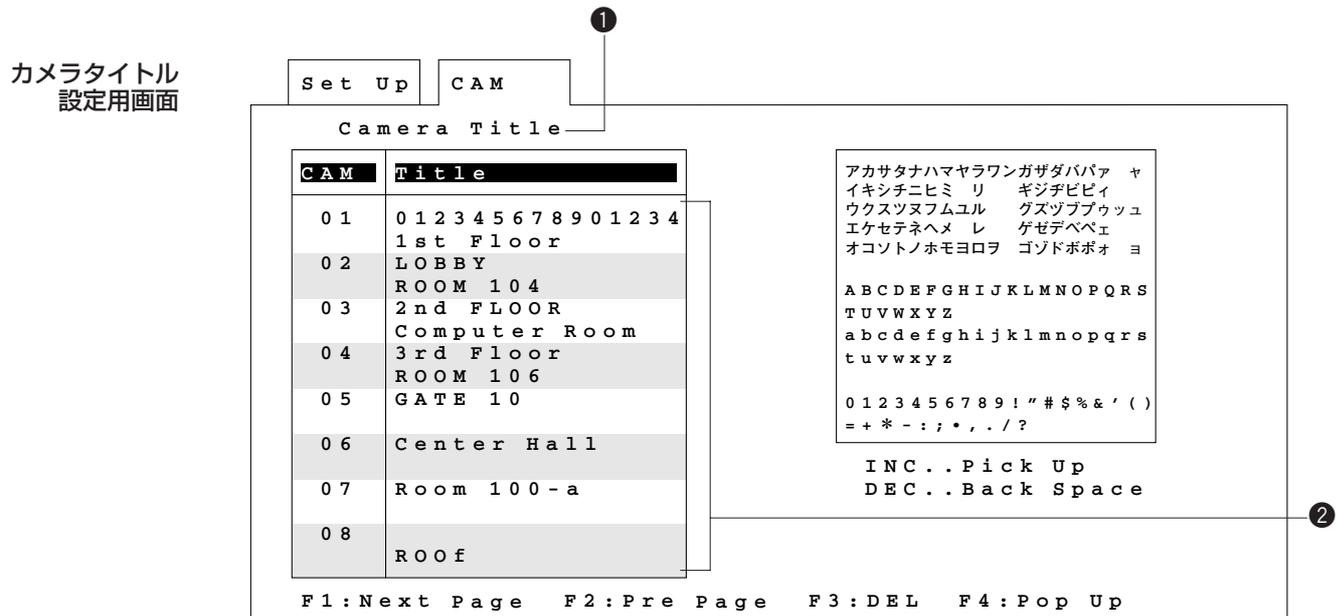
Chapter 5

カメラタイトルの設定

各カメラごとにタイトルを設定し、モニターに表示できます。カメラタイトルにカメラ設置場所を設定することによって、表示している映像がどこの場所かを把握することができます。

カメラタイトルの設定

この画面でカメラタイトルを設定します。カメラタイトルは、ポップアップウィンドウに表示される文字を使って設定します。



設定用画面の表示方法

- ①セットアップメニューから「Camera Title」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにカメラタイトル設定メニューが表示されます。
1画面で8台分のカメラタイトルを設定できます。

重要

- カメラは合計64台まで接続できます。一画面で8台分までカメラタイトルを設定できます。9台目以降のカメラタイトルを設定したい場合、[F1] キーを押してください。[F2] キーを押すと戻ります。
- カメラによっては、カメラ側でプリセット位置ごとにタイトルを設定できるものがあります。カメラ側で設定したカメラタイトルをモニターに表示するときは、次のように設定することをお勧めします。
 - ①カメラタイトル設定画面で該当するカメラのカメラタイトルをすべて空白にする。
 - ②カメラ側でカメラタイトルを表示する位置を変更する。
- プリセットカメラ (WV-CS500、WV-CS600以外) を接続している場合「システムメニュー」の「プリセットカメラ設定用画面」でカメラポジション番号をカメラタイトルとして登録できます。詳しくは「7. カメラ機能の設定」をお読みください。

操作方法

①モードの確定

カーソルを①「Camera Title」に移動してCAM (SET) キーを押します。

②ポップアップウィンドウを開く

領域②で文字を設定または変更します。設定したい位置にカーソルを移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを開きます。ポップアップウィンドウに設定できる文字の一覧が表示されます。前ページの画面はポップアップウィンドウを開いた状態の図です。

③文字の選択

- 設定したい文字にカーソルを移動し [INC+1CAM] スイッチを押すと、その文字が②に表示されます。繰り返してカメラタイトルを設定してください。
- 間違った文字を入力した場合、カーソルを消したい文字の右隣に移動して、[DEC-1CAM] スイッチを押します。その文字が消えて、左へ一文字分移動します。不要な文字を消したあと、正しい文字を入力します。
- 空白を入力したいときは、文字のないところにカーソルを移動し [INC+1CAM] スイッチを押してください。

④タイトル文字列の確定

- ②と③を繰り返して、1台分のカメラタイトル設定したら、CAM (SET) キーを押します。設定した内容がシステムに登録されます。

⑤9台目以降のカメラタイトルの設定

- [F1] キーを押すとページが変わり、次のカメラ8台分を設定できます。②から④を繰り返して設定します。
- [F2] キーを押すと前ページのカメラに対するカメラタイトルを設定できます。

⑥設定を終了するとき

- MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Camera Title」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すと、セットアップメニューに戻ります。

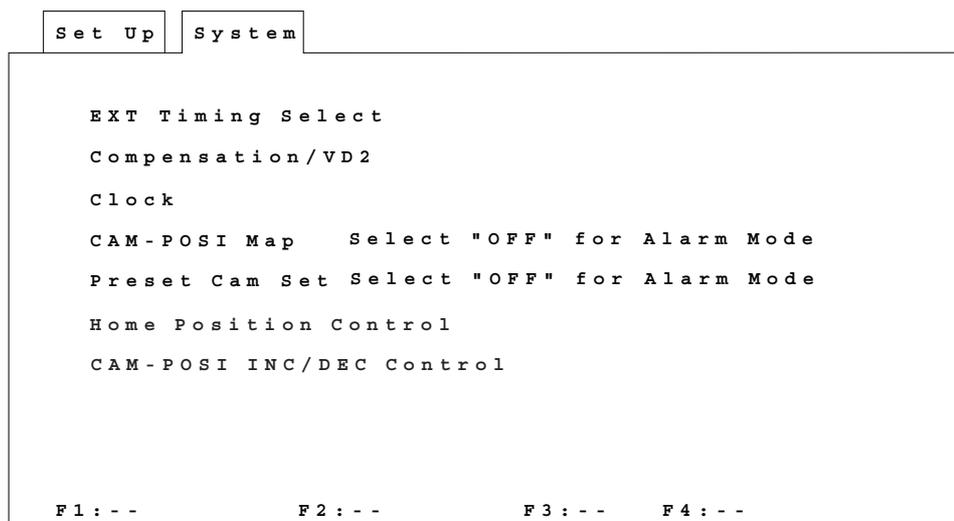
Chapter 6

システムの基本設定

ここでは、システムの基本動作の設定方法について説明します。

システムメニュー

システム
メニュー
画面



メニュー画面の表示方法

- ①セットアップメニューで「System」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②システムメニュー画面が表示されます。この画面で、システム動作の基本となる項目を設定します。

操作方法

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

重要

「CAM-POSI Map」または「Preset Cam Set」を設定する場合、プログラムメニューの「Alarm」を選択し、アラームモードを「Off」にしてください。

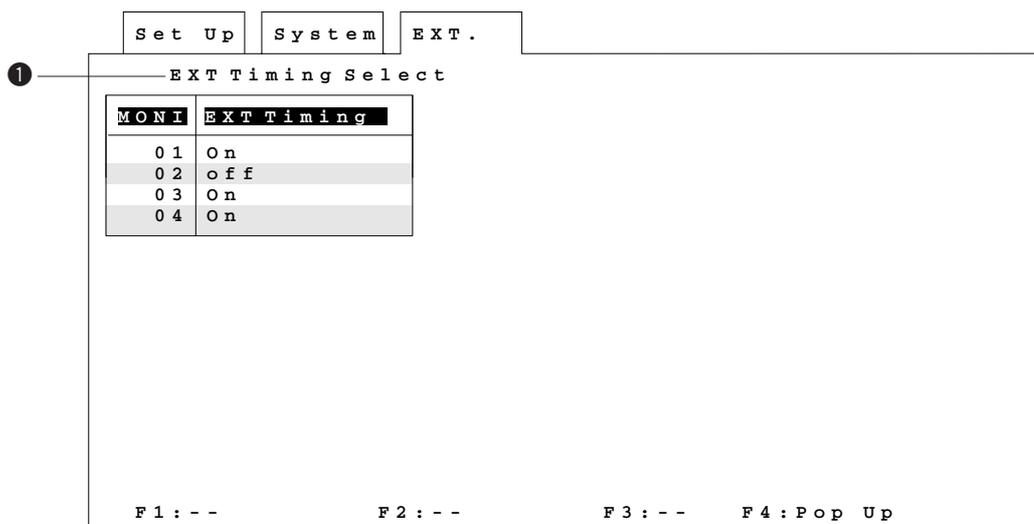
- | | |
|---------------------------|---|
| EXT Timing Select→ | タイムラプスVTRとの外部タイミングを定義します。 |
| Compensation/VD2→ | ケーブル補正とVD2、データ入り切りを設定します。 |
| Clock→ | 日付と時刻を設定します。 |
| CAM-POSI Map→ | カメラのプリセット位置に対し、4けたの番号を定義します。 |
| Preset Cam Set→ | プリセットカメラのプリセット情報を設定・登録します。 |
| Home Position Control→ | プリセットカメラに対するセルフリターン機能の設定と一括ホームポジションの設定をします。 |
| CAM-POSI INC/DEC Control→ | カメラポジション番号を操作するための設定をします。 |

- ②CAM (SET) キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。
- ③設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。セットアップメニューに戻ります。

外部タイミングの設定

シーケンスの切換タイミングをタイムラプスVTR（外部タイミング）に依存させるかどうかを設定します。

外部タイミング
設定画面



設定用画面の表示方法

- ①システムメニューで「EXT Timing Select」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに外部タイミング設定画面が表示されます。

操作方法

- ①モードの確定
カーソルを①「EXT Timing Select」の位置に移動し、CAM (SET) キーを押します。
- ②外部タイミングOn/Offの設定
カーソルを希望するモニター番号に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウから外部タイミング「On」または「Off」を選択し、CAM (SET) キーを押します。設定した内容がモニターに表示されます。
上記の操作を繰り返して、各モニターごとに同期のOn/Offを設定します。
- ③設定を終了するときは
MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「EXT Timing Select」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニューに戻ります。

メモ

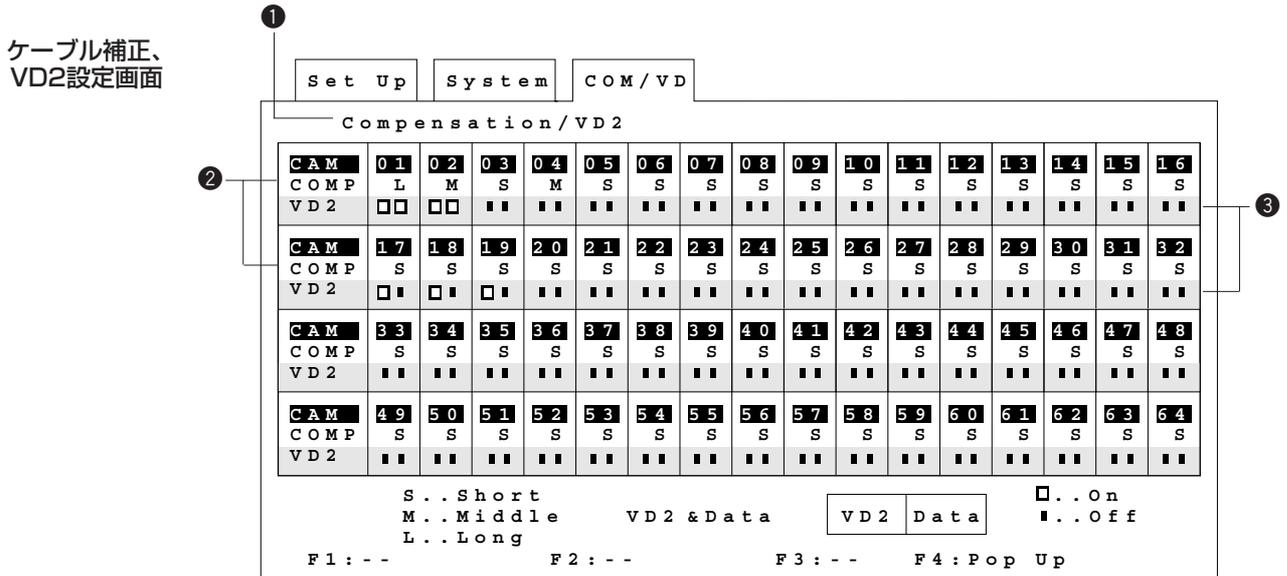
外部タイミング信号の間隔は、1秒以上になるように外部機器側で設定してください。これより短い信号入力があっても動作しません。

重要

「CAM-POSI INC/DEC Control」の設定は、必ず「Off」にしてください。（「カメラポジション操作の設定」126ページ）

ケーブル補正、VD2、データ設定

この画面で、ケーブルによる伝送ロス補正の設定、VD2によるカメラ同期入り切り、データ伝送の入り切りを設定します。



設定用画面の表示方法

- ①システムメニューで「Compensation/VD2」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにケーブル補正、VD2設定画面が表示されます。

操作方法

①モードの確定

カーソルを①「Compensation/VD2」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

②ケーブル補正の設定

カーソルを②に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウの「S」、「M」、「L」のいずれかにカーソルを移動してCAM (SET) キーを押します。ケーブル長と「S」、「M」、「L」の関係は次のようになっています。ケーブルは5C-2Vを使用した場合です。

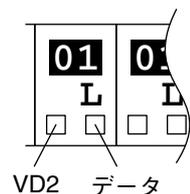
- S : 500 m未満
- M : 500-900 m
- L : 900-1200 m

③VD2/データ (制御信号、状態信号) の設定

映像信号にVD2やデータを重量するかどうかを設定します。

- カーソルを③に移動します。

VD2を重量する場合、左側を (On) にします。
データを重量する場合、右側を (On) にします。
重量しないときは (Off) にします。
他のカメラも同様の手順で繰り返し設定します。



④設定を終了するとき

MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Compensation/VD2」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニュー画面に戻ります。

時刻の設定

この画面で、日付と時刻を合わせます。時刻は24時間制です。

時刻設定画面

The screenshot shows a menu with three options: 'Set Up', 'System', and 'Clock'. The 'Clock' option is selected. Below it is a 'Clock Set' screen with a table for date and time settings. The table has five columns: Year, Month, Day, Hour, and Minute. The values are 2004, 1, 12, 12, and 16 respectively. Below the table are five numbered circles (2-6) corresponding to each column. At the bottom, there are four function key labels: F1: --, F2: --, F3: --, and F4: Pop Up. A circled '1' points to the 'Clock Set' title.

Year	Month	Day	Hour	Minute
2004	1	12	12	16

② ③ ④ ⑤ ⑥

F1: -- F2: -- F3: -- F4: Pop Up

設定用画面の表示方法

- ①システムメニューで「Clock」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに時刻設定画面が表示されます。

操作方法

- ①モードの確定
カーソルを①「Clock Set」に移動して、CAM (SET) キーを押します。
- ②年の入力
カーソルを②に移動します。テンキーで年（西暦:4けた）を入力します。
- ③月の設定
カーソルを③に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウから希望する月を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ④日の入力
カーソルを④に移動します。テンキーで日を入力します。1けたの場合、先に0を押してください。
- ⑤時の入力
カーソルを⑤に移動します。テンキーで時を入力します。1けたの場合、先に0を押してください。
- ⑥分の入力
カーソルを⑥に移動します。テンキーで分を入力します。1けたの場合、先に0を押してください。
- ⑦設定を終了するときは
MON (ESC) キーを押すと設定した時刻（00秒）でタイマー動作が再開されます。カーソルが①「Clock Set」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニューに戻ります。

重要

テンキー入力で、1時1分のような場合は、「01''01」と入力してください。

操作方法

①「カメラポジション番号設定」の開始

ジョイスティックつまみでカーソルを①「CAM-POSI Map」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②入力モードの選択

ジョイスティックつまみでカーソルを④「CAM-P」列の設定したい位置に移動します。新規に入力するときは1行目に、変更するときは変更を開始する行に移動してください。

[F4] キー (PopUp) を押しポップアップウィンドウを開きます。ポップアップウィンドウから入力モードを選択し、CAM (SET) キーを押します。

入力モードは⑤に表示されます。

入力モードについて

入力モードには次の2種類のモードがあり、ポップアップメニューで選択できます。

「0123 5678」：便宜的に4と9を抜いて入力できます。このモードを選択すると、4と9を含む番号を自動的に外して入力できます。

「0123456789」：連続した番号にしたいときに選択してください。すべての数字を使って入力できます。

③カメラポジション番号の入力

CAM (SET) キーを押します。カメラ番号1～64、プリセット番号1～64、カメラポジション番号0001～9999が自動的に入力されます。自動的に入力された内容は後で変更できます。

●新規入力の場合

CAM (SET) キーを押すたびに次のように自動的に入力できます。

例「0123 5678」モードの場合

CAM	PRE	CAM-P
01	01	0001
01	02	0002
01	03	0003
01	04	0005

← CAM (SET) 押す。

← 再度押す。

← 4と9を外すモードのため0005となる。

●途中から入力する場合

カーソルのある次の行から次のように入力できます。

例「0123 5678」モードの場合

CAM	PRE	CAM-P
30	63	387
30	64	388
31	01	500

← この行でCAM (SET) キーを押す。

← この行が生成される。通常389番になるが4と9を外すモードのため500番となる。

重要

- 入力内容を修正するときは、修正したい位置にジョイスティックつまみでカーソルを移動し、テンキーで修正したい番号を入力します。入力できる値は以下のとおりです。

カメラ番号 (CAM) : 1~64

プリセット番号 : 1~64

カメラポジション番号 : 0~9999

- プリセット番号で制御できないカメラの場合、プリセット番号 (PRE) を削除 (空欄) することで使用できます。
- 空欄にしたい位置にカーソルを移動し、カーソルキーを操作してLCDに [DEL] を表示します。その後に [F3] キーを押すと入力されている内容を削除できます。空欄にした後にCAM (SET) キーを押すとプリセット番号の列を空白にしたまま入力できます。

重要

設定できるCAM-P番号の数は、最大2016個までです。

⑤設定を終了するときは

MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「CAM-POSI Map」に移動します。設定した内容がCAM-P番号の順に並び換えられます。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニューに戻ります。

プリセット情報の設定・登録

この画面でプリセットカメラのプリセット情報を登録します。または、プリセット情報設定用画面を呼び出します。

この設定メニューはプリセットカメラ（WV-CS500、WV-CS600以外）をご使用の場合にだけ使用できます。その他のカメラをご使用の場合、このメニューは使用できません。

プリセットカメラ
設定用画面

Set Up	System	Pre Cam
--------	--------	---------

Title Up Load

Position Set

F 1 : - - F 2 : - - F 3 : - - F 4 : - -

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「Preset Cam Set」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにプリセットカメラ設定用画面が表示されます。

操作方法

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。
Title Up Load→カメラポジション番号をカメラタイトルとしてプリセットカメラに登録します。
Position Set→カメラポジション番号ごとにパン/チルト、ズーム、フォーカス、アイリスを設定します。
- ②CAM (SET) キーを押します。
「Title Up Load」を選択した場合、カメラポジション番号設定用画面で設定した番号をカメラタイトルとしてプリセットカメラに登録します。Position Setを選択した場合、プリセット位置設定用画面が表示されます。設定方法は、次ページと「7. カメラ機能の設定」をお読みください。
- ③設定を中止または終了するときはMON (ESC) キーを押します。システムメニューに戻ります。

ホームポジション操作の設定

この画面で、一定時間コンビネーションカメラの操作を行わないときにカメラを自動的にホームポジションへ戻す（セルフリターン）設定をします。また、システムコントローラーから、すべてのコンビネーションカメラをホームポジションに戻す設定もできます。

ホームポジション
制御設定画面

Set Up	System	Home	①
Home Position Control			
②	Self Return	Off	
③	Home Position All Key	Off	
Note: Home Position All Key = On ->Home key works All Camera move to Home Position.			
F1: - - F2: - - F3: - - F4: Pop Up			

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「Home Position Control」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにホームポジション制御設定画面が表示されます。

操作方法

- ①カーソルを①「Home Position Control」に移動して、CAM (SET) キーを押します。
- ②セルフリターンの設定
カーソルを②に移動し、[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。
コンビネーションカメラの操作後、一定時間が経過したら自動でホームポジションに戻るよう設定するには、「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「10」、「20」、「30」、「40」、「50」、「60」、「120」、「180」（秒）のいずれかにカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。
自動でホームポジションに戻したくないときは「Off」に設定します。

重要

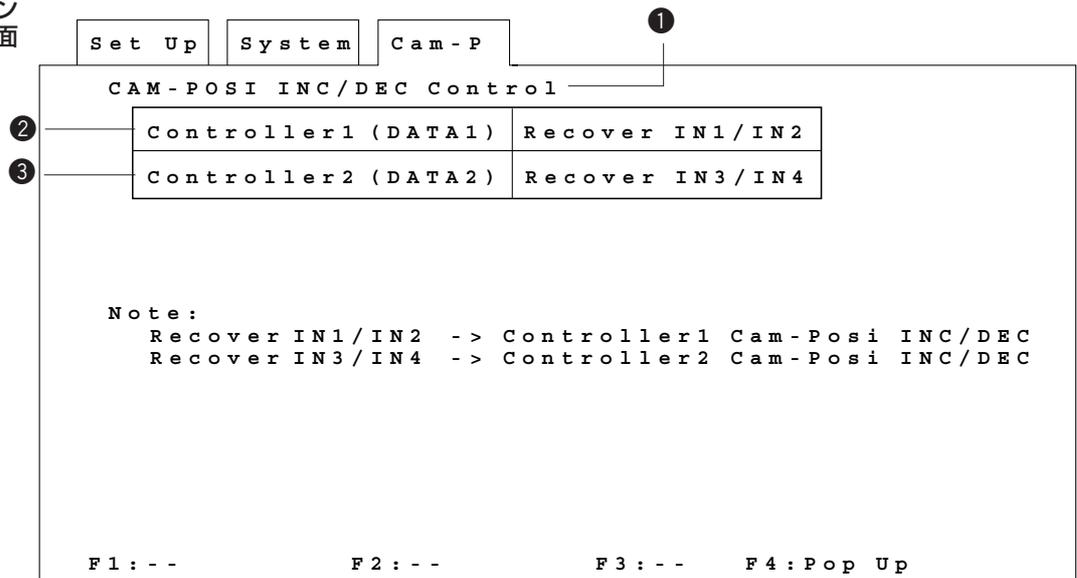
この機能を使う場合は、コンビネーションカメラ側でセルフリターンの設定をOFFにしてください。

- ③すべてのコンビネーションカメラをホームポジションに戻す場合
カーソルを③に移動し、[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。
システムコントローラーからすべてのコンビネーションカメラを一括してホームポジションに戻したい場合は「On」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
設定された内容がモニターに表示されます。
システムコントローラーからの操作方法は、「システムコントローラーからホームポジションに戻す」（47ページ）をお読みください。
- ④設定を終了するときは
MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「Home Position Control」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すとシステムメニューに戻ります。

カメラポジション操作の設定

この画面で、使用する外部スイッチとカメラポジション番号を制御するビデオ出力ボードのタイムラプスVTR接続用コネクタの信号（Recover IN1～4）との関連付けを設定します。

カメラポジション
制御設定画面



設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「CAM-POSI INC/DEC Control」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにカメラポジション制御設定画面が表示されます。

操作方法

- ①カーソルを①「CAM-POSI INC/DEC Control」に移動して、CAM (SET) キーを押します。
- ②信号線の設定
 - カーソルを、設定するシステムコントローラー番号に移動します。
 - [F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。
 - 使用する外部スイッチを設定します。
コントローラー1を使用する場合は、「Recover IN1/IN2」を選択してCAM (SET) キーを選択します。
コントローラー2を使用する場合は、「Recover IN3/IN4」を選択してCAM (SET) キーを選択します。
CAM (SET) キーを押すと、設定した内容がモニターに表示されます。
外部スイッチを使用しない場合またはこのコネクタを使用しない場合は、「Off」に設定します。
- ③設定を終了するときは
MON (ESC) キーを押します。カーソルが①「CAM-POSI INC/DEC Control」に移動します。再度MON (ESC) キーを押すとシステムメニューに戻ります。

Chapter 7

カメラ機能の設定

カメラ側のセットアップメニューをシステムコントローラーからモニターに呼び出し、操作できます。
ここではカメラのセットアップメニューの表示方法とカメラの機能の設定方法について説明します。

カメラ機能の設定

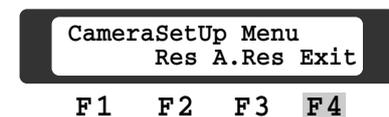
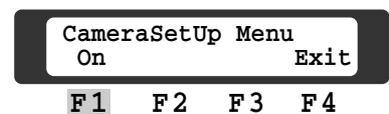
重要

特定のカメラだけシステムコントローラーからカメラ側のセットアップメニューを操作できます。カメラ側のセットアップメニューを操作できないカメラを選択した場合、この操作は無視されます。各カメラの取扱説明書をあわせてお読みください。

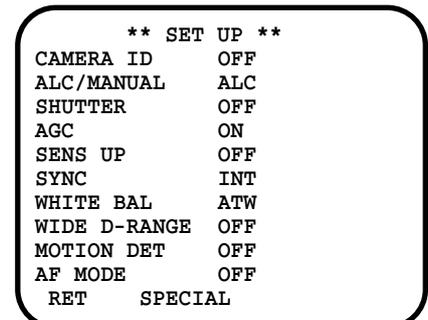
カメラセットアップメニューの表示

- ①セットアップするカメラとセットアップメニューを表示するモニター番号を選択します。
- ②カーソルキーを操作して、D4メニューを表示します。
- ③カメラ側のセットアップメニューを表示する場合、[F1] キーを押します。
 - 液晶ディスプレイの表示が右図のようになり、モニターにカメラから送られてくるセットアップメニューが表示されます。
 - 操作を中止または終了するときは、[F4] キーを押してください。

D4



カメラセットアップメニュー例



重要

カメラセットアップメニューの形式は、カメラによって異なります。

設定方法

操作方法や設定できる項目はカメラによって異なります。各カメラの取扱説明書をあわせてお読みください。

重要

カメラ側のセットアップメニューは、カメラの機能設定用スイッチを操作する方法と、システムコントローラーで操作する方法があります。これらを混在して操作しないでください。例えば、システムコントローラーでカメラ側のセットアップメニューを呼び出した場合、セットアップ中にカメラの機能設定用スイッチは操作しないでください。

① 設定項目の選択

ジョイスティックつまみを上下に動かし、設定したい項目にカーソルを移動します。カメラの機能設定用スイッチの上または下スイッチなどの代わりに使います。

② 設定内容の変更

ジョイスティックつまみを左または右に動かすと、選択した項目の設定内容が切り換わります。例えば「CAMERA ID」を選択し、ジョイスティックつまみを左または右に動かすと「ON」または「OFF」と切り換わります。カメラの機能設定用スイッチの左または右スイッチなどの代わりに使います。

また、カメラの機能設定用スイッチの設定スイッチの代わりにCAM (SET) キーを使います。

③ セットアップの終了

設定作業を終了するときは、[F4] キーを押します。カメラ映像画面に切り換わります。また、液晶ディスプレイの表示は、D4メニューに戻ります。

重要

- すべての項目を工場出荷時の状態に戻したいときは、SPECIAL2>CAMERA RESETで[F3] キーを押してください。

お願い：カメラによっては、この操作を行うと液晶ディスプレイの表示がD4メニューに戻り、モニターに日付・時刻、監視モード、カメラタイトルが重なって表示されるものがあります。この場合、[F4] キーを押して一度セットアップを終了してから、再度 [F1] キーを押してセットアップを行ってください。

- 選択した調節項目だけを工場出荷時の状態に戻したいときは、[F2] キーを押してください。(カメラによっては、工場出荷時の状態に戻らない項目があります。)
- カメラセットアップ中にプリセット位置設定画面を表示しているときは、[ALT] スイッチを押すと (LED点灯)、ジョイスティックつまみでなめらかに回転台を操作 (パン、チルト) することができます。他の画面で、項目の切り換えにジョイスティックつまみを使うときは、再度 [ALT] スイッチを押してLEDを消灯させてください。
- スペシャルメニューに入る場合は、カーソルを「END」または「SPECIAL」にあわせて [F2] キー (Res) を押してください。(「END」「SPECIAL」の項目はカメラによって異なります。)
- セットアップを終了するときは、[F4] キーを押して終了してください。

カメラセットアップメニュー下の「END」にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押しても無視されます。

プリセット位置の設定 (WV-CS500、WV-CS600以外)

この機能はWV-CS500、WV-CS600以外に使用できます。WV-CS500、WV-CS600以外を接続している場合、以下の内容をセットアップメニューでプリセットカメラに登録できます。登録作業を行う前にカメラポジション番号設定用画面でカメラ番号とプリセットポジション番号、カメラポジション番号を設定しておく必要があります。

- カメラタイトル (カメラポジション番号設定画面で設定した番号→120ページ)
- パン/チルト
- ズーム調節
- フォーカス調節
- アイリス調節

この設定メニューを使えば、従来一台ごとにカメラ側のセットアップメニューを呼び出して設定していた内容を本機のセットアップ画面で容易に設定できます。ただし、ホワイトバランスやAGCなど、より細かい設定を行うには、従来通りカメラ側のセットアップメニューで設定する必要があります (85ページ)。

システムにWV-CS500、WV-CS600以外のプリセットカメラが接続されているシステムのみ有効です。システムの構成を確認してから実行してください。

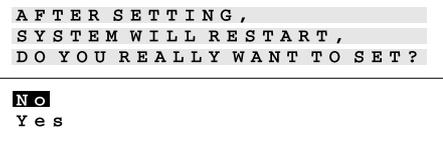
重要

WV-CS850カメラにプリセット位置を登録する場合は、デジタルフリップ機能は使用しないでください (OFFにしてください)。デジタルフリップ機能を使用している場合、WV-CS850カメラにプリセット位置は登録できません。

設定方法

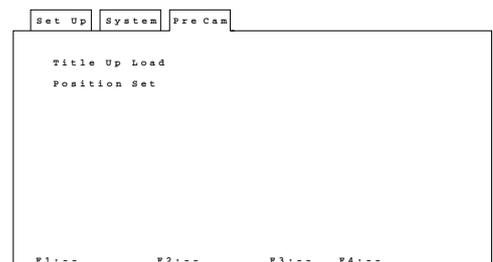
1. プリセット位置設定用画面を表示する。

- ① セットアップメニューを表示します。
- ② アラームモードを「On」にしている場合、アラームモード設定画面でアラームモードを「Off」にします。
- ③ システムメニューで「Preset Cam Set」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
プリセットカメラの設定を行った後、再起動する必要があります。設定作業はシステム運用中をさけてください。プリセットカメラのセットアップを実行すると右のメッセージが表示されます。
- ④ 設定作業を行うときは、ジョイスティックつまみで「Yes」を選択しCAM (SET) キーを押してください。設定作業を中止するときは「No」を選択しCAM (SET) キーを押してください。
- ⑤ モニターにプリセットカメラ設定用画面が表示されます。



AFTER SETTING,
SYSTEM WILL RESTART,
DO YOU REALLY WANT TO SET?

No
Yes



Set Up | System | Pre Cam

Title Up Load
Position Set

F1:-- F2:-- F3:-- F4:--

重要

プリセットカメラとの通信中にケーブル断線等のトラブルが発生すると右のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージを確認したらMON (ESC) キーを押してください。システムメニューに戻ります。

WV-CS600が混在しているシステムでこの機能を実行すると右のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージを確認したらMON (ESC) キーを押してください。システムメニューに戻ります。エラーとなったカメラの数だけMON (ESC) キーを押す必要があります。



WARNING!
ERROR!
C 02 COM

↑ エラーが発生した
カメラ番号



WARNING!
ERROR!
C 02 VER

2.カメラタイトルをプリセットカメラに登録する。

カメラポジション番号設定用画面で設定した番号をカメラタイトルとしてプリセットカメラに一括して登録できます。

- ①プリセットカメラ設定用画面の「Title Up Load」にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。

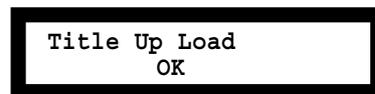
上書きをしてよいか確認のためのメッセージが表示されます。

重要

- すでにプリセットカメラに登録されているカメラタイトルはすべて削除されます。
- カメラタイトルは一括して処理されます。このため、任意のカメラを選択してカメラタイトルを登録・変更することはできません。任意のカメラのカメラタイトルを変更したいときは、カメラ側のセットアップメニューで変更してください。

- ②カメラポジション番号をカメラタイトルとして登録するときは、「Yes」を選択し、CAM (SET) キーを押します。

カメラポジション番号をカメラタイトルとして登録できます。登録作業が完了すると、右に示すメッセージが表示されます。登録作業は、カメラ1台につき約1分かかります。



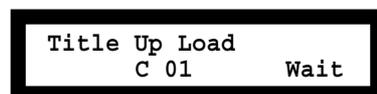
Title Up Load
OK

「No」を選択すると、カメラタイトルの設定を中止できます。

メモ

登録作業中モニターに登録作業の進行状況が表示されます (カメラ番号が表示されます)。

実行中にエラーが発生したときは、カメラと本機の接続を確認してから再度実行しなおしてください。英字やカナを使ってカメラタイトルを設定したいときは、カメラ側の設定メニューで設定してください。



Title Up Load
C 01 Wait

- ③MON (ESC) キーを押してメッセージを解除します。プリセットカメラ設定用画面に戻ります。

3.プリセット位置の設定

カメラポジション番号ごとに以下に示す内容をモニターで確認しながら設定できます。

- パン/チルト
- ズーム調節
- フォーカス調節
- アイリス調節

ホワイトバランスやAGCなど、より細かい設定を行うには、従来通りカメラ側のセットアップメニューで設定してください。

①プリセットカメラ設定用画面の

「Position Set」にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。カメラポジション設定用画面が表示されます。

②カメラポジション設定用画面の

「Position Set」にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。カーソルが「CAM-P」列の1行目に移動します。

③ジョイスティックつまみを操作してプリセット位置を設定したいカメラ番号を選択し、CAM (SET) キーを押します。選択したカメラ番号に対応する映像がモニターに表示されます。このときタイトルアップロードで登録したタイトルが画面右下に表示されます。

CAM	PRE	CAM-P	CAM	PRE	CAM-P	CAM	PRE	CAM-P
01	01	0001						
03	01	0005						
01	05	0020						
10	04	0100						

Navigation: P1: Next Page P2: Pre Page P3: -- P4: --

重要

設定できるカメラはWV-CS500、WV-CS600以外のプリセットカメラだけです。それ以外のカメラを選択すると、右のようなメッセージが表示されます。メッセージが表示されたらMON (ESC) キーを押して解除してください。その後、カメラポジション番号を選択しなおしてください。

WARNING!
ERROR!

④プリセット位置を調節します。

- パン/チルト : ジョイスティックつまみを動かして希望する映像が表示されるようにカメラを旋回します。
- ズーム調節 : [ZOOM] スイッチを操作して映像を拡大/縮小します。
- フォーカス調節 : [FORCUS] スイッチを操作してピントを調節します。
[PRESET/AF] スイッチを押すと自動的にピントを合わせることができます。
- アイリス調節 : [IRIS] スイッチを操作して画面の明るさを調節します。

⑤調節が完了したらCAM (SET) キーを押します。

調節内容がカメラに登録されます。登録時、カメラがWV-CS600Aの場合は画面中央に「トウロク」と一瞬表示されます。

メモ

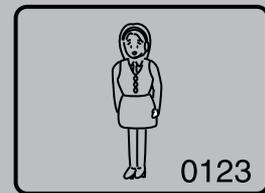
- 何度でもやり直すことができます。
- [INC+1CAM] スイッチで次のカメラ番号の映像を表示して調節できます。
- [DEC-1CAM] スイッチで一つ前のカメラ番号の映像を表示して調節できます。
- MON (ESC) キーを押してカメラポジション設定用画面に戻り、設定するカメラを選択することもできます。

4.設定を終了するときは

- ①カメラポジション設定用画面を表示しているときはMON (ESC) キーを押してプリセットカメラ設定用画面に戻ります。
- ②プリセットカメラ設定用画面でMON (ESC) キーを押します。
システムが再起動されます (ホットスタート)。

重要

通常カメラタイトルは工場出荷時の設定により、画面右下に表示されます。この位置はカメラセットアップメニューを使って修正できます。表示位置を右下に戻したいときは、再度カメラセットアップメニューで修正してください。



プリセット位置の設定 (WV-CS500専用)

この機能は、WV-CS500だけで使用できます。システムの構成を確認してから操作してください。

プリセットに関する設定は、プリセットプログラムメニューで行います。このメニューで、カメラごとにプリセット位置、ホームポジションを設定したり、プリセット位置における逆光補正 (BLC) を設定できます。また、使用中の位置ずれをリフレッシュ (初期化) することもできます。

プリセットメニューの表示

①モニターとカメラの選択

プリセット位置を設定するカメラとプリセットプログラムメニューを表示するモニターの番号を指定します。操作方法は「第1編 5.映像の操作」をお読みください。

②プリセットメニューの表示

カーソルキーを操作して、D3メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

D3

PresetMenu:CS500
On Refresh

F1 F2 F3 F4

プリセット位置の登録

プリセットに関する情報を設定する場合、[F1] キーを押し、モニターにプリセットプログラムメニュー (*PRESET PROGRAM*) を呼び出します。

- プリセット位置などの情報を設定するときは、「1」を選択します。
- ホームポジションを設定するときは、「2」を選択します。
- プリセットに関する情報をテストするときは、「3」を選択します。

プリセットプログラムメニュー

CAM : CameraTitle

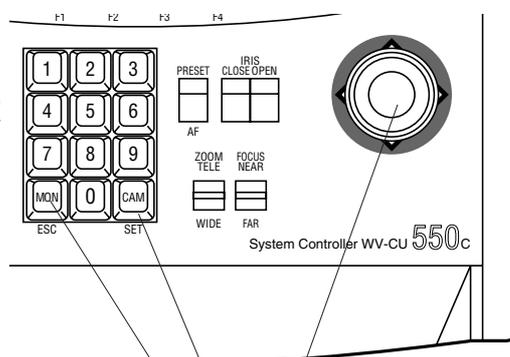
PRESET PROGRAM

- 1 SET UP PRESET
- 2 SET HOME POSI
- 3 PRESET TEST

PRESET DATA LOADING...

プリセットプログラムメニューの項目の選びかた

- ①ジョイスティックつまみでカーソルを希望する項目に移動します。
- ②CAM (SET) キーを押して項目を確定します。MON (ESC) キーを押すと、プリセットプログラムメニューが消えます。



ジョイスティックつまみ

CAM (SET) キー

MON (ESC) キー

プリセット情報の設定

① プリセット番号一覧画面の呼び出し

- プリセットプログラムメニューで「1 SET UP PRESET」を選択し、図のプリセット番号一覧を呼び出します。
- 32番以後を設定するときは、カーソルを32に合わせてジョイスティックつまみを下に動かします。

② プリセット番号の選択

- ジョイスティックつまみでカーソルを希望する番号に移動し、CAM (SET) キーを押します。

- プリセット位置設定画面に切り換わります。

③ カメラアングルの決定

- ジョイスティックつまみを操作して、カメラを旋回し、カメラアングルを決定します。
- ズームスイッチをTELEまたはWIDEに、フォーカススイッチをNEARまたはFARに動かして、希望する画像を決定します。
- カメラアングルが決定したらCAM (SET) キーを押します。逆光補正箇所設定画面に切り換わります (次ページ)。

プリセット番号一覧

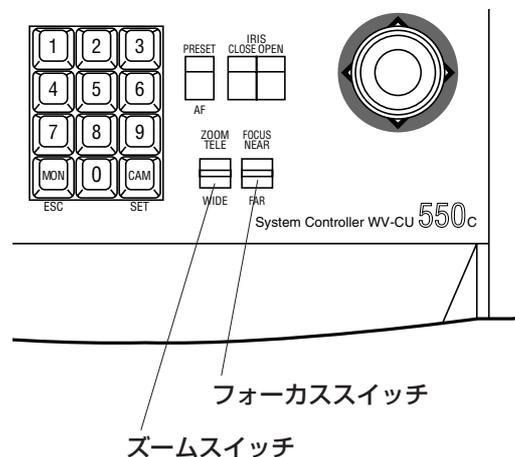
CAM : CameraTitle			
PRESET NUMBER SET			
1#	2#	3#	4#
5#	6#	7#	8#
9#	10#	11#	12#
13#	14#	15#H	16#
17#	18#	19#	20#
21#	22#	23#	24#
25#	26#	27#	28#
29#	30#	31#	32#

Hは、その番号がホームポジションに設定されていることを示す

#は、プリセットが設定されていることを示す

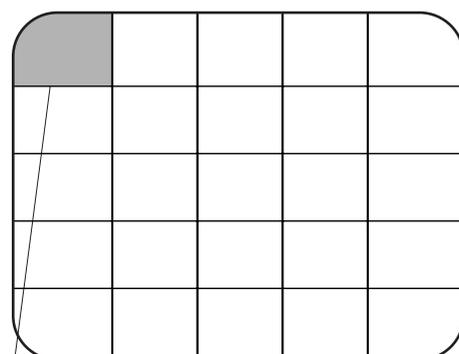
プリセット位置設定画面

CAM : CameraTitle	
POSITION NUMBER : 12	
PAN/TILT/ZOOM/FOCUS	
SET UP POSITION	



④ 逆光補正 (BLC) 箇所の設定

- カメラアングルを決定したあとCAM (SET) キーを押すと、モニターは逆光補正箇所設定画面に切り換わります。
- ジョイスティックつまみを操作して、画面上のハイライト (極端に明るい箇所) 部分にカーソルを移動します。
- カーソル位置を逆光補正する (マスク) ときは [INC+1CAM] スイッチを押します。逆光補正箇所は、白く表示されます。
- 逆光補正を解除するときは、[DEC -1CAM] スイッチを押します。
- 逆光補正箇所を設定しないときは、再度CAM (SET) キーを押してください。プリセット番号一覧に戻ります。



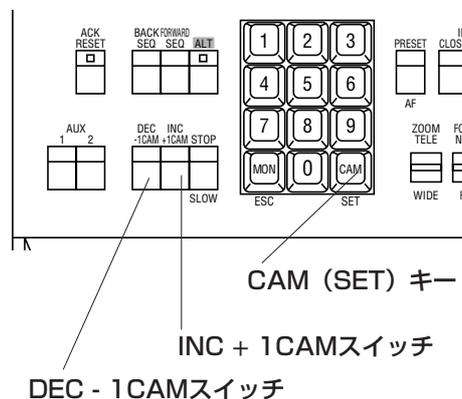
カーソル位置。
[INC+1CAM] キーを押すと白くなる。

⑤ 設定内容の確定

希望する位置の設定を終えたら、CAM (SET) キーを押します。プリセット番号一覧に戻ります。

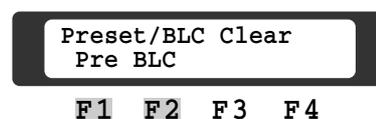
⑥ プリセットプログラムメニューに戻る

MON (ESC) キーを押すと、プリセットプログラムメニューに戻ります。



プリセット情報の消去

- ① プリセット番号一覧画面を呼び出します。
- ② すでに設定してあるプリセット番号のうち、消去したいものにカーソルを合わせCAM (SET) キーを押します。プリセット位置設定画面に切り換わります。
- ③ [F1] キーを押すと該当プリセット番号のプリセット情報が消去されます。逆光補正箇所の設定だけを消去したい場合は、[F1] キーを押さずに、再度CAM (SET) キーを押して逆光補正箇所設定画面を呼び出してから [F2] キーを押します。



重要

消去を行うと、再度消去前のデータに戻すことはできません。よく確認してから操作してください。

ホームポジションの設定

複数あるプリセット位置の中から基準となる位置（ホームポジション）を設定します。

① ホームポジション設定画面の呼び出し

プリセットプログラムメニューで「2 SET HOME POSI」を選択し、ホームポジション設定画面を呼び出します。

② ホームポジションの設定

- 設定したプリセット番号からホームポジションにするプリセット番号を1つ選択します。
- カーソルを「1 HOME POSITION」に移動します。
- テンキーでプリセット番号を入力します。

③ オートホームポジションの設定

オートホームポジションを設定すると、設定した時間が経過すると自動的にカメラをホームポジションに戻すことができます。

- カーソルを「2 AUTO HOME POSITION」に移動します。
- 希望する時間を設定します。[INC +1 CAM] スイッチは押すたびに時間が増え、[DEC -1CAM] スイッチは減ります。「OFF」から「30MIN」まで10分ごとに増減します。

④ 設定内容の確認

希望する位置の設定を終えたら、CAM (SET) キーを押します。プリセットプログラムメニューに戻ります。

ホームポジション設定画面

```
CAM      : CameraTitle

*HOME POSITION*

1 HOME POSITION : 15

2 AUTO HOME POSITION
                : 10MIN
```

設定した内容をテストする

設定したプリセット情報が正常に動作するかどうかテストします。

①プリセットテスト画面の呼び出し

プリセットプログラムメニューで「3 PRESET TEST」を選択し、プリセットテスト画面を呼び出します。

②テストを実行する

CAM (SET) キーを押しテストを実行します。テストを行うと、登録された位置にカメラが旋回します。2秒ごとに、プリセット位置が切り換わり、10分後に停止します。モニターで希望する位置にカメラが旋回しているかどうか確認してください。

③テストの停止

テストを中止する場合、MON (ESC) キーを押します。

④プリセットプログラムメニューに戻る

テストの停止後に再度MON (ESC) キーを押すと、プリセットプログラムメニュー画面に戻ります。

プリセットテスト画面

CAM : CameraTitle

POSITION NUMBER : 12

TEST
ESC→STOP

プリセット位置のリフレッシュ

装置が機械的位置の原点を再確認することで位置補正を行ないます。

D3メニューを呼び出し、[F2] キーを押します。次の項目を登録内容に従って初期化します。

- パン、チルト
- ズーム
- フォーカス

D3

PresetMenu:CS500
On Refresh

F1 F2 F3 F4

[F2] キーを押すと初期化される

Chapter 8

アラーム入力履歴の表示・印刷

セットアップ画面を使ってアラーム入力履歴をモニターに表示したり、システムに接続されているプリンターに印刷したりできます。ここではその方法について説明しています。



アラーム入力履歴の表示

システムにアラームが入力されると、その履歴情報を合計999回までシステム内に保存します。アラーム設定の妥当性の評価やアラーム発生時期の傾向把握などを検討するデータとしてお役立てください。

重要

一度に多数のアラームが入力されると、一瞬にしてアラーム動作が切り換わり、モニターおよびVTRで確認できないことがあります。この場合もアラーム入力情報はバッファに蓄えられアラーム入力履歴として保存されます。さらにバッファの容量を超える大量のアラームが入力された場合には、その間のアラーム入力履歴は保存されません。

アラーム入力履歴
表示画面

Set Up		AL REC			
Alarm Recall				Page 04 / 63	
NO.	Date	Alarm	Alarm Title		
53	06-14 23:09:11	P-0001	ドアカイホウ		
52	06-11 10:32:37	S-0001			
51	05-05 01:12:08	S-0002			
50	03-03 21:59:00	P-0012	シンニューシャ		
49	03-03 12:00:00	S-0026			
48	03-03 11:59:20	P-0008	フセイ センサー		
47	02-26 23:59:00	P-0010	カイジョウ		
46	02-25 00:00:00	P-0008	キンキュウ		
45	02-02 12:47:32	S-0001			
44	01-11 02:00:00	S-0003			
43	01-01 00:00:01	S-0015			
42	12-25 23:00:00	S-0028			
41	11-11 08:28:59	P-0003			
40	08-21 09:07:16	P-0021			
39	08-11 21:09:37	P-0063			
38	06-31 11:11:11	P-0011			

F1: Next Page F2: Pre Page F3: -- F4: --

履歴表示画面の表示方法

- ①セットアップメニューで「Alarm Recall」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラーム入力履歴表示画面が表示されます。この画面で、最新のものから順に、最大999個の履歴が表示されます。画面には、発生番号、発生月日時分秒、アラーム種別番号、アラームタイトルが表示されます。
NO.→ アラーム入力番号。
Date→ アラーム信号が入力された日付・時刻。
Alarm→ アラーム種別と番号。
P: センサーボードなどのセンサーシステム経由で入力。4けたの数字はカメラポジション番号。
S: カメラ側から直接入力。4けたの数字はカメラ番号。
Alarm Title→ センサーボード経由でアラーム信号が入力された場合で、その信号に対してマトリクススイッチャー側でタイトルを設定しているとき、そのタイトルを表示。

操作方法

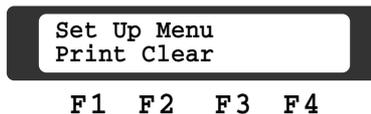
- ①次ページを表示するとき
[F1] キーを押します。
- ②前ページへ戻るとき
[F2] キーを押します。

アラーム入力履歴の印刷

システムにプリンターを接続している場合、アラーム履歴の内容をプリンターに印刷できます。記録保存にお役立てください。

操作方法

- ①カーソルキーを操作して、右図メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ②プリントするとき
 - [F1] キーを押してポップアップウィンドウを開きます。ジョイスティックつまみを動かして「Alarm Recall」を選択します。
 - CAM (SET) キーを押すと印刷が開始されます。印刷を中止するときはMON (ESC) キーを押します。



印刷例

No.	Date	Alarm	Alarm Title
53	06-14 23:09:11	P-0001	ドアカイホウ
52	06-11 10:32:37	S-0001	
51	05-05 01:12:08	S-0002	
50	03-03 21:59:00	P-0012	シンニューシャ
49	03-03 12:00:00	P-0026	
48	03-03 11:59:20	P-0008	フセイ センサー
47	02-26 23:59:00	P-0010	カイジョウ

- NO.→ アラーム入力番号。
 Date→ アラーム信号が入力された日付・時刻。
 Alarm→ アラーム種別と番号。
 P：センサーボードなどのセンサーシステム経由で入力。4けたの数字はカメラポジション番号。
 S：カメラ側から直接入力。4けたの数字はカメラ番号。
 Alarm Title→ センサーボード経由でアラーム信号が入力された場合で、その信号に対してマトリクススイッチャー側でタイトルを設定しているとき、そのタイトルを表示。

データの消去

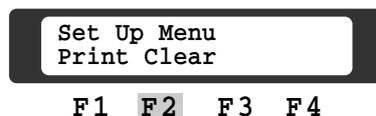
モニターに表示した情報を消去できます。

重要

データを消去すると、再度その内容を表示することはできません。よく確認してから操作してください。

操作方法

- ①カーソルキーを操作して、右図のメニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ② [F2] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ジョイスティックつまみでカーソルを「Yes」に移動して、CAM (SET) キーを押します。モニター上の一覧表の設定済みデータが消去されます。



Chapter 9

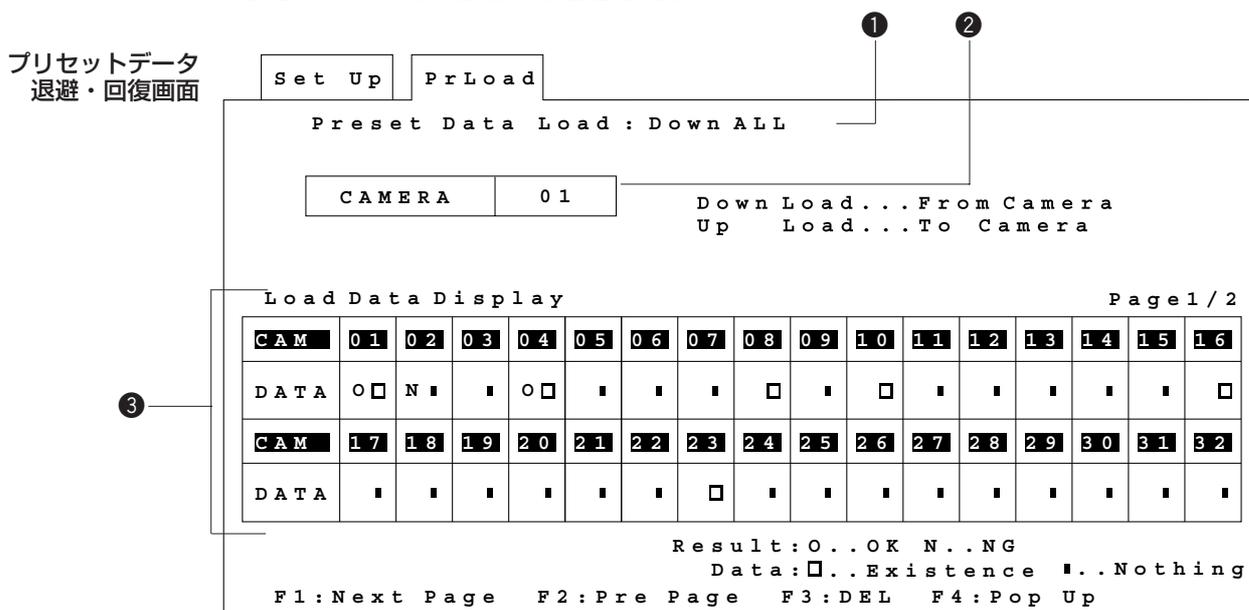
プリセットデータの退避・回復

プリセットデータ
の退避・回復



プリセットデータの退避・回復

この画面で、カメラ側に設定されている内容をマトリクススイッチャー内のメモリーに退避できます。カメラ側の設定内容が何らかの障害によって、消失したとき、退避したデータを元に回復することができます。



選択画面の表示方法

- ①セットアップメニューで「Preset Data Load」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②「プリセットデータ退避・回復を行うと、終了後に自動的にホットスタートします」という内容のメッセージが表示されます。
- ③「Yes」を選択し、CAM (SET) キーを押すと、プリセットデータ退避・回復画面が表示されます。「No」を選択するとセットアップメニュー画面に戻ります。

重要

- この機能をお客様自身が操作された場合、システムがフリーズ（コントローラーから何も操作できなくなる状態）する場合があります。フリーズした場合は本機の電源を入れ直してください。当社では、以下のような操作を行うと、プリセットデータの退避・回復中にフリーズすることが確認されております。
 - ・プリセットデータの退避・回復実行中に、操作に関係のないキーやスイッチを操作した場合
 - ・プリセットデータの退避・回復実行中に、ほかのコントローラーからシステムを操作した場合
- データ退避機能があるカメラだけ、プリセットデータを退避したり回復したりできます。
- 2台のシステムコントローラを使用している場合、1台のシステムコントローラでプリセットデータの退避・回復を行っているときは、もう1台のシステムコントローラは使用できなくなります。

操作方法

33台目以降のカメラにプリセットデータの退避・回復を行う場合は、「F1」キーまたは「F2」キーを押して、ページを切り換えてください。

(1) 接続されているすべてのカメラのプリセットデータを退避・回復する

- ① ジョイスティックつまみでカーソルを①に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出し「Down ALL」（全カメラ→マトリクススイッチャーに退避）または「Up ALL」（マトリクススイッチャー退避データ→全カメラに回復）を選択します。
- ② CAM (SET) キーを押すと確認メッセージが表示されます。実行するときは「Yes」を選択し、CAM (SET) キーを押します。データの退避または回復が実行されます。

メモ

- 作業を中止するときは、「No」を選択してください。プリセットデータ退避・回復画面に戻ります。
- 実行結果は、③「Load Data Display」に表示されます。

- ③ 終了するときは、MON (ESC) キーを押します。自動的にホットスタートされ、初期メニュー画面表示後、カメラ映像に戻ります。

(2) カメラを1台選択してプリセットデータを退避・回復する

- ① ジョイスティックつまみでカーソルを①に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出し「Down」（カメラ1台→マトリクススイッチャーに退避）または「Up」（マトリクススイッチャー退避データ→カメラ1台回復）を選択します。
- ② CAM (SET) キーを押すとカーソルが②に移動します。退避または回復したいカメラ番号をテンキーで入力します。MON (ESC) キーを押すとカーソルは①に移動します。
- ③ CAM (SET) キーを押すと確認メッセージが表示されます。実行するときは「Yes」を選択し、CAM (SET) キーを押します。データの退避または回復が実行されます。

メモ

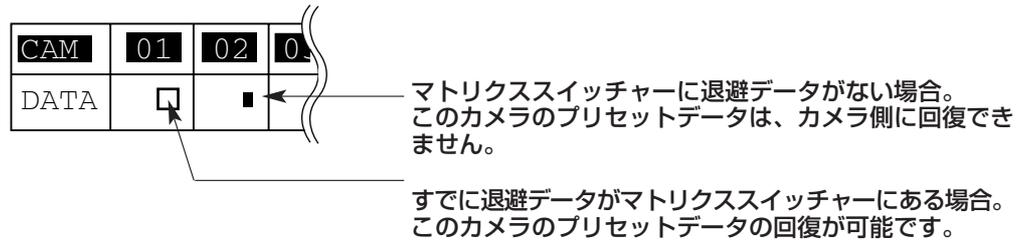
- 作業を中止するときは、「No」を選択してください。プリセットデータ退避・回復画面に戻ります。
- 実行結果は、③「Load Data Display」に表示されます。

- ④ 終了するときは、MON (ESC) キーを押します。自動的にホットスタートされ、初期メニュー画面表示後、カメラ映像に戻ります。

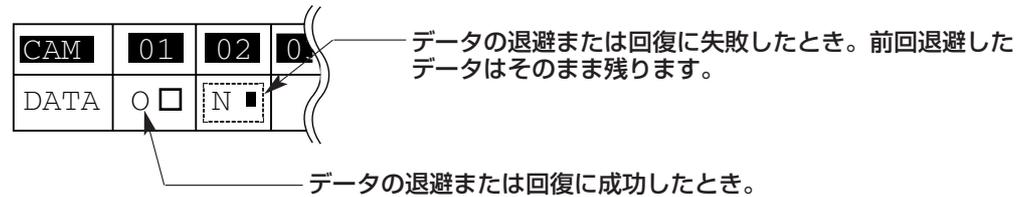
実行結果の確認

実行結果は③「Load Data Display」に下図のように表示されます。

• 実行前（プリセットデータ退避・回復画面表示時）



• 実行後



データの退避・回復時NGマーク（N）が表示されるとき

以下の内容を確認しても、なお異常があるときは、販売店にご相談ください

- カメラ側にデータの退避・回復機能があるかどうか。
データの退避・回復機能がないカメラに対し、退避・回復を行うとNGマーク（N）が表示されます。
- ケーブルや電源コードは、正しく接続されているかどうか。

メモ

プリセットデータの退避・回復の途中でMON（ESC）キーを押すと、処理を中断することができます。ただし、メモリへの書き込み中（カメラ1台につき約7～8秒）は中断することができません。

Chapter 10

コンビネーションカメラの クリーニング

コンビネーションカメラを使用している場合、長時間使用しているとモニターにノイズが入る場合があります。このようなときはコンビネーションカメラをクリーニングする必要があります。

コンビネーションカメラのクリーニングはセットアップメニューのオートクリーニングメニューに設定した曜日・時間で自動的に行うことができます。必要に応じて手動でクリーニングすることもできます。

オートクリーニングメニュー

この画面で、コンビネーションカメラのクリーニングの曜日・時間を設定します。設定した時間になると、自動的にクリーニングを開始します。

オートクリーニング
メニュー画面

The screenshot shows the 'Auto Cleaning Page' menu. At the top, there are 'Set Up' and 'AT CLN' buttons. Below them are fields for 'Mode', 'Hour', and 'Minute'. The 'Mode' field is set to 'Wendesday', 'Hour' to '23', and 'Minute' to '00'. Below these are four rows of camera selection buttons, each labeled 'CAM' and numbered from 01 to 64. At the bottom, there are four fields for function keys: 'F1: --', 'F2: --', 'F3: --', and 'F4: --'. Numbered callouts 1 through 7 point to various elements: 1 points to 'Set Up', 2 to the 'CAM' buttons, 3 to the 'Mode' field, 4 to the 'Hour' field, 5 to the 'Minute' field, 6 to 'F1: --', and 7 to 'F2: --'.

設定画面の表示方法

- ①セットアップメニューで、「Auto Cleaning」を選択しCAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにオートクリーニング設定画面が表示されます。
この画面を使ってコンビネーションカメラを定期的にクリーニングするように設定できます

重要

- コンビネーションカメラのクリーニング中は映像を監視することはできません。クリーニングを実行するときは、営業終了後など映像の監視を中断しても良い時間帯を選んで設定してください。
- コンビネーションカメラのクリーニングはカメラ番号1から順に実行されます。ただし、次の条件に該当するカメラのクリーニングは実行されません。
 - ・映像監視に使用中のカメラ
 - ・アラーム発生中で、かつアラームによるシーケンスで使用されるカメラ
- クリーニングに要する時間は、カメラ1台あたり約30秒です。
- クリーニング中のカメラを選択すると、直ちにクリーニングを中断し、監視操作を行うことができます。MON (ESC) キーを押して、クリーニングを中断することもできます。
- クリーニングを実行してもノイズが解消されない場合は、機器の故障が考えられます。使用を中止し、販売店にご連絡ください。

設定方法

①モードの確定

カーソルを①「Auto Cleaning Page」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

②オートクリーニングモードの設定

カーソルを②「Manual」または「Timer」に移動します。

[INC+1] または [DEC-1] キーを押し、「Manual」または「Timer」を切り換えます。その後、CAM (SET) キーを押して確定します。

- 「Manual」を選択した場合、CAM (SET) キーを押すとクリーニングを開始します。
- 「Timer」を選択した場合、③～⑥を設定してください。

③クリーニングを実行する曜日、または日付の設定

カーソルを③に移動します。[INC+1] または [DEC-1] キーを押してクリーニングを実行する曜日を選択します。その後、CAM (SET) キーを押して確定します。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| Daily | : 毎日、クリーニングを実行します。 |
| Sunday-Saturday | : 毎週、選択した曜日にクリーニングを実行します。 |
| 01-31 | : 毎月、選択した日にクリーニングを実行します。 |

④クリーニングを実行時刻の設定

カーソルを④、⑤に移動して、開始時刻（時、分）を [INC+1] または [DEC-1] キーで入力します。時間は24時間制です。

⑤クリーニングを実行するカメラの選択

カーソルを⑥に移動して、クリーニングの実行する (ON) / 実行しない (OFF) を [INC+1] または [DEC-1] キーで入力します。

- : クリーニング設定ON
- : クリーニング設定OFF

⑥実行結果の確認

クリーニングの実行結果は、⑦で確認できます。

- : クリーニング完了
- : クリーニング実行待ち

重要

- カメラクリーニングを実行できないカメラに対して、カメラクリーニングの設定をONにすると、実行結果はクリーニング実行待ち (■) になります (システムの動作に、影響はありません)。この場合、約30秒経過すると、自動的に次のカメラのクリーニングを実行します。
- 実行結果がクリーニング実行待ちとなった場合、次のクリーニング実行時刻になると再度クリーニングを実行します。

第3編 工 事

この編ではシステムとの設置のしかたについて説明しています。
注意事項を守り、正しく設置してください。

警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因になります。
- 安全のため、「安全上のご注意」(xiiページ～xiiiページ)に記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

1 ボードの設定

マトリクススイッチャーに組み込むボードにある各種スイッチの設定方法について説明しています。

2 設置のしかた

ラックへの取り付けかたやボードの組み込みかたについて説明しています。

3 接続のしかた

システムの周辺機器の接続のしかたについて説明しています。

Chapter 1

ボードの設定

警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因になります。
- 安全のため、「安全上のご注意」(xiiページ～xiiiページ)に記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

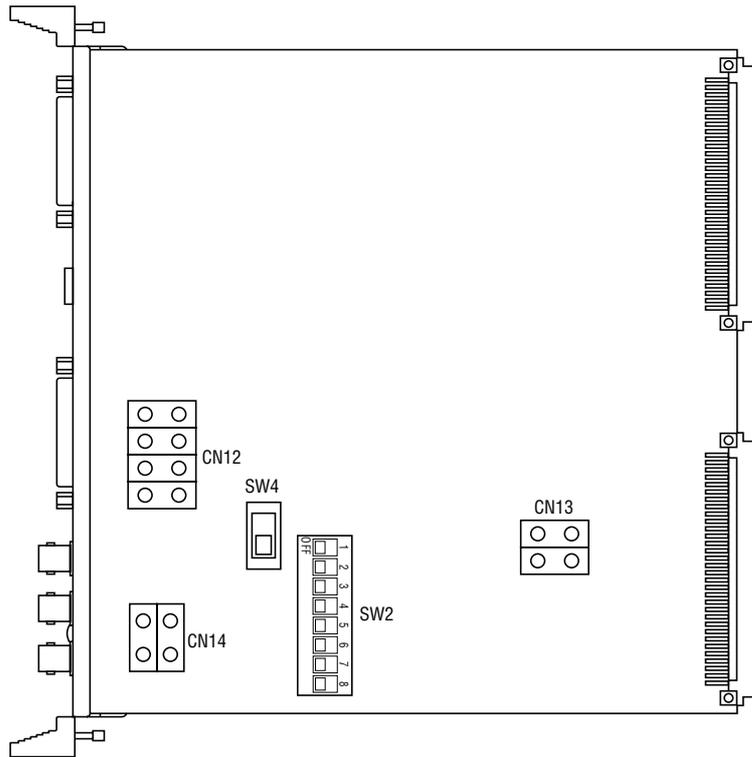


CPUボードのスイッチ設定

ここでは、各種ボード上にあるスイッチの設定方法について説明します。

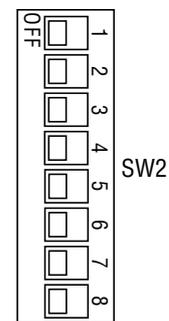
お願い

- システムとの対応をよく確認して、必要な場合だけ設定を変更してください。
- 「工場調整用」となっているスイッチ類は動かさないでください。



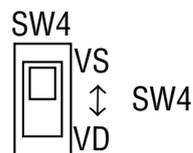
●SW2の設定

このスイッチは工場調整用です。通常は全ビット「OFF」（工場出荷時）にしてください。



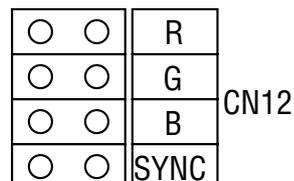
●SW4の設定

このスイッチは本基板のVS/VD入力コネクタの同期形式を選択します。
工場出荷時は「VS」に設定されています。



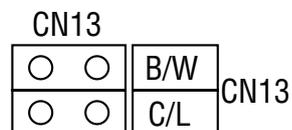
●CN12ジャンパーコネクタ

このコネクタで、プリンターポートへのRGB形式状態表示信号の入/切を設定します。プリンターが接続される場合オープン（切）に設定します。工場出荷時はクローズ（入）に設定されています。



●CN13ジャンパーコネクタ

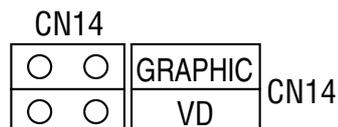
このコネクタでセットアップメニューの映像出力を、カラー（C/L）か白黒（B/W）かを選択します。「C/L」に設定してセットアップの文字に色がついて見にくい場合は「B/W」に設定してください。工場出荷時は「B/W」になっています。



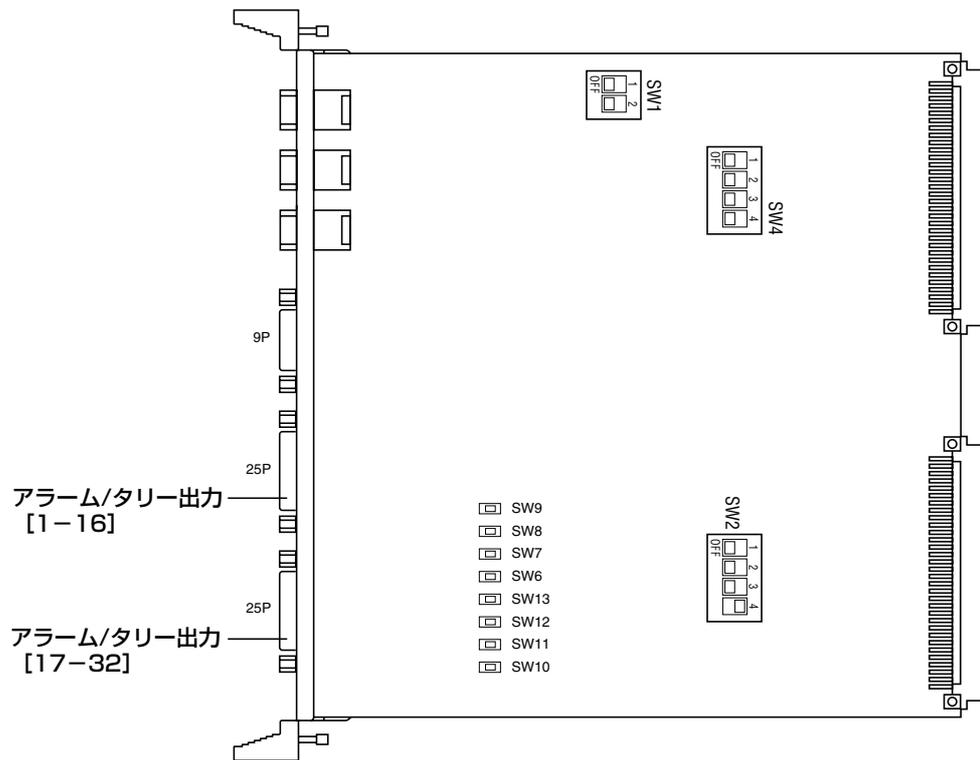
●CN14ジャンパーコネクタ

このコネクタでパネルにあるVD出力コネクタの出力を目的によって切り換えます。工場出荷時は「VD」に設定されています。

- 「GRAPHIC」に設定すると、状態表示画面（保守用）がVD出力コネクタから出力されます。
- 本機内部のVD出力を使用し他の機器と同期をとる場合、「VD」にします。

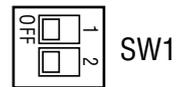


コントロール2ボードのスイッチ設定



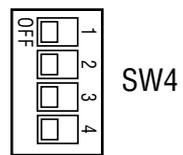
●SW1の設定

このスイッチは工場調整用です。
全ビット「OFF」(工場出荷時) にしてください。

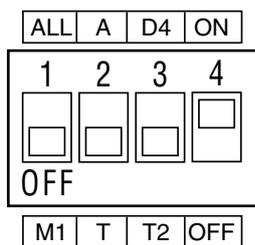


●SW4の設定

このスイッチは工場調整用です。
全ビット「OFF」(工場出荷時) にしてください。



●SW2の設定



●SW2の設定

アラーム/タリー出力コネクタから信号（カメラ番号）を出力する条件を設定します。

ビット番号	信号を出力する条件		工場出荷時
1	OFF [M1]	モニター1モード。 モニター1にカメラ映像を表示しているとき信号（カメラ番号）を出力します。	OFF
	ON [ALL]	全モニターモード。 モニター1から4のいずれかにカメラ映像を表示しているとき信号（カメラ番号）を出力します。	
2	OFF [T]	タリーモード。 カメラの選択によって信号（カメラ番号）を出力します。	OFF
	ON [A]	アラームモード。 アラームによってカメラが選択されたときに信号（カメラ番号）を出力します。	
3	常にOFF	工場調整用です。操作しないでください。	OFF
4	常にON	工場調整用です。操作しないでください。	ON

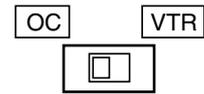
SW2 ビット1と2の組み合わせによってアラーム/タリー出力コネクタから以下の信号を出力します。

SW2 ビット1	SW2 ビット2		
	OFF [T]	ON [A]	
		アラーム動作中	通常時
OFF [M1]	モニター1に映像を表示しているカメラの番号（1～32のカメラ番号*）を出力します。	モニター1にアラームによって出力されたカメラの番号（1～32のカメラ番号*）が出力されます。	信号出力なし。
ON [ALL]	モニター1から4に映像を表示しているカメラの番号（1～32のカメラ番号*）を出力します。	モニター1から4にアラームによって出力されたカメラの番号（1～32のカメラ番号*）が出力されません。	信号出力なし。

※ カメラ番号33～64は出力されません。

●SW6～13の設定

コントロール2ボードALARM/TALLY出力のリセット出力信号の形式を設定します
 (オープンコレクター「OC」または+5 Vパルス「VTR」の選択)。
 工場出荷時は「OC」に設定されています。

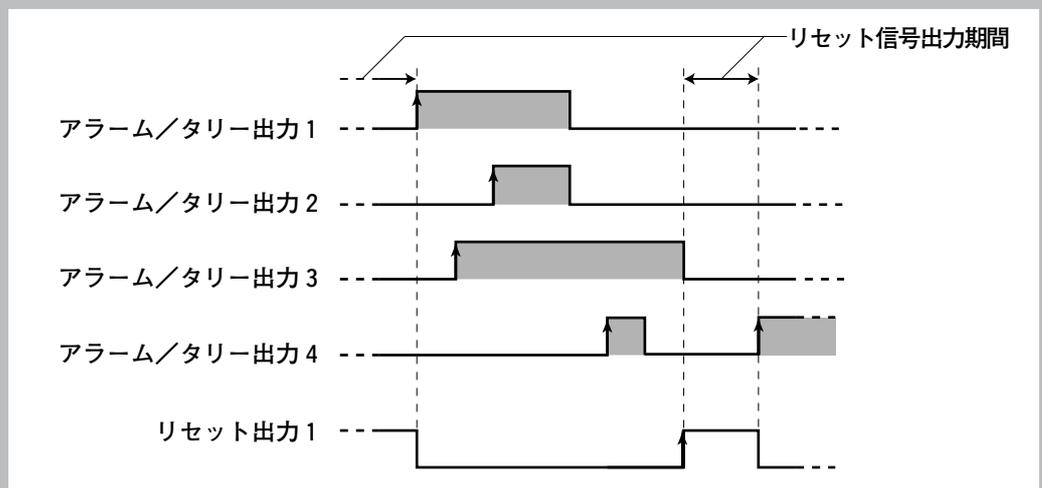


スイッチ	信号名	用途	コネクタ名	ピン番号
SW6	リセット出力1	カメラ1～4のリセット出力用	アラーム/タリー出力コネクタ [1-16]	3
SW7	リセット出力2	カメラ5～8のリセット出力用	同 上	6
SW8	リセット出力3	カメラ9～12のリセット出力用	同 上	9
SW9	リセット出力4	カメラ13～16のリセット出力用	同 上	12
SW10	リセット出力5	カメラ17～20のリセット出力用	アラーム/タリー出力コネクタ [17-32]	3
SW11	リセット出力6	カメラ21～24のリセット出力用	同 上	6
SW12	リセット出力7	カメラ25～28のリセット出力用	同 上	9
SW13	リセット出力8	カメラ29～32のリセット出力用	同 上	12

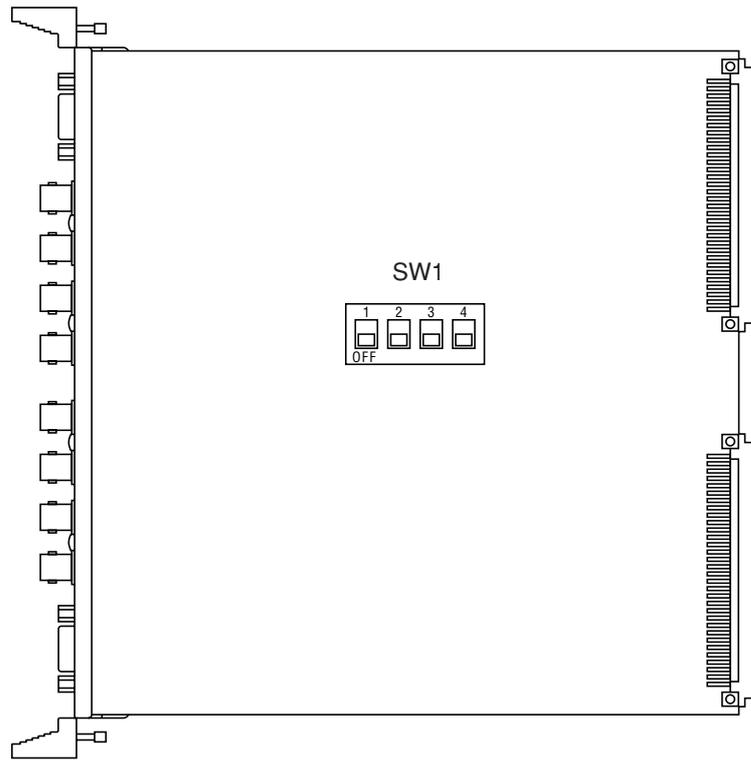
リセット出力について

対応するアラーム/タリー信号が出力されていないときに、リセット信号がアラーム/タリー出力コネクタから出力されます。

動作例



ビデオ入力ボードのスイッチ設定



●SW1の設定

複数のビデオ入力ボードがある場合、各ボードごとに入力ボードの識別番号を設定します。

スイッチは4ビットありますが通常はビット2から4の3ビットだけ使用します。カメラ番号に対応して表のようにスイッチを設定してください。

工場出荷時ボード番号は1と2に設定されています。

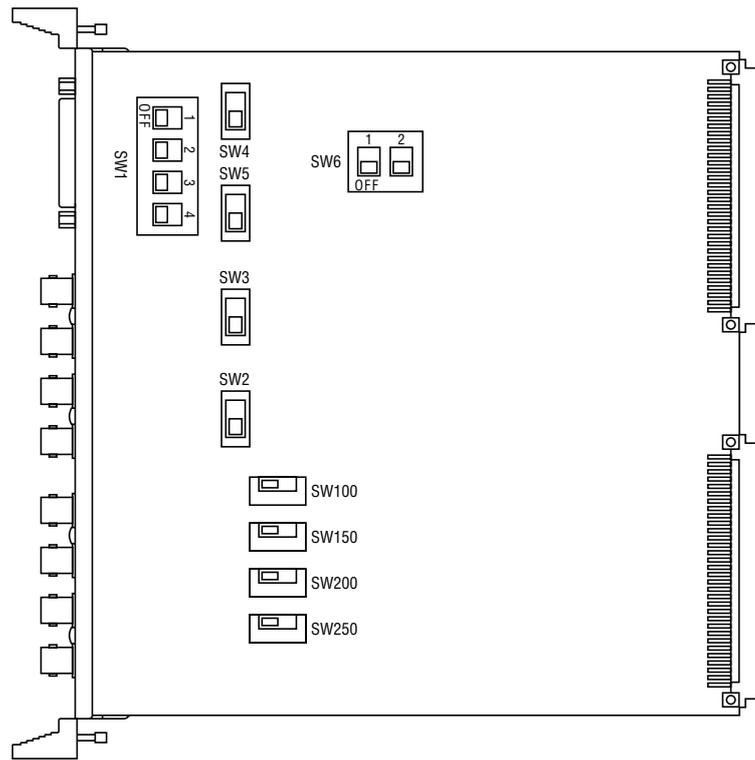
重要

- 本機に標準で実装されているビデオ入力ボードは、他のマトリクススイッチャーシステム（WJ-SX550Aシステムなど）では使用できません。
- ビデオ入力ボード（オプション）を追加する場合、ボード番号は次のように設定してください。
 オプションボード1枚目：ボード番号3
 オプションボード2枚目：ボード番号4
 オプションボード3枚目：ボード番号5
 オプションボード4枚目：ボード番号6
 オプションボード5枚目：ボード番号7
 オプションボード6枚目：ボード番号8

ボード番号	CAMERA IN番号	SW1 設定
1	1-8	
2	9-16	
3	17-24	
4	25-32	
5	33-40	
6	41-48	
7	49-56	
8	57-64	

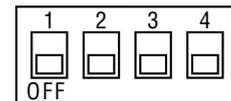
■：オプションのビデオ入力ボードを追加するとき

ビデオ出力ボードのスイッチ設定



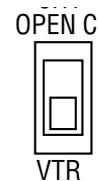
●SW1の設定

ボード番号設定用スイッチです。すべてOFFにしてください。



●SW2、SW3、SW4、SW5の設定

このスイッチで、4チャンネル分のアラームリセット出力信号の形式を設定します（オープンコレクタ「OPEN C」、+5 Vパルス「VTR」のいずれか）。工場出荷時は「VTR」に設定されています。



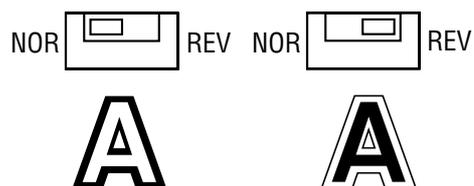
重要

スイッチ番号とチャンネル番号は対応していません。また、ボード上の配置が順不同ですのでご注意ください。

- SW2：リセット出力1
- SW3：リセット出力2
- SW4：リセット出力3
- SW5：リセット出力4

●SW100、SW150、SW200、SW250の設定

このスイッチで、モニター上に表示する文字形式を白文字黒縁「NOR」か黒文字白縁「REV」かを設定します。工場出荷時の設定は「NOR」になっています。各スイッチとモニター番号の関係は表のとおりです。



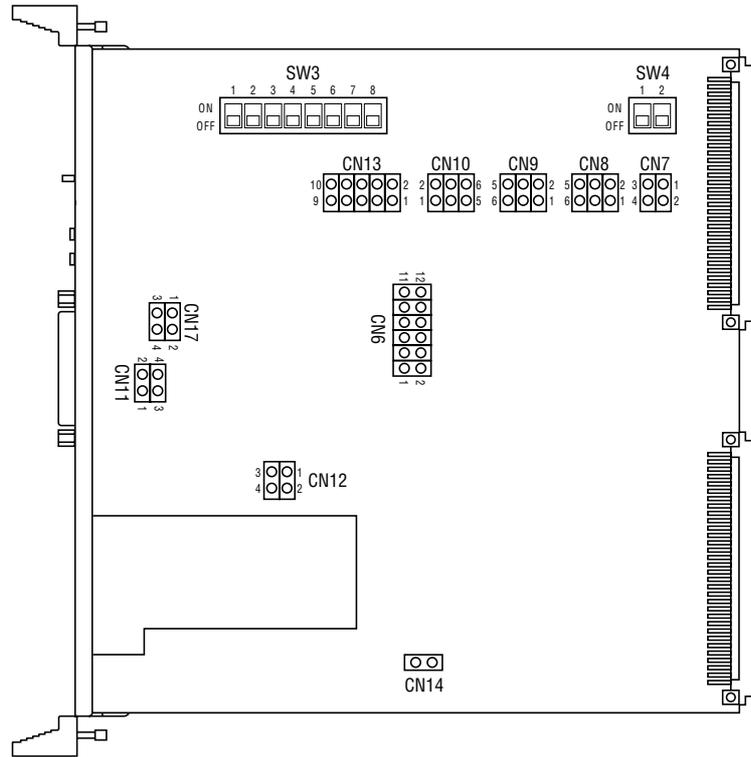
スイッチ	モニター番号
SW100	モニター1
SW150	モニター2
SW200	モニター3
SW250	モニター4

●SW6の設定

このスイッチは工場調整用です。全ビット「OFF」（工場出荷状態）にしてください。

センサーボードのスイッチ設定

センサーボードのスイッチおよびジャンパーコネクタはすべて工場調整用です。操作しないでください。



●SW3、SW4

回路番号	機能	工場出荷時
SW3	テスト用	すべてOFF
SW4	ボードアドレス 設定用	すべてOFF

●ジャンパーコネクタ

回路番号	機能
CN6	オートベクター割り込みON/OFF
CN7	タイマー割り込み間隔切り換え
CN8	SRAMウェイト切り換え
CN9	ROMウェイト切り換え
CN10	周辺I/Oウェイト切り換え
CN11	RXC (SIO1) INT/EXT切り換え
CN12	TXC (SIO1) INT/EXT切り換え
CN13	PCカードウェイト切り換え
CN14	PCカードUPPER/LOWER切り換え
CN17	CTS (SIO1) LOW/SIG切り換え

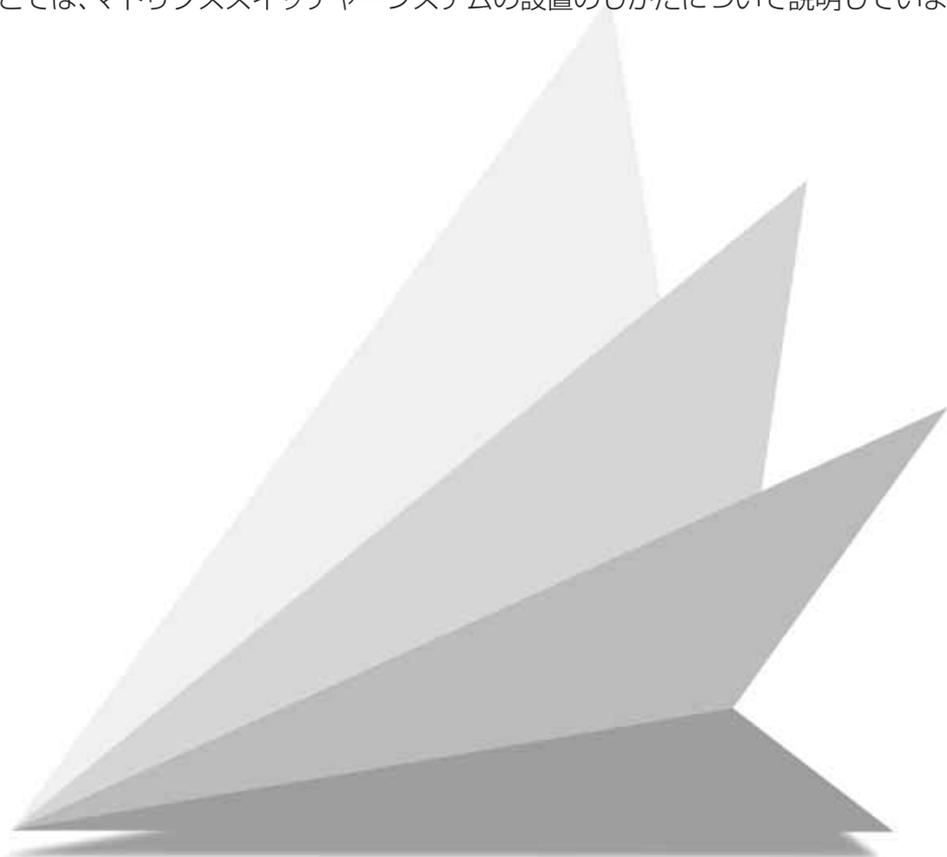
Chapter 2

設置のしかた

警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因になります。
- 安全のため、「安全上のご注意」(xiiページ～xiiiページ)に記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

ここでは、マトリクススイッチャーシステムの設置のしかたについて説明しています。



設置上のお願い

- ラックに取り付ける場合、別売りのラック取り付け金具（WV-Q62）をご使用ください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所に設置するときは本機の後部を補強アングル（現地制作）などでラックに固定してください。
- WV-Q62付属のタッピングねじ（呼び径5×12）は、ラックの取付部にねじが切れていない場合に使用してください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山が壊れることがあります。

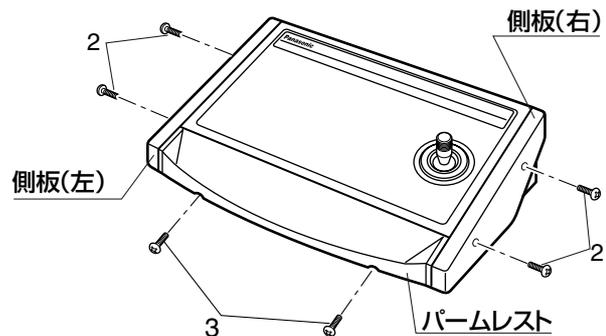
●ラック取り付けねじについて

- 当社製品のラックをご使用になる場合は、ラックマウント金具（WV-Q62）に付属されているねじをご使用ください。
- 他社製品のラックをご使用になる場合は、別売のラック取り付けねじ（W2-MSS/5008またはM5×12）4本が必要となります。

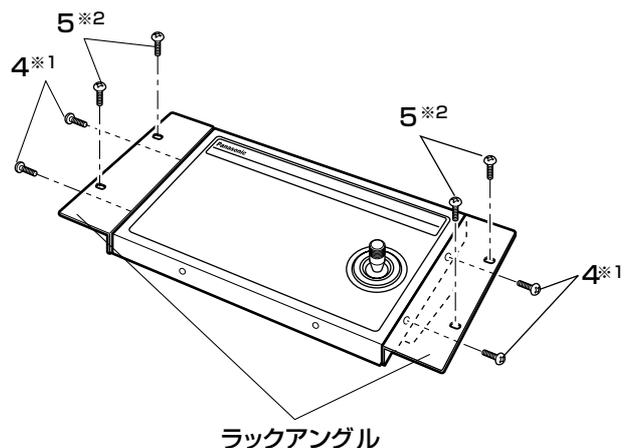
システムコントローラーのラックの組み込み

システムコントローラーの側板とパームレストを外してラックマウント金具を取り付けます。その後、ラックに取り付けます。

- ①コントローラーの電源プラグをコンセントから外します。
- ②ねじ各2本を外し、左右の側板を外します。
- ③ねじ2本を外し、パームレストを外します。



- ④ねじ4本 (WV-Q62付属) で左右両側にラックマウント金具を取り付けます。ねじがゆるまないよう、しっかりと締め付けてください。
- ⑤システムコントローラーをWV-Q62付属の取り付けねじ4本でラックに取り付けます。



- ※1：WV-Q62に付属されているねじを使用してください。
※2：取り付けるラックによって、使用するねじが異なります。
当社ラック使用時：タッピング呼び径5 (WV-Q62付属)
他社ラック使用時：別売のラック取り付けねじ
(W2-MSS/5008 (別売品) または M5×12)

重要

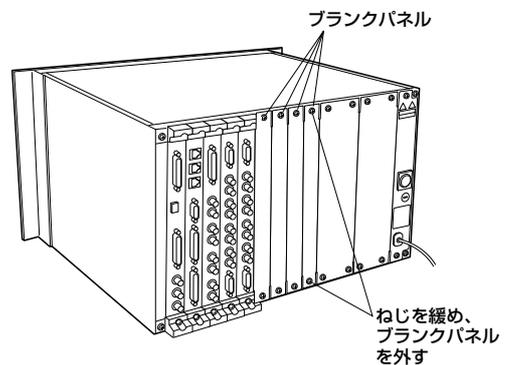
- システムコントローラーの電源コードをコンセントから抜いてから作業してください。
- 取り外したねじは後で使用します。紛失しないでください。
- 日本語表示パネル (システムコントローラー付属) を使用するときは、両面テープなどで固定してください。

ボードの組み込み

お願い

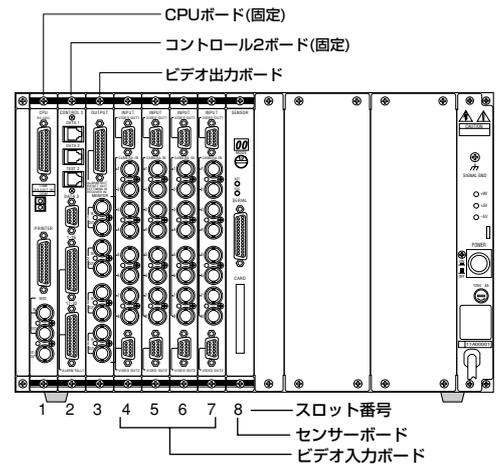
- ボードを組み込むときは、マトリクススイッチャー背面の電源スイッチを必ずOFFにしてください。
- 人体の静電気
ボードを扱う前に、マトリクススイッチャーの金属ケース部に手で触れて、人体の静電気を「放電」させてください。
静電防止の「リストストラップ」(手首の輪)を装着すればより完全です。
- ボードの置場所
使用しないボードは「静電マット」の上に置いてください。また、ボードの金属部を他のボードの金属部に接触させないでください。
- ボードのコネクターピン
コネクターピンには手を触れないでください。
また挿入のときピンを曲げないでください。
- これらの注意事項は、該当する、設置工事、調節の全過程で守ってください。

- ①背面のねじを緩めて、ブランクパネル(1スロット用)を外します。
- ②各ボードの位置は図のようにしてください。スロット6～スロット11には増設したビデオ入力ボードWV-PB5508を、スロット12にはセンサーボードWV-PB7700を配置してください。

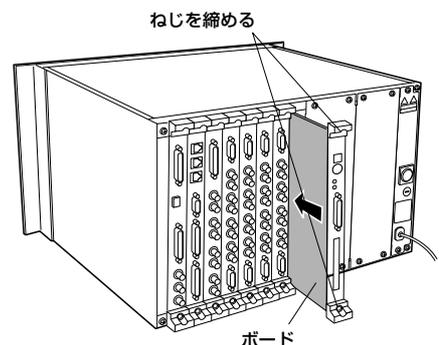


メモ

スロット1 (CPUボード)、スロット2 (コントロール2ボード) の位置は固定です。
他のボードは、どこに挿入しても問題ありませんが、工事や保守の容易さから図のようにされることをお勧めします。



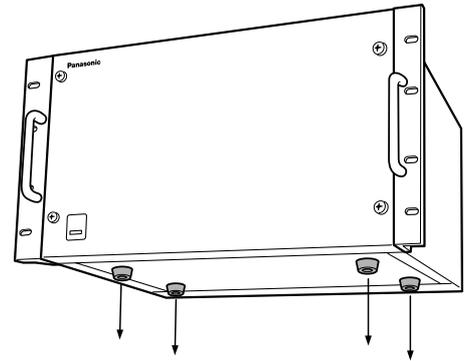
- ③ボードを奥までしっかりと挿入します。
- ④ボードの上下を2本のねじをしっかりと締め、枠に固定します。
- ⑤ボードが入っていない部分にブランクパネルを取付けます。



マトリクススイッチャーのラック組み込み

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

②底面のゴム足を固定しているねじ4本を外して、ゴム足を取り外します。

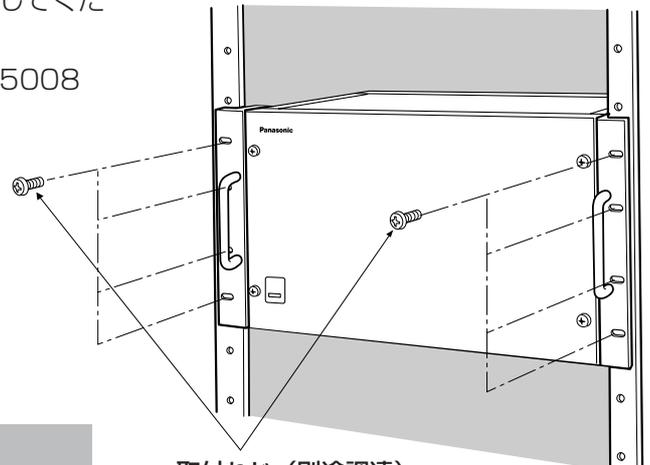


ゴム足をははず

③本機をラックにラック取り付けねじ（別途調達）8本で取り付けます。次の別売工事部品を別途調達してください。

- ラック取付ねじ（W2-MSS/5008 20個入り）

EIA19型ラック



取付ねじ（別途調達）
W2-MSS/5008

重要

- 振動が多い場所に設置するときは本機の後部を補強アングルなど（現地製作）でラックに固定して使用してください。
- 取付ねじはゆるまないようにしっかりと締め付けてください。
- ラック内の温度が+45℃以上にならないように他の機器と充分に間を（1U以上）空けて取り付けてください。またはファンを取り付けてください。

※取り付けるラックによって、使用するねじが異なります。

当社ラック使用時：タッピング呼び径
（WV-Q62付属）

他社ラック使用時：別売りのラック取り付けねじ（W2-MSS/5008（別売品）またはM5×12）

Chapter 3

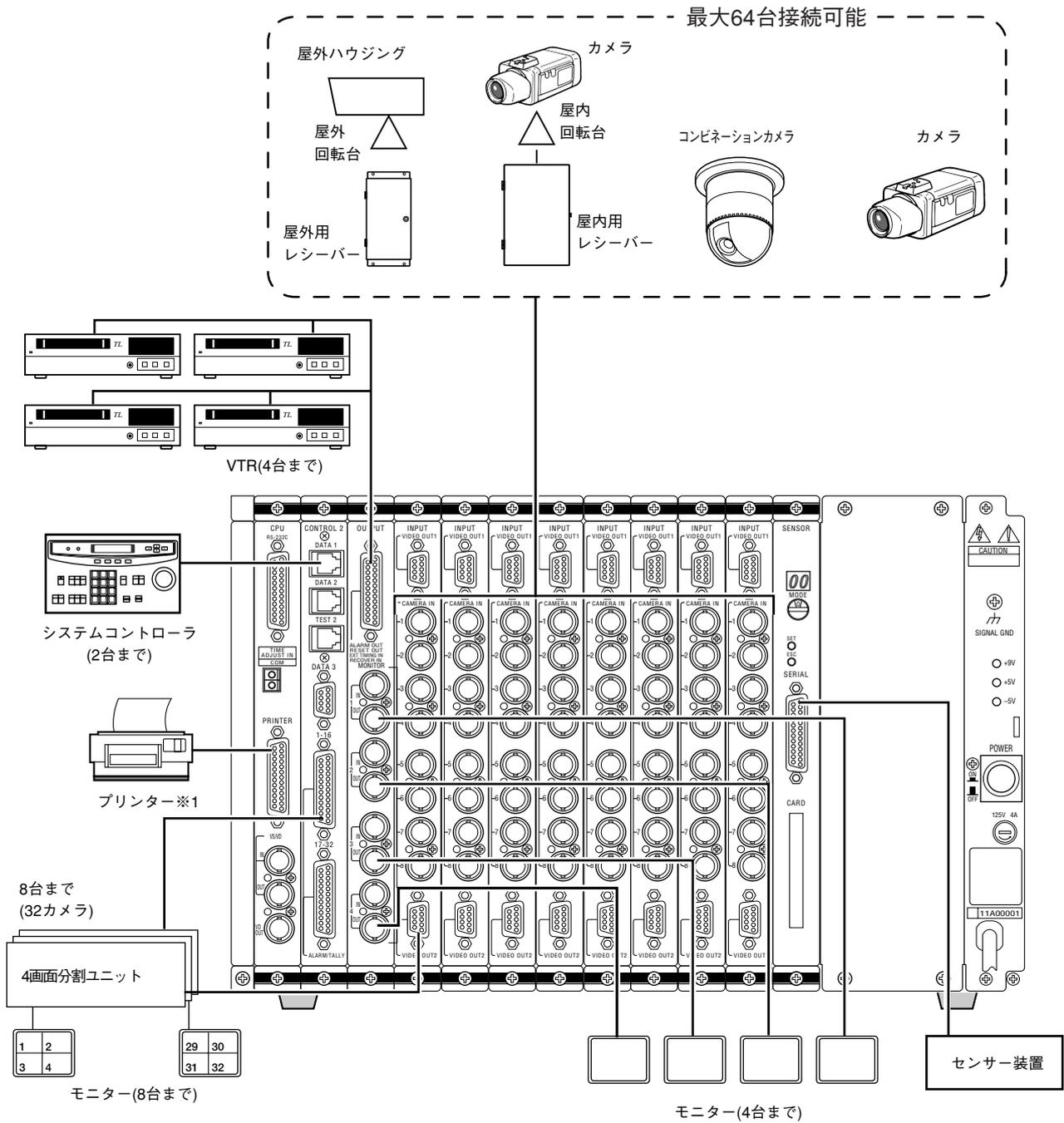
接続のしかた

接続のしかた



システム接続例

各コネクターのピンの詳細については「付録 ボードの詳細」をお読みください。



※1. 使用できるプリンターはパナソニック漢字プリンター15CV-VPR457です。

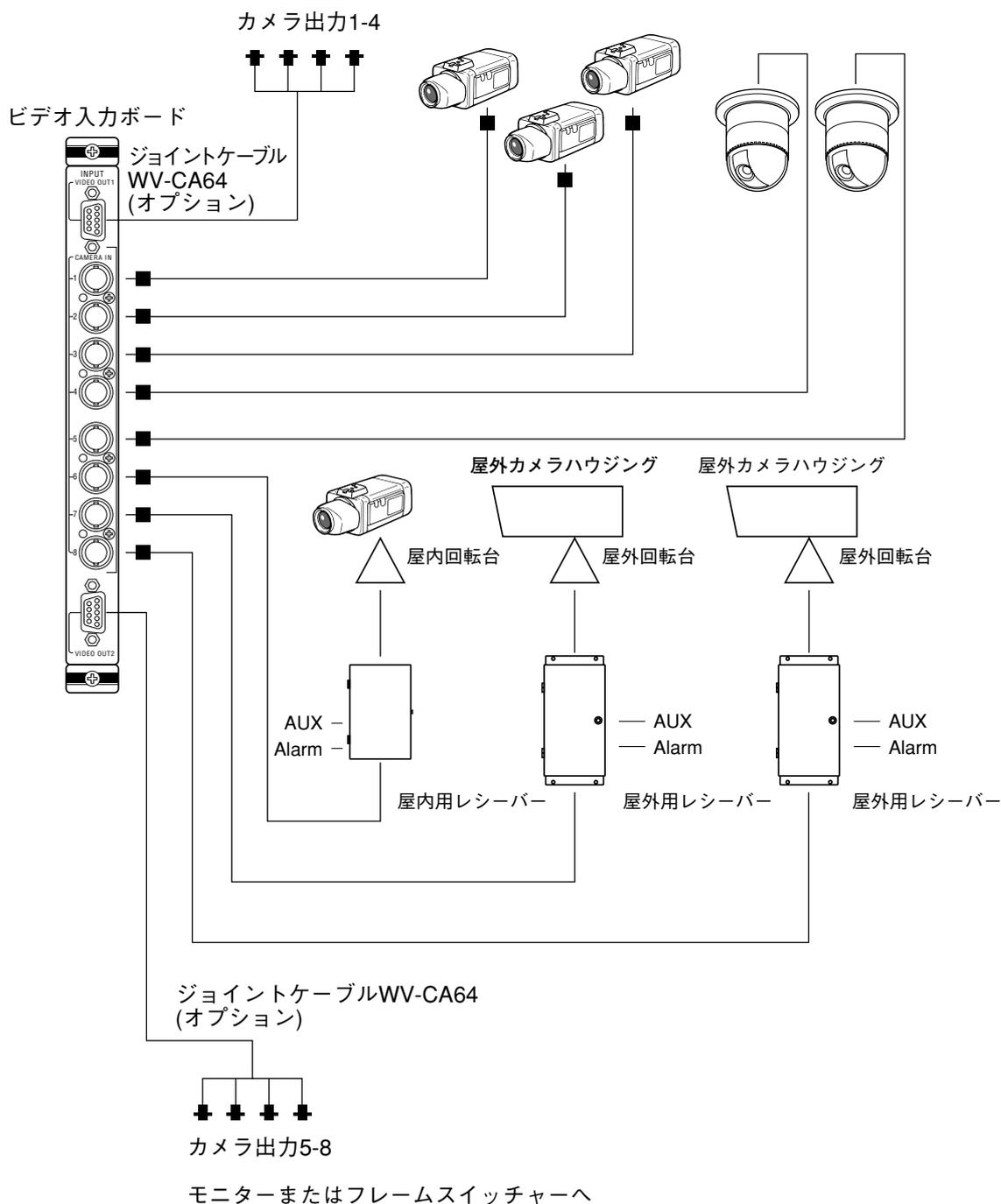
カメラの接続

カメラ側からのケーブルをビデオ入力ボードのコネクタに接続します。

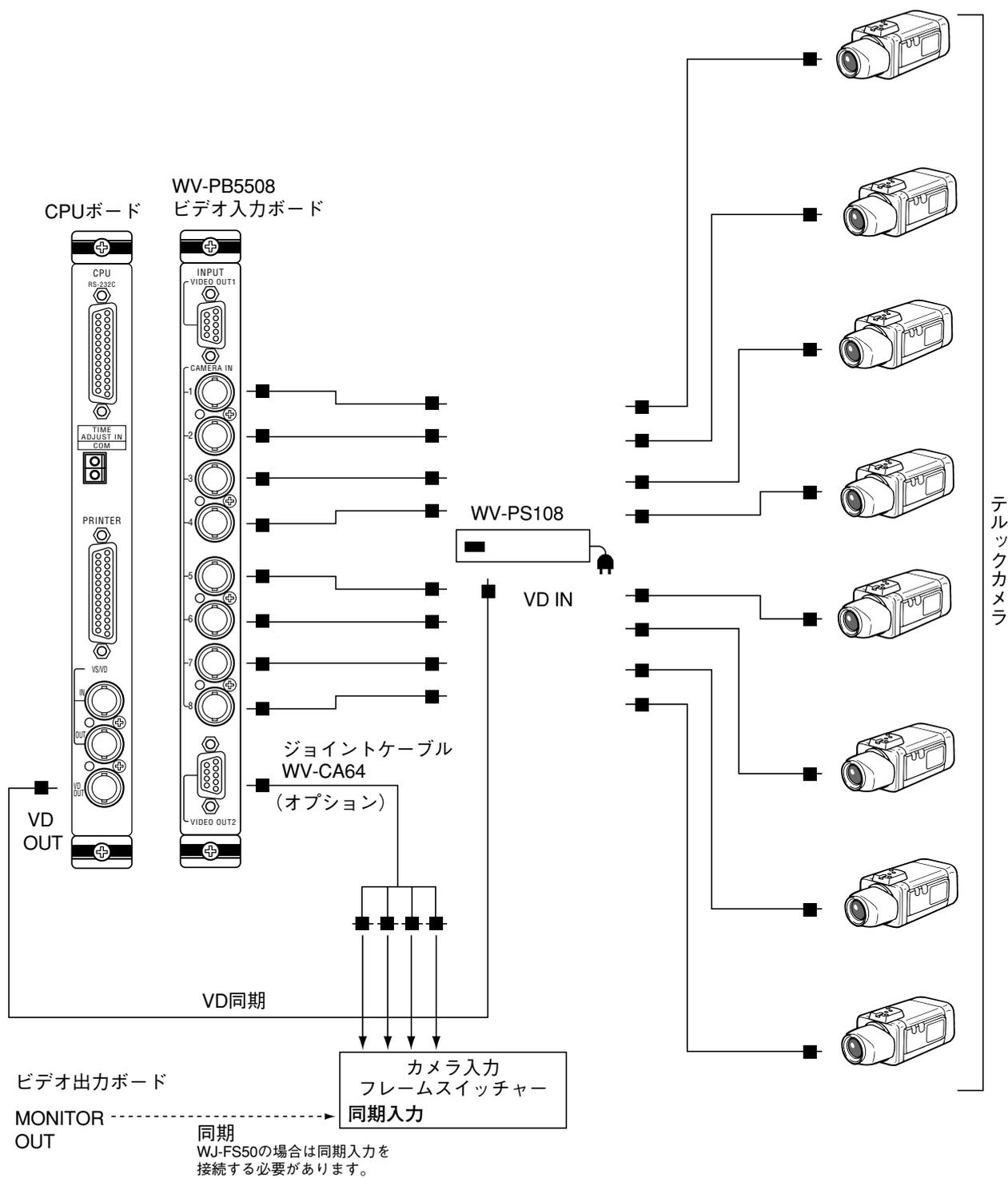
重要

- カメラ側とマトリクススイッチャーをつなぐケーブル長さは、5C-2Vのとき1200 m以下にしてください。
- マトリクススイッチャーとテルック電源ユニット間は、VD同期が必要です。

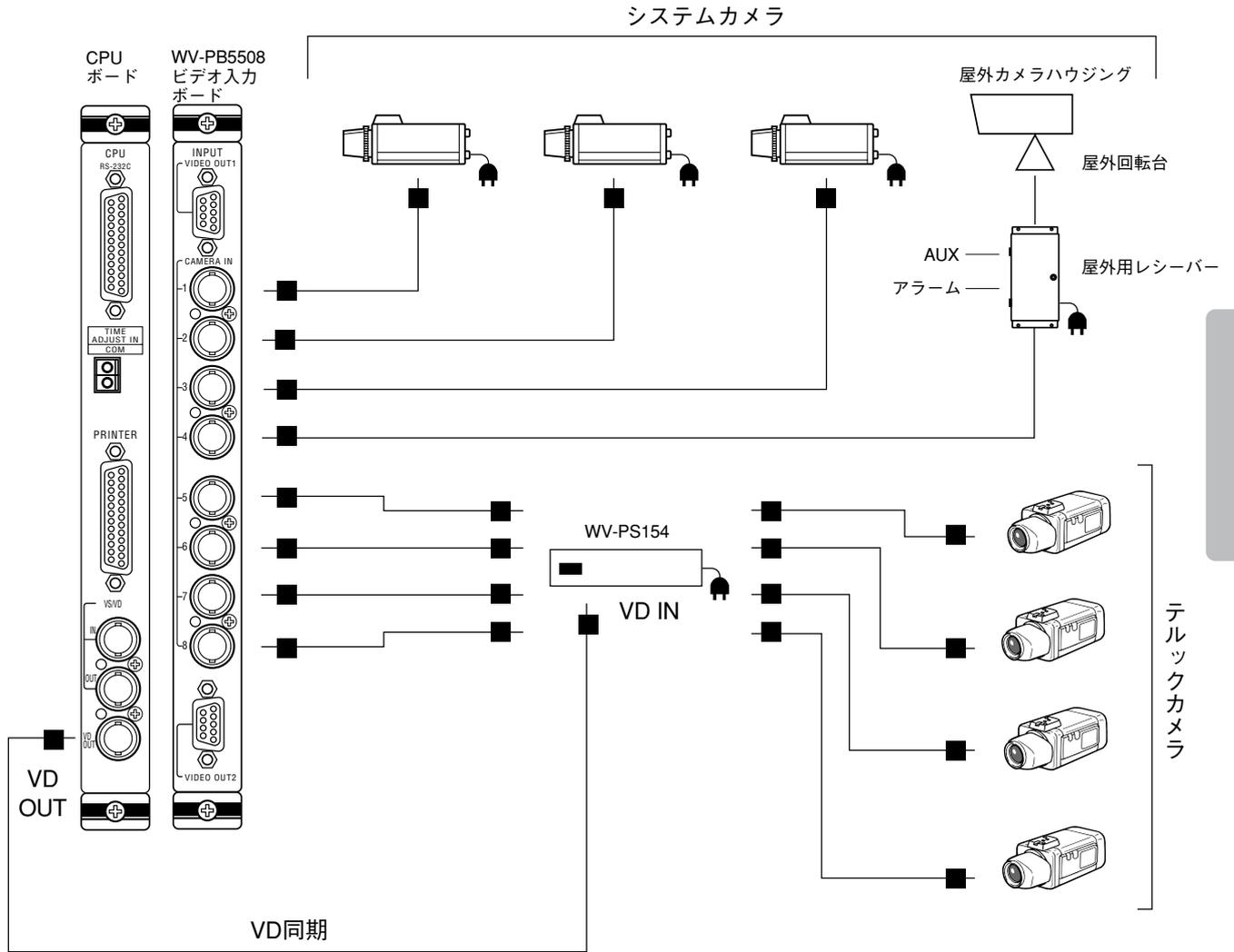
●コンビネーションカメラとレシーバーを接続するシステム例



●テルックカメラのみ接続するシステム例



●テルックカメラとシステムカメラを混在させるシステム例

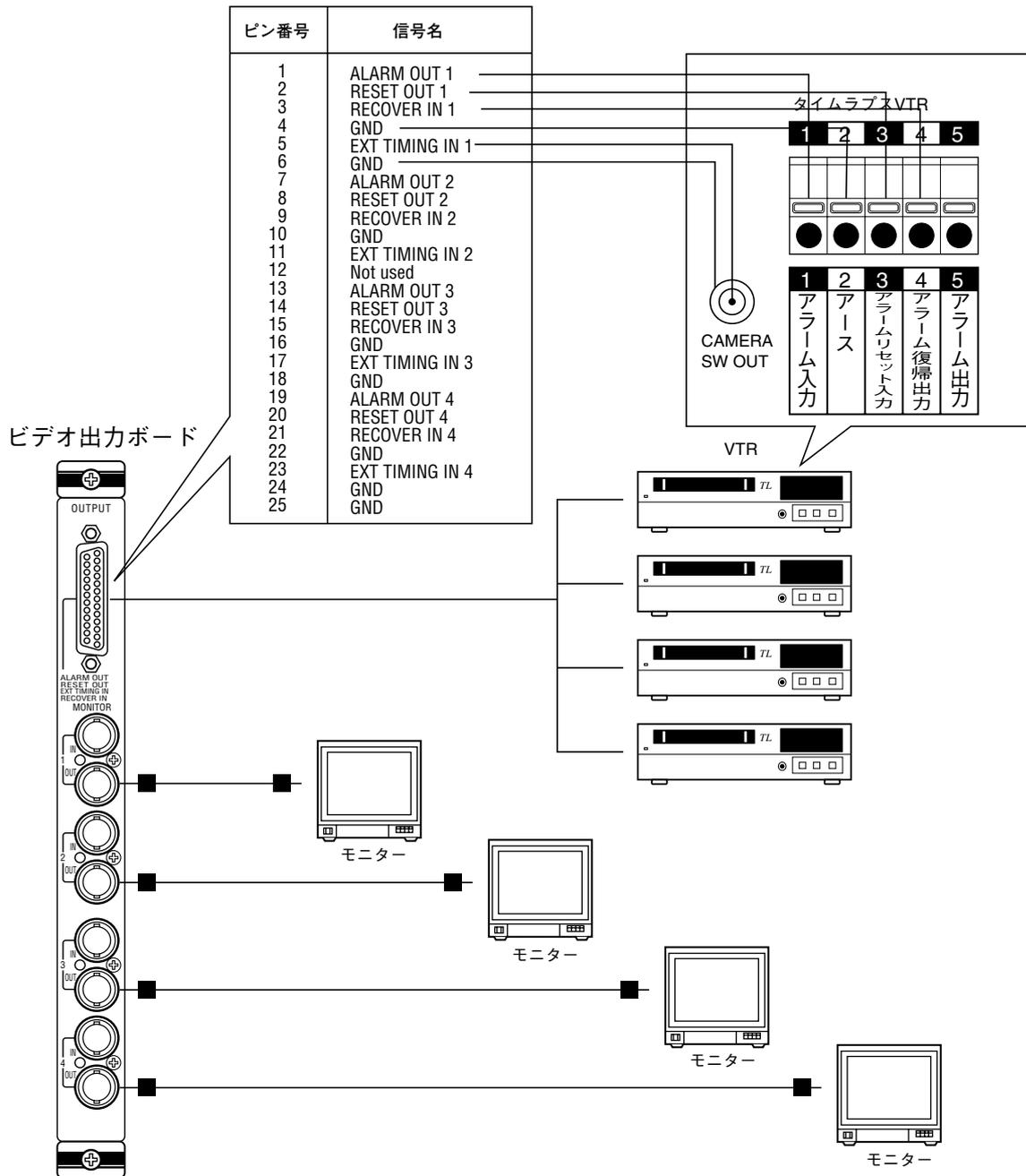


接続のしかた

テルックカメラ

モニターおよびタイムラプスVTRの接続

モニターとビデオ出力ボードのコネクターを接続します。



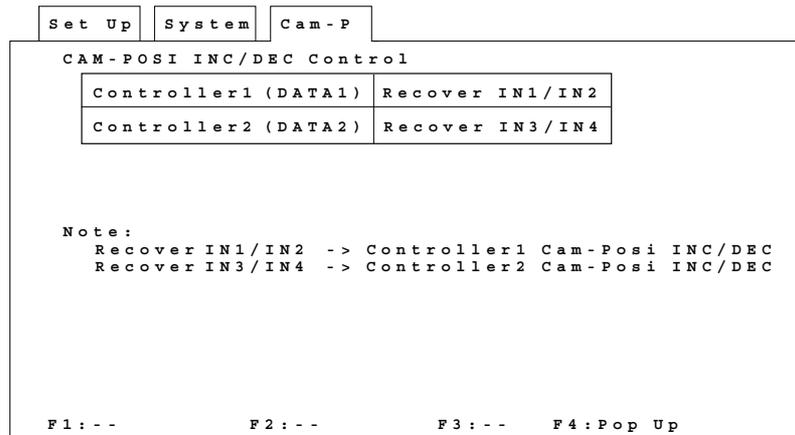
重要

セットアップ画面の映像信号はチラツキを抑えるため、ノンインターレス信号になっています。そのため、ビデオ出力ボードのMONITOR OUTを4画面分割ユニットやVTRに通すと文字が見えなくなったり、文字が上下に振動することがあります。

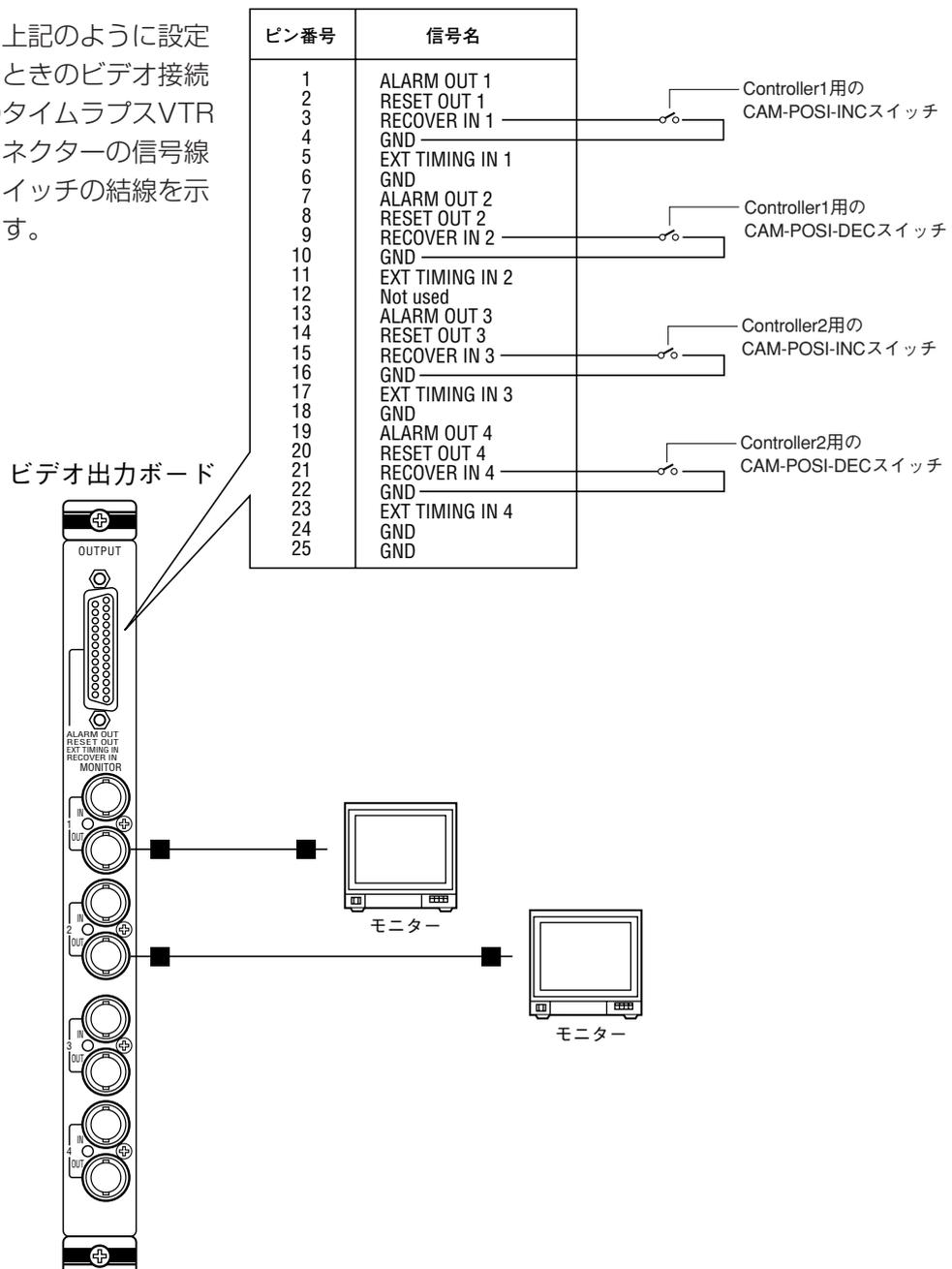
メモ

- タイムラプスVTRの映像出力を、ビデオ出力ボードのMONITOR INに接続すると、タイムラプスVTRの出力映像をモニターに表示することができます。詳しくは、50ページをお読みください。
- 25ピンコネクターの配線処理方法は本章の「■コネクターの組み立てかた」をお読みください。

カメラポジション番号操作の外部スイッチ（現地調達）の接続



右図は、上記のように設定しているときのビデオ接続ボードのタイムラプスVTR接続用コネクタの信号線と外部スイッチの結線を示しています。



システムコントローラーの接続

お願い

●ケーブルについて

データ伝送中にノイズが入ると、希望した操作ができないことがあります。ケーブルは、システムコントローラー付属のモジュラーケーブル（6芯、3m）を使用してください。システムコントローラーに付属のモジュラーケーブルを使用しないとき、または延長するときは、データ伝送用のRS-485相当（2×ツイストペア/シールド）ケーブルを現地調達してください。（181ページ）

●システムコントローラーの台数について

コントロールボードに接続できるシステムコントローラーの台数は2台までです。

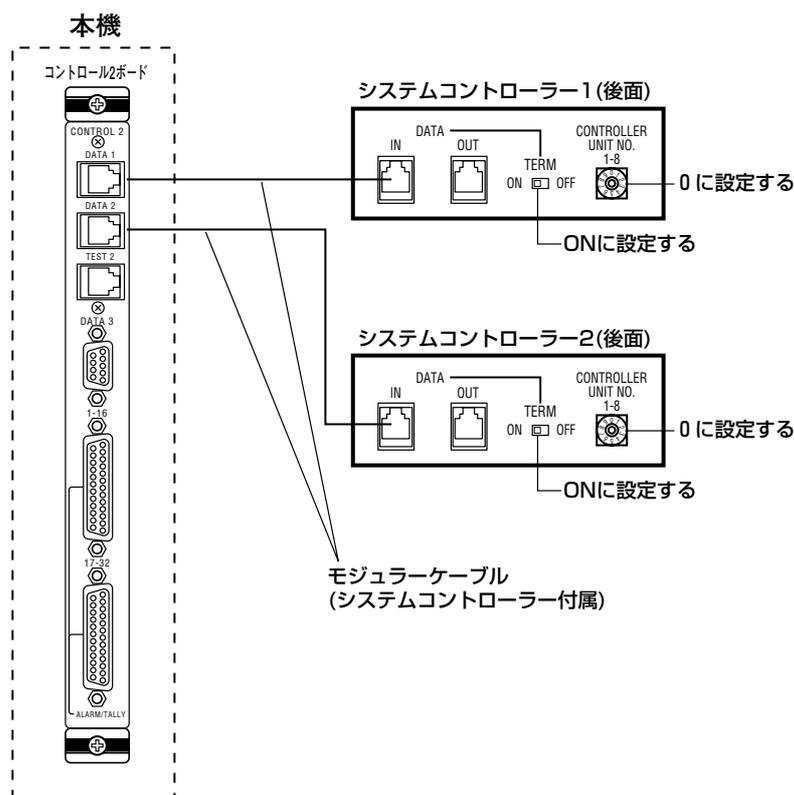
モードスイッチの設定

- すべてのシステムコントローラー後面にあるモードスイッチ [MODE] を右図のように設定してください。
- 下図のようにコントロールボードとシステムコントローラーを1対1で接続します。
- コントロールボードの [DATA1]、[DATA2] コネクタとシステムコントローラー背面の [DATA IN] コネクタをケーブルで接続します。
- すべてのシステムコントローラーの終端スイッチ (TERM) をONにします。
- システムコントローラーのユニット番号は、「0」に設定してください。



重要

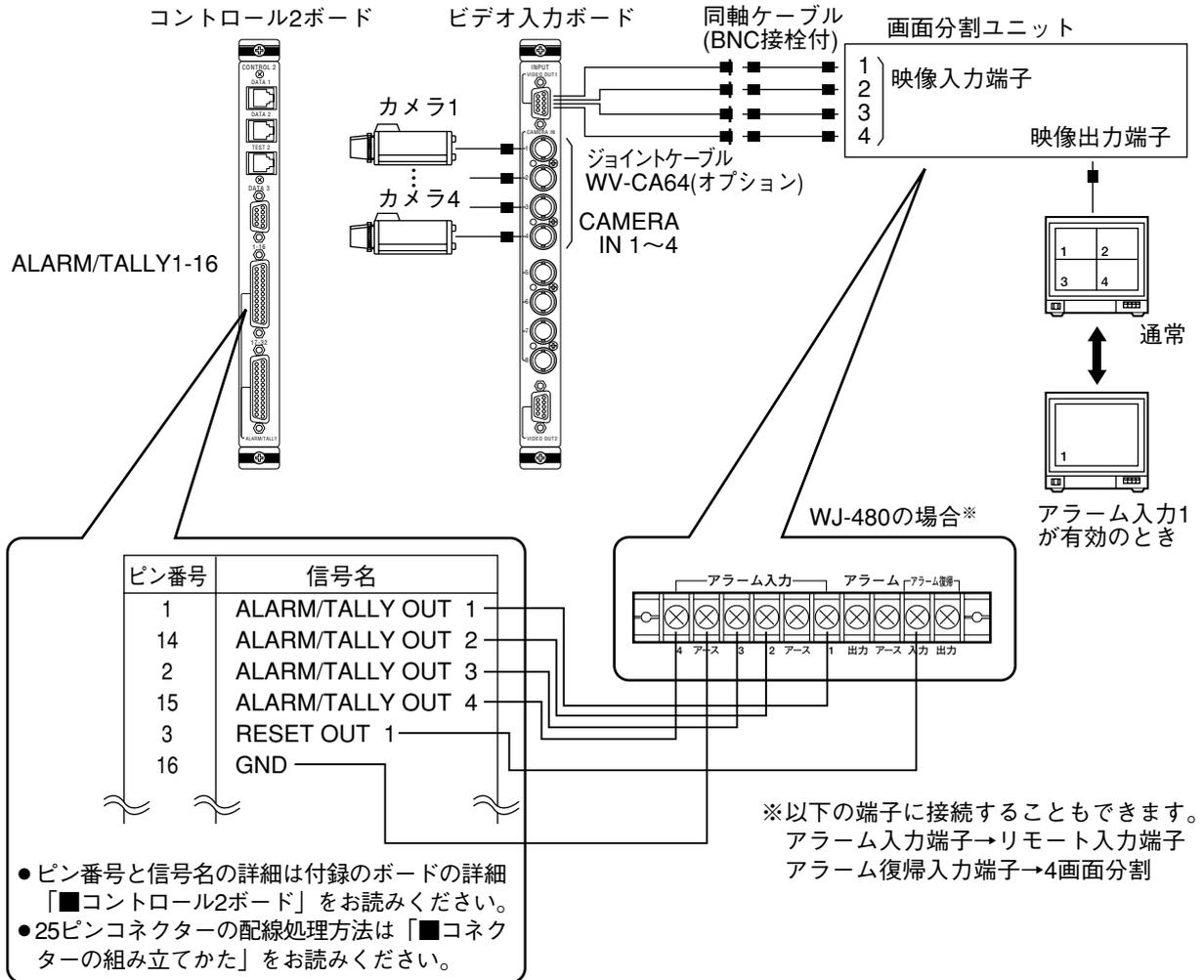
システムコントローラーのモード、ユニット番号は、システムコントローラーの電源をONにしたときに確定します。電源をOFFにして設定した後、電源をONにしてください。



画面分割ユニットの接続（4画面分割）

ビデオ入力ボードのVIDEO OUT（9ピンD-sub）からカメラのスルー画像を取り出して4画面表示することができます。

さらに、コントロール2ボードのSW2を「M1」（モニター1モード）に設定し（158ページ）、アラーム/タリー出力コネクタと接続すれば、スイッチャーの動作に連動して4画面分割ユニットを制御することができます。

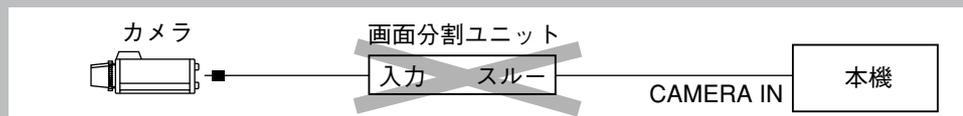


接続のしかた

上記の接続例では、カメラ1が選択（またはアラームによる選択）されると、コントロール2ボードからアラーム/タリー信号（ALARM/TALLY OUT1）が出力され、画面分割ユニットの出力が、カメラ1の1画面表示に切り換わります。

重要

- コントロール2ボードのSW2を「ALL」（全モニターモード）に設定すると、画面分割ユニットの画面切替がスイッチャーの動作に連動しない状態が生じます。
- 本機のCAMERA IN端子は回転台等をコントロールするために特殊な回路構成になっています。したがって下図のようにカメラと本機の間画面分割ユニットを挿入しないでください。（WV-CA64ケーブルを使って画面分割ユニットへ映像を分配してください。）



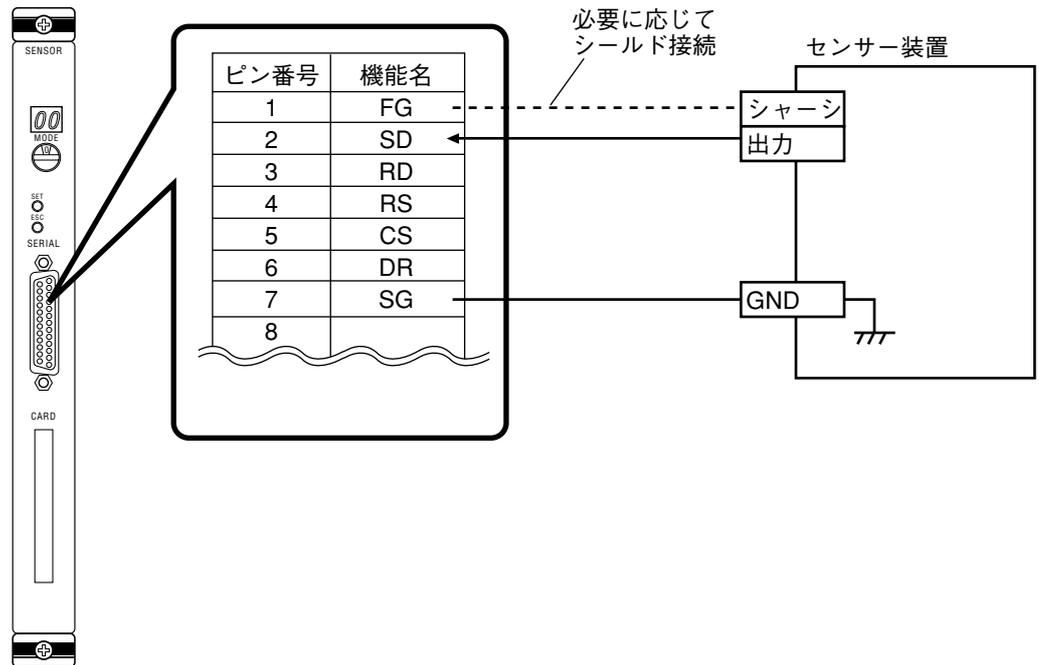
センサーとの接続

オプションのセンサーボード (WV-PB7700) の25P入力コネクターの接続は図のように行ってください。

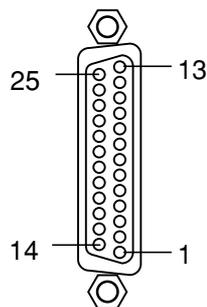
ピン番号と機能の割り当ては下表のとおりです。

アラーム接続例

センサーボード (WV-PB7700)



ピン番号と機能の割り当て



ピン番号	信号名	備考	ピン番号	信号名	備考
1	FG	フレームグランド	14	テスト1	テスト用、接続不可
2	SD	外部装置→本ボード	15	ST2	外部装置←本ボード
3	RD	同上←同上	16	テスト2	テスト用、接続不可
4	RS	同上→同上	17	RT	外部装置←本ボード
5	CS	同上←同上	18		未接続
6	DR	同上←同上	19		未接続
7	SG	信号グランド	20	ER	外部装置→本ボード
8	CD	ON固定	21		未接続
9		未接続	22		未接続
10		未接続	23		未接続
11		未接続	24	ST1	外部装置→本ボード
12		未接続	25		未接続
13		未接続			

メモ

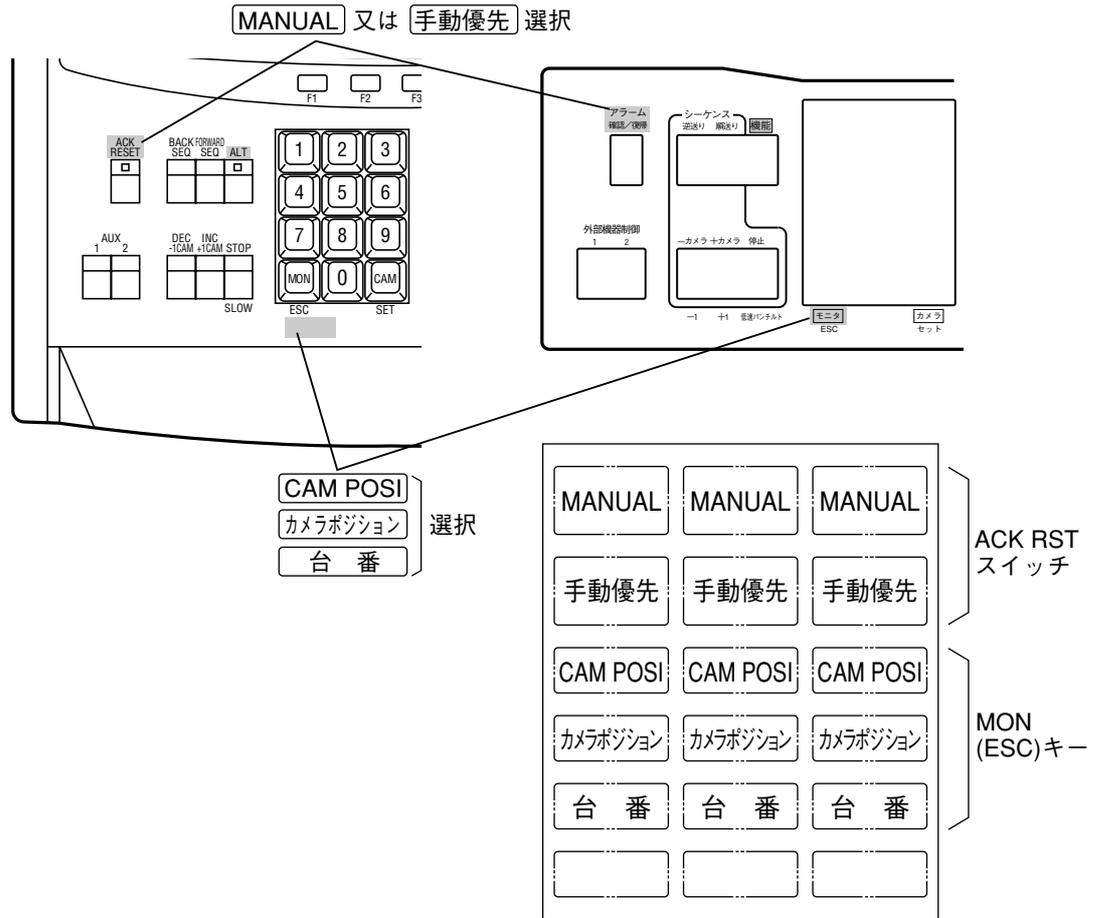
25ピンコネクタは、別途調達してください。配線処理方法は「**■**コネクタの組み立てかた」をお読みください。

シールのはり付け位置

本機に付属されているシールを必要に応じてシステムコントローラー操作部または日本語表示パネルにはり付けてください。

●システムコントローラー

●日本語表示パネル



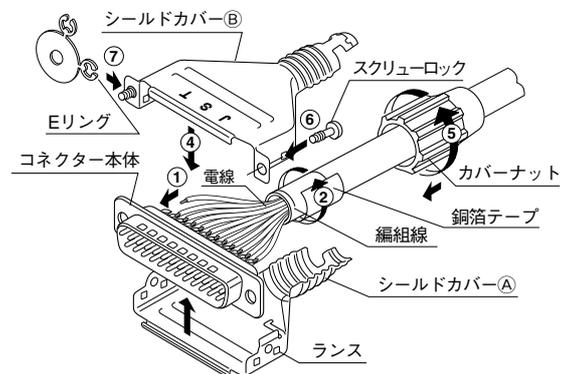
接続のしかた

コネクタの組み立てかた

●組立手順

- ①コネクタ本体と電線をはんだ付けする。
- ②シールド編組線を外被に沿って折り返しその上に銅箔テープ（現地調達）を巻く。
- ③コネクタ本体をシールドカバーAに収納。
- ④シールドカバーBをシールドカバーAに沿って合せ、カバーのランスが掛かるまで押し込む。
- ⑤カバーナットを最後まで締めつける。
- ⑥スクリューロックを取り付ける。
- ⑦Eリングをセットする。

●25ピンの例



付 録

ここでは、マトリクススイッチャーシステムを構成する各機器の仕様や各種ボードの詳細について説明しています。

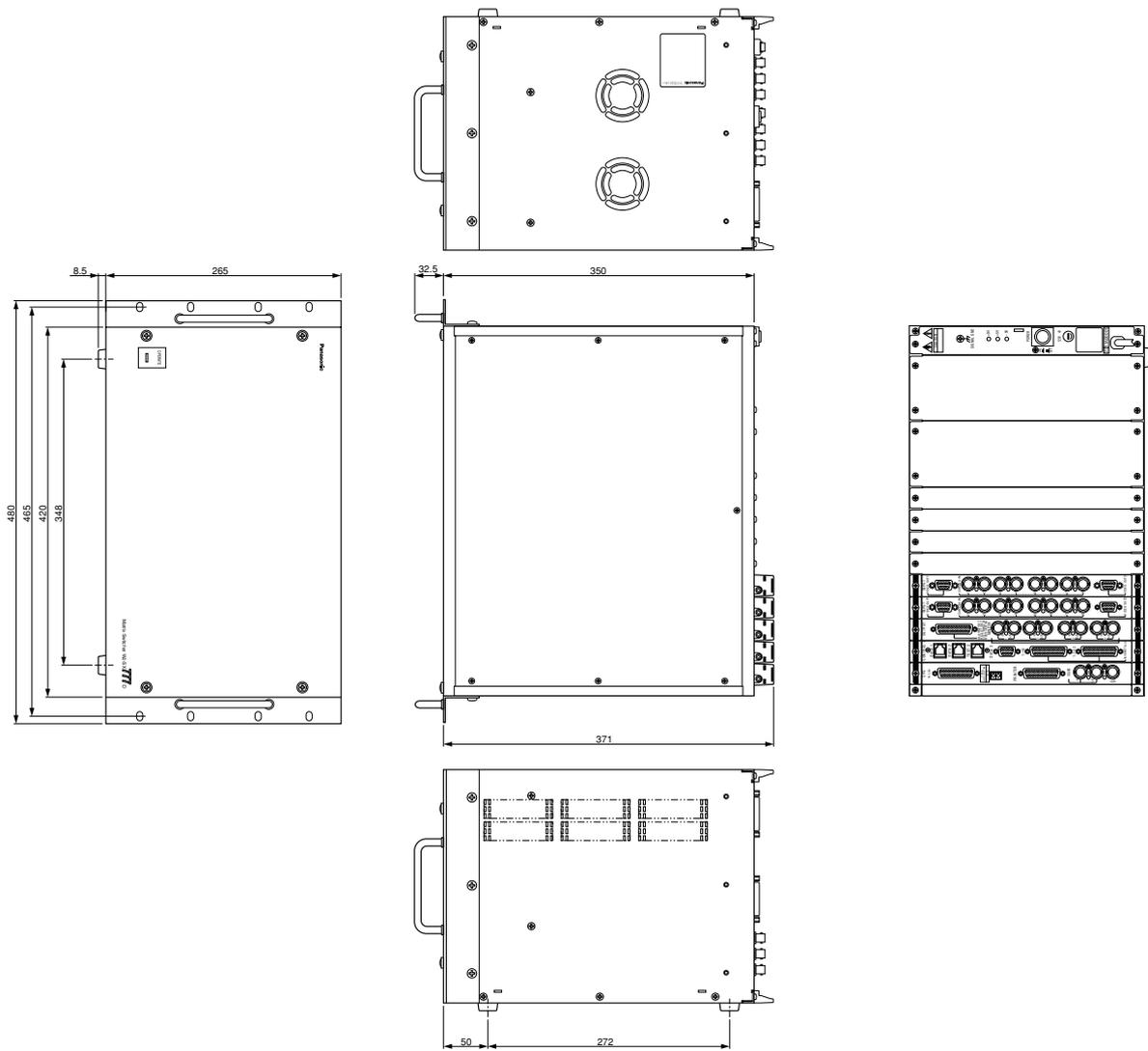
付録 1
仕

様



マトリクススイッチャー (WJ-SX777D)

外観図



仕様

• 共通項目

電 源	: AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消 費 電 力	: 60 W (指定ボード組み込み時最大)
ビデオ入力ボード数	: 最大8枚…標準装備2枚 (合計64入力、8入力/ボード)
ビデオ出力ボード数	: 最大1枚 (合計4出力、4出力/ボード)
センサーボード数	: 最大1枚…標準装備なし
システムコントローラ	
インターフェース数	: 2ポート (合計2台、1台/ポート)
使用温度範囲	: -10℃*~+50℃ (※常時通電状態でお使いになる場合)
使用湿度範囲	: 90%未満
寸 法	: 幅480 mm 高さ265 mm 奥行き371 mm
質 量	: 約14.5 kg
仕 上 げ	: 前面パネル…AVアイボリーエリオ 鋼板 : 上カバー……AVアイボリーエリオ 鋼板 : 側面カバー…AVアイボリー焼付塗 装

• カメラ切り換え

表示時間設定: 最小1秒~最大30秒、1秒単位
最大シーケンス数: ツアーシーケンス16 (任意モニター)

• ツアーシーケンスプログラミング

ステップ数: 最大64

• タイマーイベントプログラム

イベント数: 最大15イベント/日
イベントプログラム形式: 曜日+指定の5特定日
特定日の設定数: 最大48日

• アラームプログラム

アラーム入力: センサーボード
(WV-PB7700オプション)
起動履歴呼出: 最大999
(最新のものより999番目まで)
アラーム起動: 3種類
(モードA、モードB、モードC)

付属品

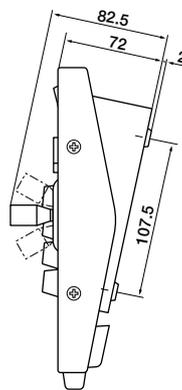
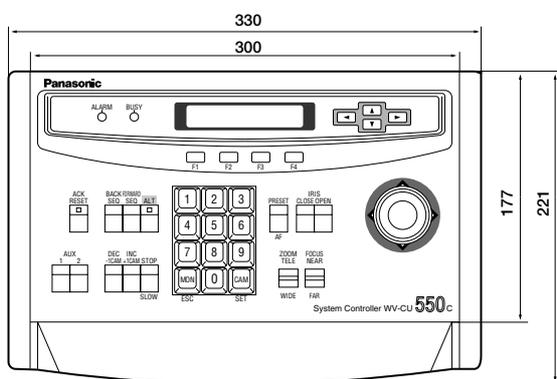
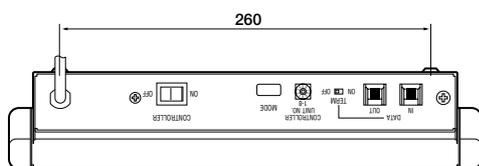
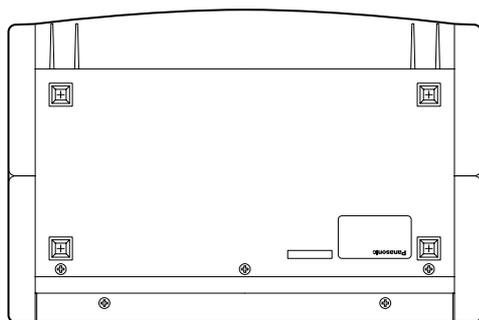
取扱説明書 (本書)	1冊
保証書	1枚

以下の付属品は取付工事に使用します。

コネクタ (25ピン/ビデオ出力ボード用)	1個
コネクタ (25ピン/コントロール2ボード用)	2個
システムコントローラー用シール	1枚

システムコントローラー (WV-CU550C)

外観図



仕様

電源	源：AC100 V 50/60 Hz
消費電力	：約4 W
データ入出力	：RS-485（4線）
ユニット番号	：0～8（ただし、パネル表示は1～8）
使用温度範囲	：-10℃～+50℃
使用湿度範囲	：90%未満
寸法	法：幅330 mm 高さ74 mm 奥行き221 mm
質量	量：約2.2 kg
仕上げ	げ：前面パネル AVアイボリー焼き付け塗装 （マンセルN7.9Y6.8/0.8近似色） 底面カバー AVアイボリー焼き付け塗装 （マンセルN7.9Y6.8/0.8近似色）

リモートコントロール部

• システム操作

カメラ選択	：テンキー指定
モニター選択	：テンキー指定
シーケンス動作	：シーケンスの開始、停止、順送り、逆送り、+カメラ、-カメラ
アラーム	：確認/復帰（本機に接続時手動優先）
文字タイトル	：入/切
操作形態	：通常操作/セットアップ操作

• カメラ（該当機種のみ）

電子シャッター	：入/切、シャッター速度設定
電子感度アップモード選択	：AUTO/MANUAL/OFF
電子ズーム	：入/切
電子ズームアップ場所	：領域設定
逆光補正	：AUTO/PRESET/OFF
絞り	：開/閉/プリセット （直流電動ズームレンズのみ）

• レンズ（該当機種のみ）

焦点	：遠/近
ズーム	：望遠/広角
オートフォーカス	：起動

•ハウジング（該当機種のみ）

ワイパー	：入/切
デフロスター	：入/切
カメラ	：入/切

• 回転台制御（該当機種のみ）

PAN手動	：左/右
TILT手動	：上/下
PAN自動	：入/切
PANランダム	：入/切
プリセット制御	：可能

• 外部機器制御

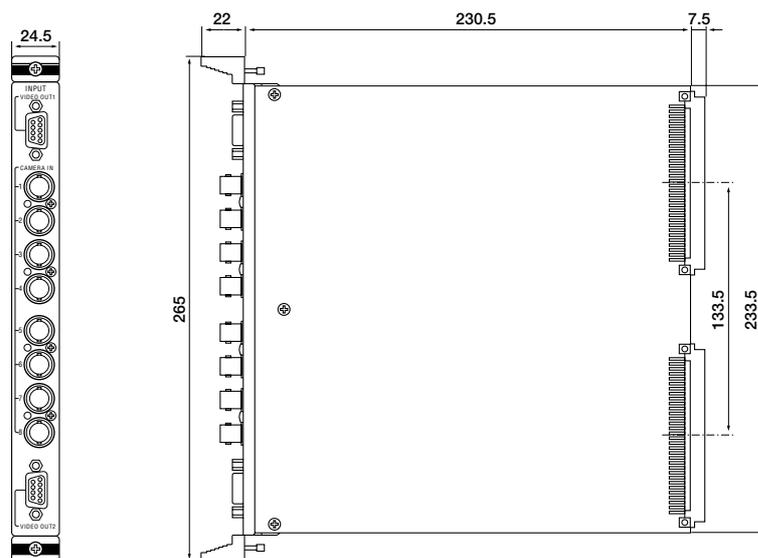
AUX1-2	：入/切
--------	------

付属品

取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1枚
日本語表示パネル	1個
モジュラーケーブル（3 m）	1本

ビデオ入力ボード (WV-PB5508)

外観図



仕様

カメラ入力 (1-8) : 1.0 V [P-P] /75 Ωコンポジット信号、0.5 V [P-P] /75 Ωデータ (重畳)、2.5 V [P-P] /75 Ω垂直同期信号 (重畳)

映像出力 (1-2) : 1.0 V [P-P] /75 Ωコンポジット信号
D-Sub9ピンコネクター×2

寸法 : 幅24.5 mm 高さ265 mm
奥行き260 mm

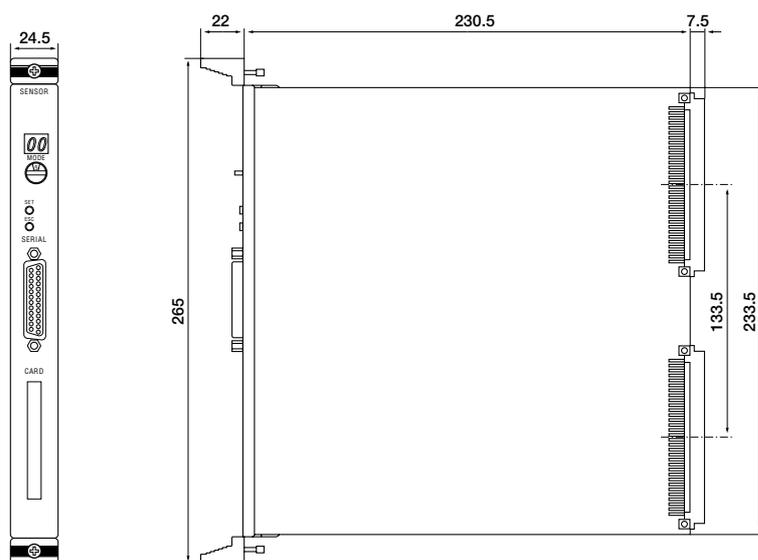
質量 : 約450 g

付属品

取扱説明書.....1冊
保証書.....1枚

センサーボード (WV-PB7700)

外観図



仕様

シリアル入力 : (25ピンD-Sub)	通信速度 9600 bps キャラクター長 8 bit パリティ 偶数 ストップビット 1 bit フロー制御 なし	操 作 部 : ロータリースイッチ、セットス イッチ、エスケープスイッチ 表 示 部 : 7セグメント表示 (2ケタ) メモリーカードスロット : JEIDA Ver4.2/PCMCIA2.1準 拠のS-RAMカード 寸 法 : 幅24.5 mm 高さ265 mm 奥行き260 mm 質 量 : 約460 g
-------------------------	--	--

付属品

取扱説明書.....1冊
保証書.....1枚

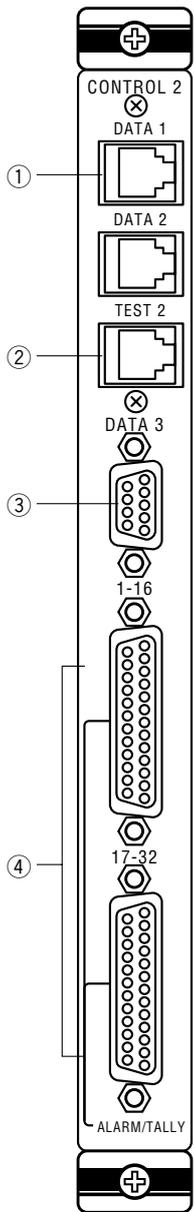
付録 2

ボードの詳細



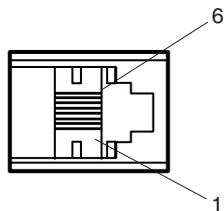
ボードの詳細

コントロール2ボード



① データーポート [DATA 1-2]

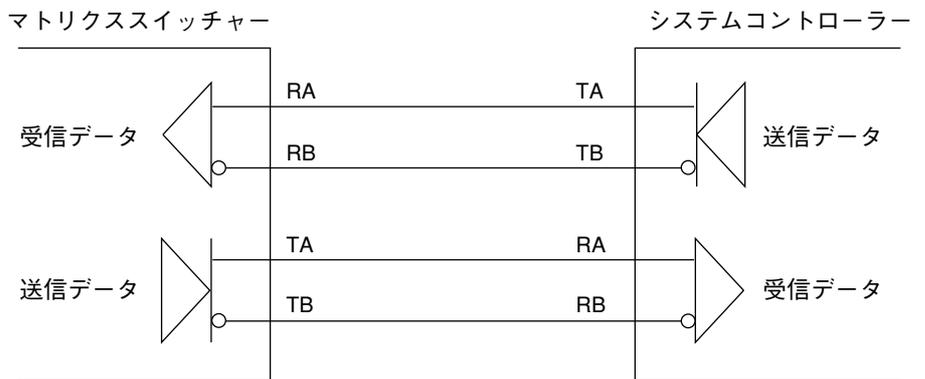
システムコントローラー（WV-CU550C）との間でデータの授受を行うためのコネクタで、合計2ポートあります。WV-CU550Cに付属のケーブルで接続します。ケーブルを最大1 200 mまで延長できます。ケーブルを延長するときはRS-485仕様の2×シールド付ツイストペア線を使用してください。（推奨ケーブル：2×ツイストペア／シールド線タイプ AWG22）



ピン番号	線色	機能名※2		信号方向
		コントロールボード側	システムコントローラー側	
1	青	GND	GND	
2	黄	RB	TB	スイッチャー←コントローラー
3	緑	RA	TA	スイッチャー←コントローラー
4	赤	TB	RB	スイッチャー→コントローラー
5	黒	TA	RA	スイッチャー→コントローラー
6	白	GND	GND	

※1 線色は付属の6極6芯ケーブルの場合です。

※2 内部ブロックは下図のようになっています。



重要

ケーブルを延長するとノイズが入りやすくなります。データ伝送中にノイズが入ると、希望した操作ができないことがあります。ノイズ対策として電気的絶縁をとる場合、シールドの片側（例えばマトリクススイッチャー側）のみをGNDに接続するようにしてください。

② テストポート [TEST2]

使用しません。

お願い

工場調整用です。使用しないでください。

③ データポート [DATA3]

通常使用しません。

ピン番号	信号名	方向
1	NC	
2	TXD	スイッチャー→
3	RXD	スイッチャー←
4	NC	
5	GND	
6	NC	
7	NC	
8	NC	
9	NC	

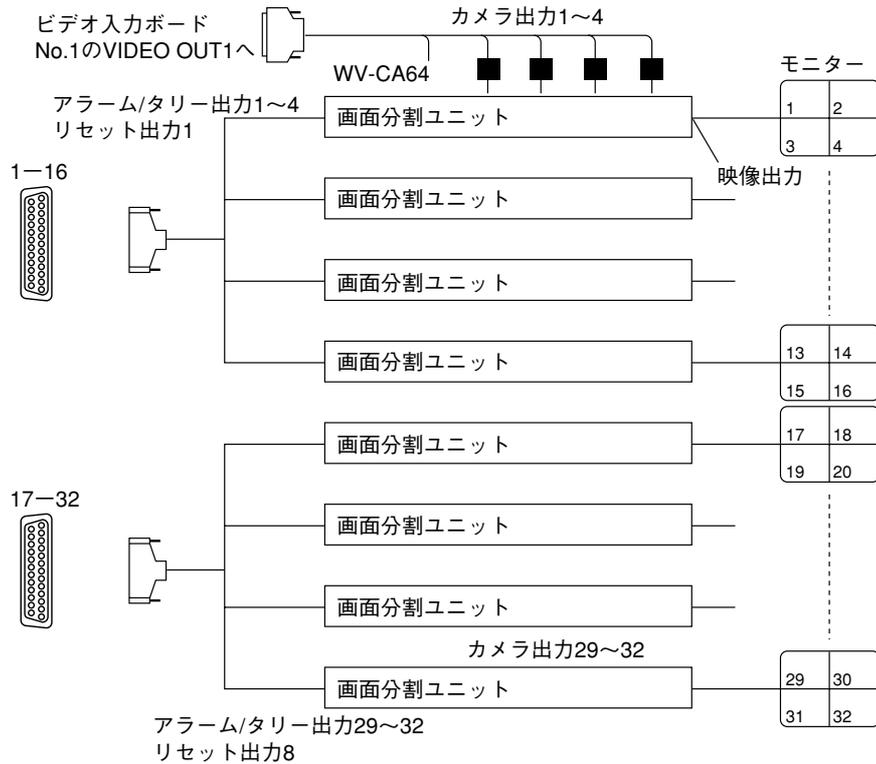
④ アラーム/タリー出力

画面分割ユニットなどをコントロールするコネクタです。

カメラ番号1～16に対応するコネクタ [1-16] とカメラ番号17～32に対応するコネクタ [17-32] の2つが装備されています。

重要

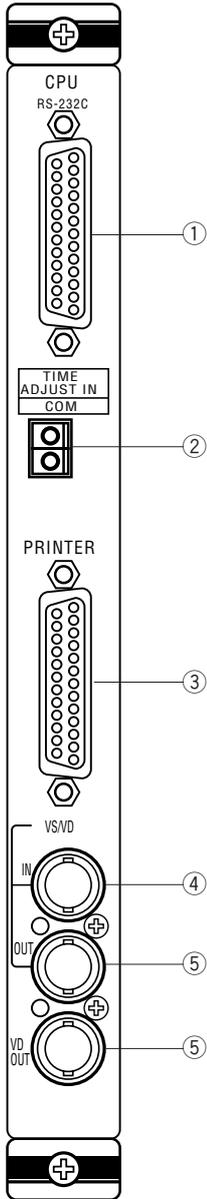
カメラ番号33～64までは、この機能を利用することができません。



ピン番号	信号名
1	アラーム/タリー出力1
14	アラーム/タリー出力2
2	アラーム/タリー出力3
15	アラーム/タリー出力4
3	リセット出力1
16	GND
4	アラーム/タリー出力5
17	アラーム/タリー出力6
5	アラーム/タリー出力7
18	アラーム/タリー出力8
6	リセット出力2
19	GND
7	アラーム/タリー出力9
20	アラーム/タリー出力10
8	アラーム/タリー出力11
21	アラーム/タリー出力12
9	リセット出力3
22	GND
10	アラーム/タリー出力13
23	アラーム/タリー出力14
11	アラーム/タリー出力15
24	アラーム/タリー出力16
12	リセット出力4
25	GND
13	NC

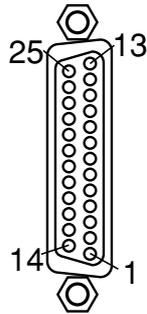
ピン番号	信号名
1	アラーム/タリー出力17
14	アラーム/タリー出力18
2	アラーム/タリー出力19
15	アラーム/タリー出力20
3	リセット出力5
16	GND
4	アラーム/タリー出力21
17	アラーム/タリー出力22
5	アラーム/タリー出力23
18	アラーム/タリー出力24
6	リセット出力6
19	GND
7	アラーム/タリー出力25
20	アラーム/タリー出力26
8	アラーム/タリー出力27
21	アラーム/タリー出力28
9	リセット出力7
22	GND
10	アラーム/タリー出力29
23	アラーム/タリー出力30
11	アラーム/タリー出力31
24	アラーム/タリー出力32
12	リセット出力8
25	GND
13	NC

CPUボード



①RS-232Cポート [RS-232C]

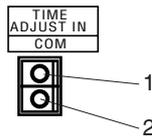
- パソコンを使用する場合、パソコンのRS-232Cポートとこのポートとを接続します。接続の詳細は下表を参照してください。
- パソコンを使用する場合、制御用プログラムが必要となります。販売店にご相談ください。



ピン番号	信号名	方 向
1	(FG)	
2	SD	PC → スイッチャー
3	RD	PC ← スイッチャー
4	RS	PC → スイッチャー
5	CS	PC ← スイッチャー
6	DR	PC ← スイッチャー
7	SG	
8	CD	PC ← スイッチャー
20	ER	
他のピンは無接続		

②時刻校正入力コネクタ [TIME ADJUST IN]

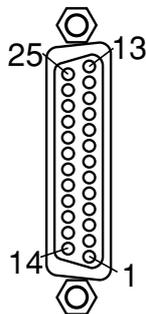
タイムラプスVTRからの時刻調節信号を入力します。マトリクススイッチャーとタイムラプスVTRとの時刻を合わせるためのコネクタです。



ピン番号	信号名
1	TIME ADJUST IN
2	GND

③プリンターポート [PRINTER]

プリンターを接続するためのポートです。プリンターを使用する場合、本ボード内のCN12をオープンにしてください。



ピン番号	信号名	方 向
1	/STROBE	プリンター ← スイッチャー
2	DATA 0	プリンター ← スイッチャー
3	DATA 1	プリンター ← スイッチャー
4	DATA 2	プリンター ← スイッチャー
5	DATA 3	プリンター ← スイッチャー
6	DATA 4	プリンター ← スイッチャー
7	DATA 5	プリンター ← スイッチャー
8	DATA 6	プリンター ← スイッチャー
9	DATA 7	プリンター ← スイッチャー
10	/ACK	プリンター → スイッチャー
11	BUSY	プリンター → スイッチャー
12	(R)	モニター ← スイッチャー
13	(G)	モニター ← スイッチャー
14	(B)	モニター ← スイッチャー
15	(SYNC)	モニター ← スイッチャー
16	/PRIM	プリンター ← スイッチャー
17	無接続	
18	無接続	
19	GND	
20	GND	
21	GND	
22	GND	
23	GND	
24	GND	
25	GND	

メモ

- 本ボードのCN12が短絡状態のとき、ピン番号12から15にはRGB形式でシステム状態表示信号が出力されます。
- プリンタ使用時はCN12を開放にされることをお勧めします。(156ページ)

④VS/VD入力コネクタ [VS/VD IN]

VD（垂直同期信号）またはVS（ビデオ同期信号）を入力します。

お願い

- 外部同期信号に、VTR再生信号のようにジッター成分を含むものは使用しないでください。EIA RS-170規格に適合している外部同期信号を入力してください。
- このコネクタに入力された信号は、⑤VS/VD出力コネクタ [VS/VD OUT] へ、ループスルー出力されます。
- このコネクタにVD信号を入力するときは、基板内部のVS/VDスイッチSW4を「VD」に設定してください。なお工場出荷時には「VS」に設定されています。

⑤VS/VD出力コネクタ [VS/VD OUT]

他の機器と同期を取るためにVS/VD同期信号を供給します。このコネクタには④VS/VD入力コネクタ [VS/VD IN] へ入力された信号がループスルーされて出力されます。

お願い

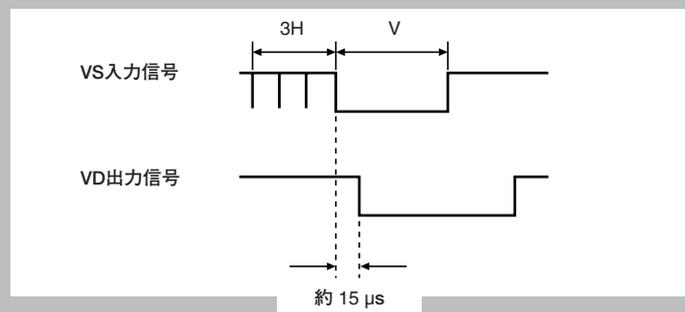
このコネクタを使う場合、④VS/VD入力コネクタ [VS/VD IN] へVS/VD信号を入力する必要があります。

⑥VD出力コネクタ [VD OUT]

他の機器と同期を取るために、VD同期信号を供給します。

重要

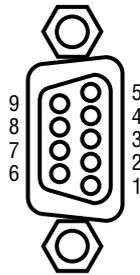
- ④VS/VD入力コネクタ [VS/VD IN] に外部から入力がない場合、内部VD信号が出力されます。
- ④VS/VD入力コネクタ [VS/VD IN] にVD信号が入力される場合、VD信号が出力されます。
- ④VS/VD入力コネクタ [VS/VD IN] にVS信号が入力される場合、下図のようにVS信号の垂直同期に対して約15 μ s遅れたVD信号が出力されます。



ビデオ入力ボード

①ビデオ出力コネクタ [VIDEO OUT 1、2]

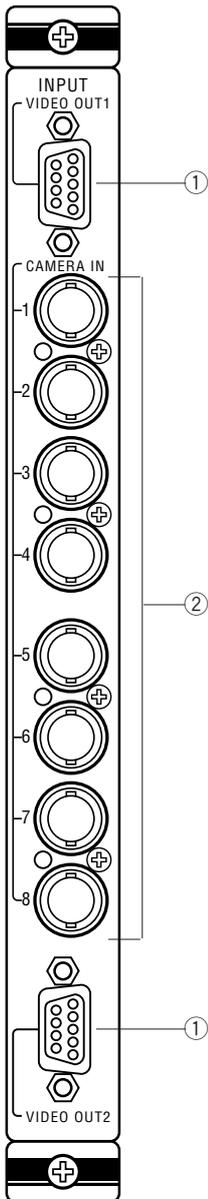
このコネクタからは、制御信号成分が取り除かれたビデオ信号が出力されます。マトリクススイッチャーの電源スイッチがOFFの場合このコネクタから信号は出力されません。機器との接続には、別売のジョイントケーブルWV-CA64をお使いください。



ピン番号	VIDEO OUT 1	VIDEO OUT 2
1	NC	NC
2	CH1	CH5
3	GND (CH1)	GND •CH5)
4	CH2	CH6
5	GND (CH2)	GND •CH6)
6	CH3	CH7
7	GND (CH3)	GND (CH7)
8	CH4	CH8
9	GND (CH4)	GND (CH8)

②カメラインプットコネクタ [CAMERA IN 1~8]

カラーや白黒のカメラ信号を入力します。システム構成によっては通常の映像信号に、同期を取るためのVD2信号、コンビネーションカメラやレシーバーなどカメラサイトの機器を制御するための命令や状態信号が重畳されて入力されます

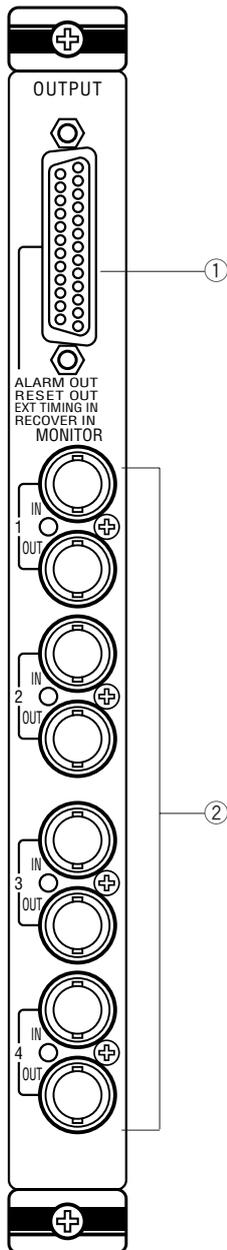


ビデオ出力ボード

① タイムラプスVTR接続用コネクタ

● タイムラプスVTRを使用する場合

このコネクタは、タイムラプスVTRを接続するときに使用します。
アラーム出力/リセット出力/外部タイミング入力およびリカバー入力のコネクタです。
このコネクタにタイムラプスVTRを合計4台接続できます。



アラーム出力 (ALARM OUT) : マトリクススイッチャーにアラーム入力があったことをタイムラプスVTRに知らせる出力信号です。どのピンに出力されるかは、セットアッププログラムで設定したアラームモード (モードA、モードB、モードC) に依存します。

リセット出力 (RESET OUT) : 起動されたアラームが終了したことを知らせるリセット信号を各チャンネルごとに出力します。信号形式は基板内部のスイッチSW2、SW3、SW4、SW5を設定することで各チャンネルごとにオープンコレクター出力または+5 V出力のいずれかを選択できます。

外部タイミング入力 (EXT TIMING IN) : タイムラプスVTRからこのコネクタに供給されるタイミング入力によりカメラ信号を切り換えます。1つのタイミング入力から次の入力までは最短1秒の間隔が必要です。設定された表示時間「Dwell」は無視されます。また、設定項目の「EXT Timing」は「On」にしてください。

リカバー入力 (RECOVER IN) : 起動されたアラームを外部機器から強制的にリセットします。信号形式は0.5秒以上のメーク接点です。また、1回のリカバーから次のリカバーまでには最短2秒以上の間隔が必要です。

● カメラポジション番号のCAM-POSI-INC/CAM-POSI-DECを使用する場合

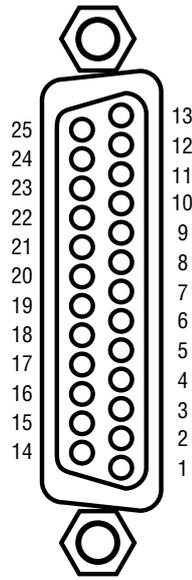
カメラポジション番号のCAM-POSI-INC/CAM-POSI-DEC制御設定 (126ページ) で選択したリカバー入力を使って、外部スイッチに接続します。

外部タイミング入力 (EXT TIMING IN) : 使用しません。

リカバー入力 (RECOVER IN) : 0.5秒以上、外部スイッチのボタンを押すと、カメラポジション番号にプラス1またはマイナス1したカメラポジション番号の映像に切り換わります。
次の映像を切り換えるには、最低1秒以上の間隔が必要です。

アラーム出力 (ALARM OUT) : 使用しません。

リセット出力 (RESET OUT) : 使用しません。



ピン番号	信号名
1	ALARM OUT 1
2	RESET OUT 1
3	RECOVER IN1
4	GND
5	EXT TIMING IN 1
6	GND
7	ALARM OUT 2
8	RESET OUT 2
9	RECOVER IN2
10	GND
11	EXT TIMING IN 2
12	Not used
13	ALARM OUT 3
14	RESET OUT 3
15	RECOVER IN3
16	GND
17	EXT TIMING IN 3
18	GND
19	ALARM OUT 4
20	RESET OUT 4
21	RECOVER IN4
22	GND
23	EXT TIMING IN 4
24	GND
25	GND

②モニター入力/出力コネクタ [MONITOR IN/OUT]

出力：マトリクススイッチャーが選択した映像出力信号をモニターに出力します。

入力：VTRなどの映像信号を入力します。

[ALT] スイッチ+MON (ESC) キーで入力した映像信号を同系統のモニター出力に出力できます。例えばMONITOR IN1に入力した映像はMONITOR OUT1に接続したモニターに表示できます。

センサーボード

① 運用モード表示

現在の運用状態を英数字2けたで表示します。

② 運用モード選択スイッチ [MODE]

運用モードを選択します。「0」の位置で使用してください。「1」～「7」は、当社サービスマン用ですので使用しないでください。

運用モードと、運用モード表示①との関係は下表のとおりです。

運用モード選択スイッチの位置	運用モード	運用番号表示	備考
0	通信方式0	P 0	通常の運用状態
1	通信方式1	P 1	使用しません
2	通信方式2	P 2	使用しません
3	通信方式3	P 3	使用しません
4	カードへのロード	L o	使用しません
5	カードへのセーブ	S A	使用しません
6	カードのフォーマット	F o	使用しません
7	通信チェックモード	C h	使用しません

③ セットスイッチ [SET]

運用モード選択スイッチ②で選択した運用モードで運用を開始します。

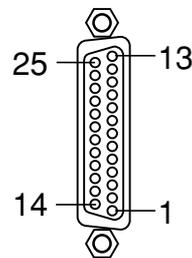
④ エスケープスイッチ [ESC]

運用モード表示①に表示されたエラーの表示 (E0等) を、解除するときに押します。

⑤ アラーム入力コネクタ [SERIAL]

アラーム信号入力用のコネクタです。

ピン番号	信号名	備考	ピン番号	信号名	備考
1	FG	フレームグラウンド	14	テスト1	テスト用、接続不可
2	SD	外部装置→本ボード	15	ST2	外部装置←本ボード
3	RD	同上←同上	16	テスト2	テスト用、接続不可
4	RS	同上→同上	17	RT	外部装置←本ボード
5	CS	同上←同上	18		未接続
6	DR	同上←同上	19		未接続
7	SG	信号グラウンド	20	ER	外部装置→本ボード
8	CD	ON固定	21		未接続
9		未接続	22		未接続
10		未接続	23		未接続
11		未接続	24	ST1	外部装置→本ボード
12		未接続	25		未接続
13		未接続			



⑥ メモリカードスロット [CARD]

当社サービスマン用ですので使用しないでください。

付録 3 補足説明



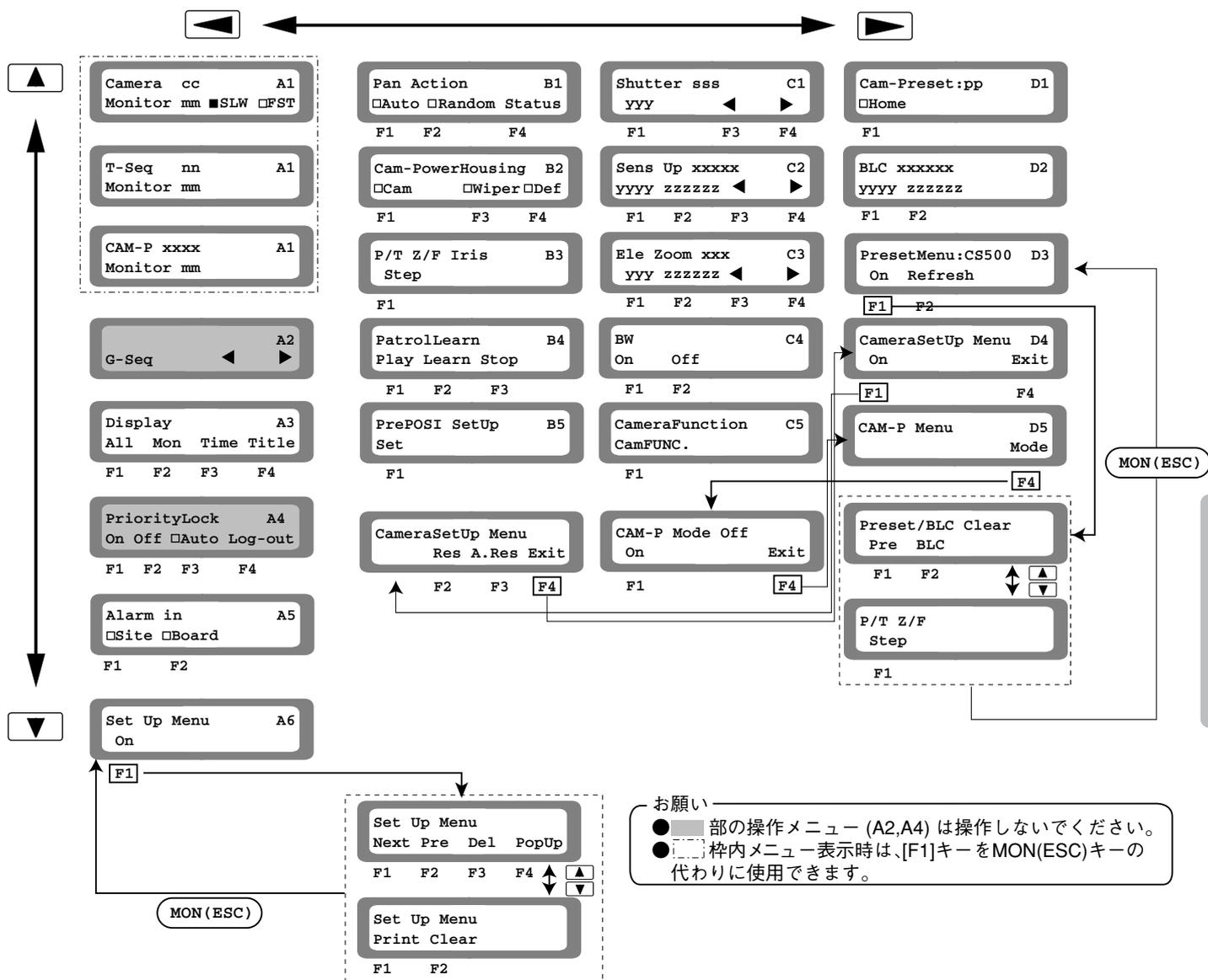
起動状態とシステム動作内容

システムは、前回までのシステムの状態によって自動的に起動方法を選択し起動します。起動条件とシステムの状態を下表に示します。

起動状態	起動条件	SET UP 設定内容	カレンダー 時計	タイマー イベント機能	モニターの 状態	アラームの 状態
COLD START	<ul style="list-style-type: none">購入後初めて電源スイッチをONにしたとき。設定内容が壊れたとき。プログラムROMのバージョンアップを行ったとき。	初期化される。	初期化される。	—	初期画面表示。 ROMバージョン表示。	キャンセルされる。
HOT START	<ul style="list-style-type: none">通常の起動状態	保持される	継続される	電源スイッチ切りの間のイベントは実行されず に無視される。	初期画面表示後、電源スイッチを切る前の動作を再生する。	同上

操作メニューの流れ

操作メニューの遷移



付録

故障かな!?

現 象	チェック内容
マトリクススイッチャーの電源が入らない。	①電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 ②マトリクススイッチャー背面のヒューズが切れていないことを確認してください。
システムコントローラーの電源が入らない。	①電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 ②システムコントローラー背面の電源スイッチがONになっていることを確認してください。
システムコントローラが操作できない。 システムコントローラの操作が不安定。	①マトリクススイッチャーとの接続を確認してください（178ページ）。 ②モジュラーケーブルの仕様を確認してください。 付属品以外を使う場合は、6極6芯タイプを使ってください。（通常の電話用モジュラーケーブルは6極2芯タイプが多いのでご注意ください。）（194ページ） ③システムコントローラのモードスイッチ、ユニット番号を確認してください。設定を変更する場合は、システムコントローラの電源スイッチを一度OFFにしてから行ってください。（178ページ）
システムを起動すると、液晶ディスプレイに"Log-in"と表示され操作ができない。	異常終了した、またはオートログイン機能が「Off」になっているためです。以下の手順でログインしてください。 ①CAM (SET) キーを押します。[Operator No :] が表示されます。 ②テンキーで"1"を入力後、CAM (SET) キーを押します。 [Password :] が表示されます。 ③テンキーで"1 2 3 4 5"と入力します。[Welcome] が表示されます。 パスワードを入力しても [Welcome] と表示されないときは、システムコントローラーの電源スイッチを入れ直してください。その後、再度①～③の操作を行ってください。この現象はマトリクススイッチャー本体の電源Onとほぼ同時に①～③までの操作を行ったときに起こります。マトリクススイッチャー本体の電源を入れ直したときは、システムが完全に立ち上がるまで（約10秒）操作せずにお待ちください。 続いて、オートログイン機能がONになっていることを確認してください。 ④カーソルキーを操作し、A4メニューを呼び出します。 ⑤ [F3] キーを押し、"■Auto"を" <input type="checkbox"/> Auto"にします。オートログイン機能がONになります。 次回システム起動時からオートログイン機能が有効になります。 <div style="text-align: center;"> Auto Log-Out' with 'F3' below it. The text '[F3]キーを押す' is next to the arrow." data-bbox="670 710 905 835"/> </div>
カメラポジション番号による操作ができない。	①カメラポジションモードが「On」になっていることを確認してください。（33ページ） ②カメラポジション番号をカメラポジション番号設定画面（120ページ）で登録しているか確認してください。 ③カメラポジション番号に対応するプリセット番号が、プリセット機能を持つカメラに登録されているか確認してください。

現象	チェック内容
液晶ディスプレイに"Monitor (#) Busy"と表示され、同時にBusy表示が点灯する。	別のオペレーター（タイマー動作含む）が操作中です。再度、そのモニターを選択すると操作権を取り戻せます。
液晶ディスプレイに"Camera (#) Busy"と表示され、同時にBusy表示が点灯する。	別のオペレーター（タイマー動作含む）が操作中です。再度、そのカメラを選択すると操作権を取り戻せます。
モニターに文字が重なって表示される。	<p>①時刻や監視モードなどと、カメラなどの表示ポジションタイトルが重なっている場合、時刻や監視モードなどの表示をOFFにするか、カメラ側の設定でカメラポジションタイトルを移動してください。</p> <p>②時刻や監視モードなどと、カメラセットアップメニューが重なっている場合、外的な要因などでマトリクススイッチャーとカメラの間で状態の不一致が起こっています。液晶ディスプレイにD4メニューを表示し[F1] キーまたは [F4] キーを押して不一致を解消してください。</p>
モニターに表示しているモニター番号が反転している。	A4メニューの「Priority Lock」が「On」になっているためです。モニター選択以外の操作（例えば、ジョイスティックつまみを操作するなど）を行うと解除されます。
ツアーシーケンスでプリセットしているにもかかわらず、カメラがプリセット位置まで届かない、プリセット番号がモニターに表示されない。	表示時間が短すぎるためにプリセット位置まで届かない可能性があります。ツアーシーケンス設定画面（89ページ）で表示時間（DwellTime）を長くしてください。
特定のモニターで表示時間の動作やツアーシーケンスが正しく実行されない。	<p>①外部タイミング設定画面（117ページ）で外部タイミングを「On」に設定していると、切り換えタイミングはタイムラプスVTRに依存します。</p> <p>②タイムラプスVTR側で時間設定が正しく設定されていることを確認してください。</p>
ツアーシーケンス番号を入力して、[FOWARD SEQ] スイッチを押してツアーシーケンスが動作しない。	外部タイミングの設定が「On」で、VTRが停止状態のときはこうなります。VTRを録画状態にしてください。
アラームが動作しない。	<p>①アラームモード設定用画面でアラームモード（A～C）が設定されていることを確認してください（106ページ）。アラームモードが「Off」の場合は、動作しません。</p> <p>②アラームモードをタイマーで運用している場合、現在時刻に対するアラームモードがA～Cのいずれかに設定されていることを確認してください（106ページ）。</p> <p>③アラーム入力先（SiteまたはBoard）が「On」になっているか確認してください（60、103ページ）。</p> <p>④システムコントローラーの [Ack Reset] スイッチ（シール張り付け時は [MANUAL] または [手動優先]）のLEDが点灯していないか確認してください。点灯していると、モニター1へのアラームは入力されません。</p> <p>⑤センサーボード経由でアラームを入力している場合、アラームに対するカメラポジション番号をカメラポジション番号設定画面（120ページ）で登録しているか確認してください。登録していないときは、正しく登録してください。</p>

現 象	チェック内容
タイマーイベントスケジュールが起動されない。	<p>①特定日が指定されている場合、「年」、「月」、「日」が正しく指定されているか確認してください。</p> <p>②該当日付に特定日が設定されていないか確認してください。特定日は曜日設定よりも優先されます。必要ならば特定日を再設定してください(98ページ)。</p>
コンビネーションカメラWV-CS500でプリセットテストが1分間しかできない。	<p>設置されているカメラのコントロールサイトモードスイッチ (SW2) がマルチサイトモード (Multi-SiteMode) が「ON」になっていることを確認してください。</p>
コンビネーションカメラWV-CS500でプリセットテスト中に、特定の場所で設定した時間より長く停止する。	<p>WV-CS500自身で設定時間をプログラムしているためです。異常ではありません。</p>
セットアップ画面の映像が乱れる。	<p>セットアップ画面の映像信号は、チラツキを抑えるため、ノンインターレス信号になっています。そのため、ビデオ出力ボードのMONITOR OUTを4画面分割ユニットやVTRに通すと文字が見えなくなったり文字が上下に振動することがあります。</p>
VTRのPAUSE、FF、REW映像がモニターに表示されない。	<p>VTRをカメラ入力に接続しているときはこうなります。マトリクススイッチャーを通さずに、VTR出力を直接モニターに接続してください。</p>
MON (ESC) キーを押してもプリンターが停止しない。	<p>データがすでにプリンターのバッファに格納されており、それを印字しています。印字が終了するまでお待ちください。</p>
キャラクターにカラーノイズが見える。	<p>カメラとの距離が長いと、ケーブル補正してもモニターによってはカラーノイズが見えることがあります。これは異常ではありません。</p>
音が出ない。	<p>音声機能はありません。レシーバーに音声ボード (WV-PB10) を装着していても機能しません。</p>

カメラポジション番号登録表

コース名：						コース名：					
カメラ No.	プリセット ポジション No.	カメラ ポジション No.	カメラ No.	プリセット ポジション No.	カメラ ポジション No.	カメラ No.	プリセット ポジション No.	カメラ ポジション No.	カメラ No.	プリセット ポジション No.	カメラ ポジション No.
	1			33			1			33	
	2			34			2			34	
	3			35			3			35	
	4			36			4			36	
	5			37			5			37	
	6			38			6			38	
	7			39			7			39	
	8			40			8			40	
	9			41			9			41	
	10			42			10			42	
	11			43			11			43	
	12			44			12			44	
	13			45			13			45	
	14			46			14			46	
	15			47			15			47	
	16			48			16			48	
	17			49			17			49	
	18			50			18			50	
	19			51			19			51	
	20			52			20			52	
	21			53			21			53	
	22			54			22			54	
	23			55			23			55	
	24			56			24			56	
	25			57			25			57	
	26			58			26			58	
	27			59			27			59	
	28			60			28			60	
	29			61			29			61	
	30			62			30			62	
	31			63			31			63	
	32			64			32			64	

カメラポジション番号設定用画面との対応

CAM：カメラNo. PRE：プリセットポジションNo. CAM-P：カメラポジションNo.

※1枚でカメラ2台分まで記入できます。
コピーしてお使いください。

付
録

索引

<英字>

AF MODE.....	128	EXT.	117
AGC.....	128	EXT Timing Select	117
AL REC	140	MOTION DET	128
Alarm Recall	140	PatrolLearn	37
Alarm	102	Posi	110
Alarm Title Position	102	Alarm Title Position	110
Alarm Mode Select	102	POSI	124
Alarm Title	102	Position Set	124
Timer Alarm Schedule	102	PrLoad	144
BLC	49	Pre Cam	123
Auto	49	Position Set	123
Off	49	Title Up Load	123
Preset	49	PRESET PROGAM	134
BW.....	45	PRESET TEST	134
CAM	112	SET HOME POSI	134
Camera Title	112	SET UP PRESET	134
CAM-P	120	PresetMenu:CS500	138
CAM-POSI Map	120	Print Clear	91
CAM-P Menu	33	PROG.	88
CAM-P Mode	33	Alarm	88
Cam-Power Housing	40	Timer	88
Cam	40	Tour Sequence	88
Def	40	SEL.	103
Wiper	40	Alarm Display	103
Cam-Preset	47	Alarm Input Board	103
CameraFunction	46	Alarm Input Site	103
CAMERA ID	128	Alarm Mode	103
CameraSetUp Menu	128	Auto RST	103
Clock	119	Sens Up	42
Clock Set	119	Auto	42
COM/VD	118	Manual	42
Compensation/VD2	118	Off	42
Contrast BackLight	70	SENS UP	128
FOCUS	70	Set Up	85
ZOOM	70	Alarm Recall	85
CPUボード (各部の名前)	6	Auto Cleaning	85
CPUボード (スイッチ設定)	155	Camera Title	85
CPUボード (ボードの詳細)	196	Preset Data Load	85
Ele Zoom	43	Program	85
Event	95	System	85

ホームポジションの設定	137
リフレッシュする	138
プリセット番号で操作する（回転台）	32
プログラムメニュー	88
ボード	
組み込み	168
設定	153
枚数の選択	154
ホームポジション	47
ホームポジション操作の設定	125

<ま>

マトリクススイッチャー	
各部の名前	4
機能	9
しくみ	10
仕様	187
設定（セットアップ）	15
付属品	187
ラックの組み込み	169
マニュアル感度アップモード（電子感度アップ）	42
モニター	
接続のしかた	176
選択	24
操作	23
表示される情報	22

<ら>

ラックの組み込み	167
システムコントローラー	167
マトリクススイッチャー	169

—

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、放熱ファンは消耗品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このマトリクススイッチャーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

206～208ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記、修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	マトリクススイッチャー
品番	WJ-SX777D
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WJ-SX777D
	販売店名	電話	()	-		

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区横島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410